

第 I 部 公共施設白書

第 I 部 公共施設白書

第 1 章 作成にあたって

1-1 背景

1-1-1 歴史的背景

高度経済成長期（1970年代(昭和40～50年代半ば)）は、「豊かな」財政によってインフラ整備が進み、歴史的に見て公共施設がもっとも増加した時代となりました。更にその後のバブル経済期にも（1986年(昭和61年)末～1991年(平成3年)初頭）公共施設の増加が続きました。

しかし、平成の時代に入って（1990年(平成2年)以降）、施設・インフラの老朽化が進む一方で、「バブル経済」崩壊による資産価値の下落と厳しい財政状況は、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費などの「投資的経費」の激減と人件費、扶助費、公債費などの「義務的経費」の増加による財政圧迫といった事態を引き起こし、人口減、少子高齢化（利用需要の変化）にも繋がり、国並びに地方行財政は非常に苦しいものとなってきました。

近年、東日本大震災（2011年(平成23年)3月11日）など、日本全土ではこれまで経験したことのない自然災害が発生し、地球温暖化などの環境要因も背景に、耐震化を施した住民が安全安心に利用できる公共施設等の必要性が求められるなど、維持管理と災害復旧の観点から、公共施設等の維持管理について、急を要する事業として考えざるを得ない局面となりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策が世界的な課題となり、公共施設においては十分な換気が施される設備が求められるなど、コロナ禍に対応した新しい生活スタイルを導入した公共施設等のあり方を検討し、市民のニーズと取り巻く環境について対策を施す必要が生じています。

こうした背景にあって、公共施設・インフラの抜本の見直しを進めるとともに、コンパクトシティ、自然エネルギーの利活用などの新しいまちづくりが求められることとなりました。このために、公共施設・インフラの老朽化の現状とコストの実態を明らかにしながら、施設利用の変化をもたらしている総人口の減少と少子高齢化といった人口問題への対応策も検討していかなければなりません。

1-1-2 我が国の財政状況と公共施設の在り方

我が国の財政状況は、急速な高齢化の進展による社会保障関係費等の増大により歳出が一貫して伸び続けている一方、歳入（税収）は1990年(平成2年)以降伸び悩み、その差は公債（特例公債・建設公債）の発行によって賄われ、借金に依存せざるを得ない状況が恒常的に続いています。

このような財政状況に鑑み、既に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（2007年(平成19年)6月公布）及び健全化法の全面施行（2009年(平成21年)4月）の中、「インフラ長寿命化基本計画」の策定（2012年(平成24年)）及び「国土強靱化基本計画」（2013年(平成25年)も

加わり、公共施設等の整備状況の可視化や将来の更新費用の試算などを行い、公共施設（普通会計の建築物及び病院）及びインフラ資産（道路、橋梁、上水道及び下水道）の計画的除却・維持管理の適正化を図ることとされました。

また、「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」（2014年(平成26年)4月22日付け総財務第74号総務大臣通知）に基づき、厳しい財政状況が続く中で、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現していくため、総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定が求められることとなりました。

1－1－3 芦別市の現在までの取組み

本市においては、まちづくりの最高規範となる「芦別市まちづくり基本条例」（2008年(平成20年)施行）を制定するとともに、最上位計画である「第5次芦別市総合計画」を2010年(平成22年)4月からスタートさせる一方、前述した背景や国の施策を受けて、「芦別市環境基本計画」（2009年(平成21年)3月第1次版策定、2020年(令和2年)3月第2次版策定）、「芦別市地球温暖化対策実行計画」（2010年(平成22年)11月第1期版策定、2020年(令和2年)8月第2期版策定）及び2013年(平成25年)4月に「芦別市都市計画マスタープラン」をはじめ、今日まで「芦別市道路舗装修繕計画」、「芦別市橋梁長寿命化計画」、「芦別市公園施設長寿命化計画」、「芦別市都市公園再整備計画」、「芦別市住生活基本計画」及び「芦別市公営住宅等長寿命化計画」の策定を行ってきました。

また、中長期的に公共施設等に要する財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化など計画的に取り組みをすることで、公共施設等の最適な配置を実現することを目的とした芦別市公共施設等総合管理計画を2016年(平成28年)3月に策定してきました。

その後、「第6次芦別市総合計画」（2020年度(令和2年度)～2029年度(令和11年度)）を2020年(令和2年)3月に策定し、「みんなで築く 豊かで住みよい 人と文化の輝くまち」を将来像に掲げたまちづくりを推進しながら、また、「芦別市都市計画マスタープラン」（2023年度(令和5年度)～2042年度(令和24年度)）の見直しも行ったところであり、これらと連動した各種施策の推進に必要な公共施設等の適正な維持・管理を行っていく必要があります。

1－2 目的

本市においても、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少や少子高齢化などにより公共施設等の利用需要の変化が予想されることを踏まえ、長期的な視点から公共施設等を総合的かつ計画的に管

理することが不可欠になっています。

本書は、本市が所有する公共施設等について、現在の施設の配置状況や設置目的、利用者数、稼働状況、老朽化等の現状を客観的に捉え、将来にわたり公共施設等を総合的・効果的に管理することを目的にまとめるものです。

まとめにあたって、総務省の「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の概要」及び「芦別市議会の議決に付すべき重要な公の施設の利用又は廃止に関する条例」を踏まえ、

具体的内容は、以下のとおりです。

(1) 「公共施設カルテ」・「公共施設白書」の作成（自らを取り巻く環境を正確に把握する）

①人口と財政の状況

概況、沿革、地理的特性、人口動向（推移）等の統計情報及び将来推計、財政状況、保有財産に関する情報等

②公共施設の現状把握

ア. 公共施設等基礎情報、イ. 耐震化状況・老朽化状況・大規模改修情報、ウ. 施設・建物評価、エ. 収支（コスト）状況基本情報、オ. 利用状況基本情報、カ. その他の情報

③更新経費の将来予測

ア. 公共施設カルテ（施設情報・財務状況・供給情報・建物情報・品質・改修履歴）、イ. 事業別施設別行政コスト・ライフサイクルコスト、ウ. 将来の資産更新必要額（更新費用の推計）

(2) 「公共施設等総合管理計画」の策定

①計画期間

計画期間は40年間とし、策定作業に当たって2015年度(平成27年度)を除く、2016年度(平成28年度)から2055年度(令和37年度)までとしますが、策定から7年が経過した2022年度(令和4年度)は、新型コロナウイルス感染症対策、自然災害対策、社会情勢の変化等を考慮し、現状分析を行いながら計画の見直しを行います。

また、当初の2016年度(平成28年度)から2025年度(令和7年度)までの10年間の第1期として、以後10年間ごとに第2期、第3期及び第4期に分け、期ごとに具体的なアクションプランを策定します。

第1期（2016年度(平成28年度)から2025年度(令和7年度)まで）では、全体目標と戦略を示す「芦別市公共施設等総合管理計画」に基づき、2016年度(平成28年度)・2017年度(平成29年度)の2カ年の間に、各部において分野別の具体的な検討を行い、中長期的な方針を精査するとともに、2025年度(令和7年度)までの改修予定等をまとめ、「第1期アクションプラン」としてスタートさせてきました。

②計画の対象範囲

本計画で取り扱う対象施設は、一般の市保有建築物などの建築物系施設や道路、橋梁及び上下水道等の都市基盤系等施設など市の保有する全ての公共施設等を計画の対象とします。

③今後40年間（2055年度(令和37年度)まで）の人口動態や公共施設等の維持管理費等の見通し

④現状や課題に関する基本認識

⑤公共施設等の管理に関する基本的な考え方

点検・診断等の実施方針、維持管理・修繕・長寿命化・統廃合・更新等の実施方針、安全確保・耐震化の実施方針、PFI／PPP活用の考え方、全庁的な取組体制の整備等に関する方針、情報管理・共有についての考え方、計画の進捗状況等の評価などフォローアップの実施方針

⑥施設類型ごとの管理に関する基本的な方針の作成

【参考資料】

・「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の概要」（2014年(平成26年)4月 総務省)

・「芦別市議会の議決に付すべき重要な公の施設の利用又は廃止に関する条例」（1988年(昭和39年)3月)

(趣旨)

第1条 議会の議決に付さなければならない重要な公の施設の長期かつ独占的な利用又は廃止に関しては、この条例の定めるところによる。

(議会の議決を要する重要な公の施設の独占的な利用)

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第96条第1項第11号の規定により、次の各号に掲げる公の施設について、1年を超えて独占的に利用させる場合は、議会において出席議員の過半数の議決を経なければならない。

(1) 子どもセンターつばさ、(2) 公園、(3)市営牧場、(4) 健民センター、(5) 青年センター、(6) 市民会館、(7) 総合福祉センター、(8) 社会体育施設、(9) 図書館、(10) 陶芸センター、(11) 緑地等管理中央センター、(12) 星の降る里百年記念館、(13) コミュニティセンター、(14) 生活館、(15) 保健福祉施設すばる、(16) オートキャンプ場、(17) なまこ山総合運動公園体育施設、(18) 宿泊交流センター、(19) 芸術文化交流館、(20) 芦別市精神障がい者地域活動支援センター、(21) スキー場

(議会の特別の同意を要する重要な公の施設の独占的な利用又は廃止)

第3条 法第244条の2第2項の規定により、次の各号に掲げる公の施設について、1年を超えて独占的に利用させる場合、又はこれを廃止する場合は、議会において出席議員の3分の2以上の者の同意を得なければならない。

(1) 水道事業施設、(2) 病院事業施設、(3) 学校

2-1-3 総合計画及び都市計画

2020年度(令和2年度)からの10年間、「みんなで築く 豊かで住みよい 人と文化の輝くまち」を目指すまちの将来像として、「情報共有」と「市民参加と協働」の2つの柱を基本に、「市民とともに歩む協働のまち」、「豊かな自然と共生する安全・安心なまち」、「地域の資源や特性を活かした産業が伸展するまち」、「ひとに優しい、ふれあいと温もりのあるまち」、「地域とともに、学ぶよろこびを実感できるまち」の5つの基本目標を掲げ、だれもが住み続けたいと思えるまちづくりを推進するための方向性を示す「第6次芦別市総合計画」を策定しています。

「芦別市都市計画マスタープラン」(2003年(平成15年)4月策定、2013年(平成25年)4月改訂)により、都市計画の長期的な考え方と方針を定めてきましたが、上位計画である「第6次芦別市総合計画」などと整合を図るための見直しを2022年度(令和4年度)に行い、2023年度(令和5年度)から2042年度(令和24年度)までの新たなマスタープランにより、住み良いまちを目指す都市計画を進めることとしています。

また、本市が管理している公園について、今後、老朽化が進むことが予想され、修繕や改修の時期が集中すると見込まれることから、各公園施設の状況を把握した上で、定期的な点検、予防的な修繕、改修を実施し、安全性・信頼性を確保することを目的とした「芦別市公園施設長寿命化計画」

(2014年(平成26年)3月)を策定しており、合わせて計画的に都市公園を再整備していくことを目的とした「芦別市都市公園再整備計画」(2019年(平成31年)3月)を策定しています。

さらに、芦別市が管理している橋についても、公園と同様に、修繕・架け替えの時期が集中すると見込まれることから、各橋梁の状況を把握した上で、定期的な点検、予防的な修繕、架け替えを実施し、安全性・信頼性を確保することを目的とした「芦別市橋梁長寿命化計画」(2021年(令和3年)3月)を策定のほか、住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、生活の安定向上と社会福祉の増進を図るための「芦別市住生活基本計画」(2019年(平成31年)3月)及び、公営住宅等の維持管理、計画修繕、建替、集約移転等の事業を効率的に推進するため、住生活基本計画と整合する「芦別市公営住宅等長寿命化計画」(2019年(平成31年)3月)を策定しています。

2-1-4 財政

本市では、2007年(平成19年)12月に、2008年度(平成20年度)から2012年度(平成24年度)を期間とした『芦別市財政健全化計画』を策定、2013年度(平成25年度)から2017年度(平成29年度)までを期間とした『芦別市行財政改革推進計画』を策定し、自主的な財政の健全化に努めた結果、財政再生団体への転落は回避できましたが、持続可能な収支均衡型財政構造の確立には至りませんでした。その後、首都圏への人口集中に伴う人口減少や、少子高齢化の問題など、依然として人

口減少に歯止めをかけることができず、市内経済の縮小による市税収入の減少を始めに、人口を算定基礎とする地方交付税の減少など、以前にも増して厳しい財政状況が続いています。

2-1-5 行財政改革

このような厳しい財政状況を打破するため、2017年度(平成29年度)を、「財政基盤強化元年」と位置付け、2018年度(平成30年度)から2022年度(令和4年度)までの間、「行財政運営と改革の基本方針」及び「財政基盤強化集中改革プラン」を策定し、収支均衡型の財政構造の確立及び標準財政規模の10%以上の留保資金の確保を目標として、公共施設等の統廃合や複合化、総人件費の抑制、単独事業の見直し等を行い、7億円以上の行財政改革効果額を生み出す取り組みを行ってきました。その後、2020年度(令和2年度)に、新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延し、経済界は深刻なダメージを受け、本市においても市内工場の閉鎖に伴うふるさと納税主力商品の取り扱い中止など、当初では想定していない事態となったことから、2022年度(令和4年度)に、進行中のプランの実施期間を2年延長(2024年度(令和6年度)まで)し、新たな取り組みとして、市民の利便性が高い安全で暮らしやすい環境の構築の実現に向け、デジタル化社会に対応したDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、建設から50年以上経過し耐震性が著しく低下している現庁舎の建替えなどの未来への投資を含めた対応を図りながら、更なる行財政改革を推進しています。

2-2 人口の推移・将来予測

本市の総人口は、2020年度(令和2年度)国勢調査結果では12,555人で、人口の推移では2010年度(平成22年度)から10年間で4,073人減少しており、深刻な少子高齢化時代が到来しています。1959年度(昭和34年度)の人口75,309人(住民基本台帳)をピークに、1963年度(昭和38年度)からの相次ぐ炭鉱閉山に伴い、その後15年間で半数程度まで急激に減少し、さらに現在に至るまで人口減少は止まらず、ピーク人口の17%程度の人口となっています。

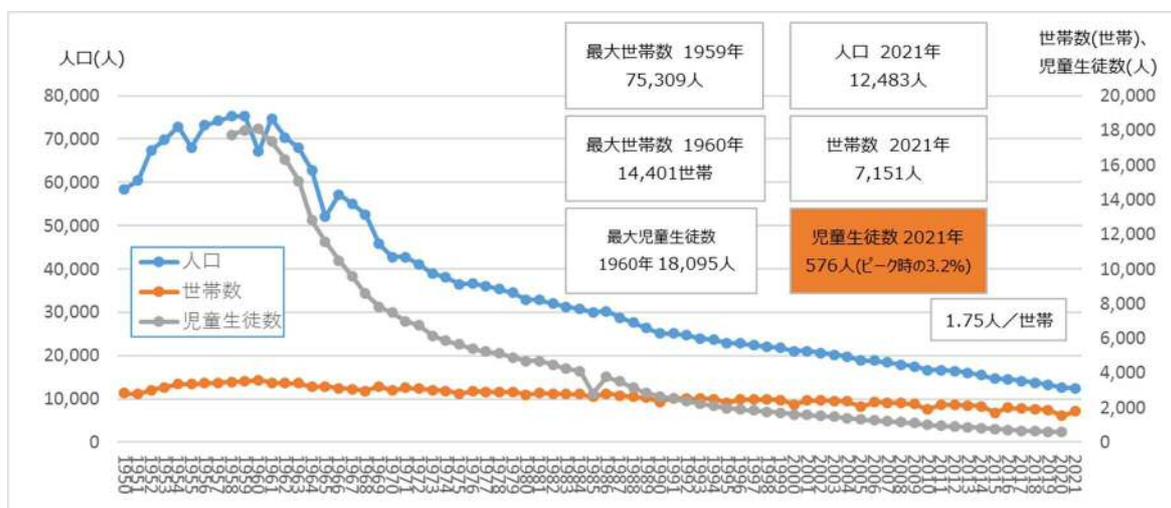


図 2-2-1 1950年(昭和25年)から2021年(令和3年)までの人口推移
(住民基本台帳による人口・児童生徒数・世帯数)

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計結果（図 2-2-2 のとおり）によると、2045 年度（令和 27 年度）の本市の人口が 5,420 人まで減少すると見込まれています。

2020 年度（令和 2 年度）の 65 歳以上の人口は 5,995 人で、総人口の 47.7%を占め、生産年齢人口の 45.4%を上回り、人口が減少する中で高齢者人口が増加の一途を辿っています。

2023 年（令和 5 年）3 月 31 日における本市の高齢化率は 48.1%であり、図 2-2-3 のとおり 2045 年度（令和 27 年度）には高齢化率が 58.4%に達すると見込まれています。

また、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における2045年度（令和27年度）の5階級別人口動向は、図2-2-4のとおりで、2020年度（令和2年度）の人口分布に対して、2045年度（令和27年度）には、89歳以下の人口が減少する一方で、90歳以上の人口が増加すると試算されています。

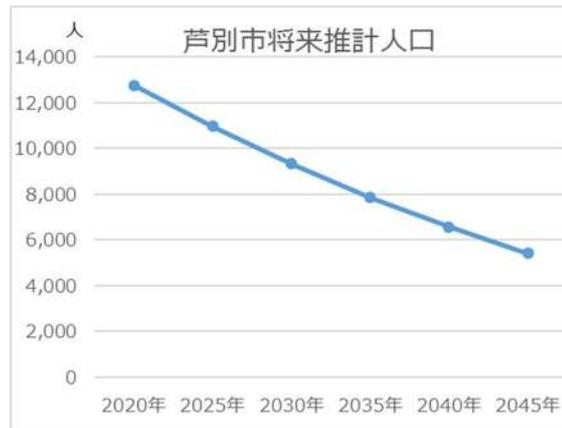


図 2-2-2 国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計

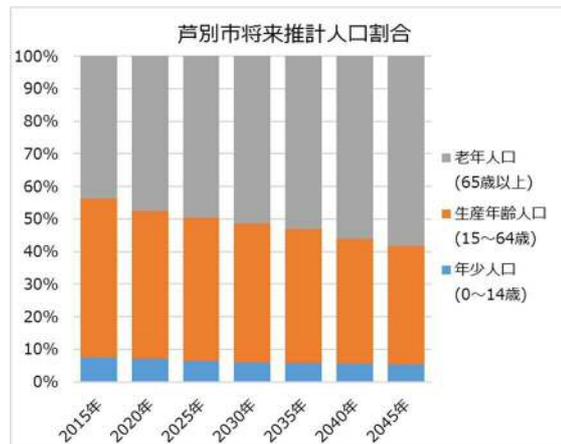


図 2-2-3 国立社会保障・人口問題研究所による将来人口割合推計

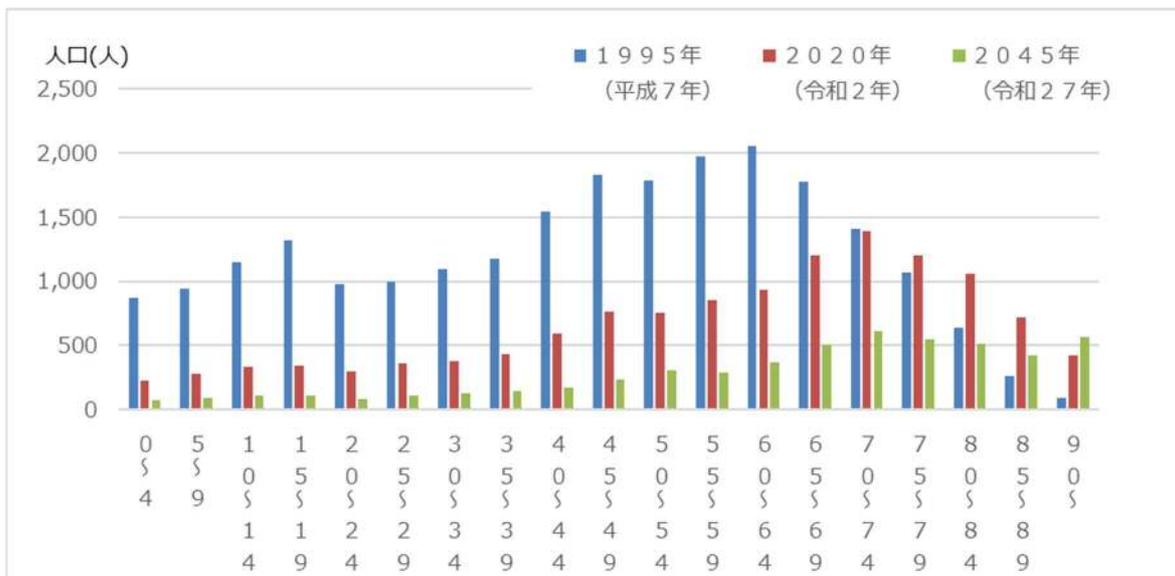


図2-2-4 将来人口動向（5階級別人口の20年推移）
2045年数値は2020年（令和2年）3月に作成した第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口推計値を使用

2-3 財政状況の推移

2-3-1 普通会計（歳入）決算額の推移

本市の歳入は、2016年度(平成28年度)から約110億円程度で推移してきましたが、2020年度(令和2年度)以降は、新型コロナウイルス感染症対策に係る国からの交付金等が増加しており、歳入の総額が120億円を超えています。

今後は人口減少に伴い、市税及び地方交付税等は減少するものと予想されるため、歳入総額は減少傾向にあります。

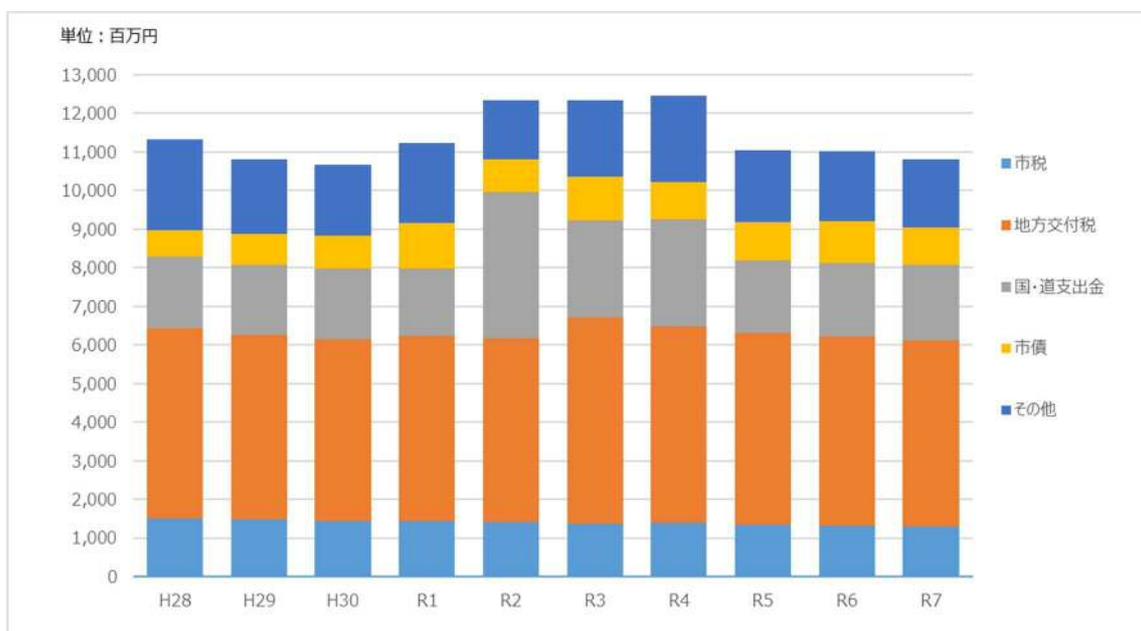


図 2-3-1 普通会計（歳入）決算額の推移

(2022年度(令和4年度)以降は2023年(令和5年)3月作成財政収支見通しより)

(参考) 用語の解説

用語	解説
普通会計	個々の地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なっているため、財政状況の統一的な把握及び比較が困難であることから、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分のこと。

2-3-2 普通会計（歳出）決算額の推移

本市の歳出は、将来に向けて健全な財政運営を堅持していくため、2018年度(平成30年度)に行財政運営と改革の基本方針及び財政基盤強化集中改革プランを掲げ、行財政改革に取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年度(令和2年度)及び2021年度(令和3年度)では、感染防止対策を講じるための公共施設における空調設備の改修等を行った他、市内経済回復のための施策の実施により、歳出の総額が一時的に増加しています。

今後は、コロナ禍前と同規模の110億円程度で推移する見込みとなっています。

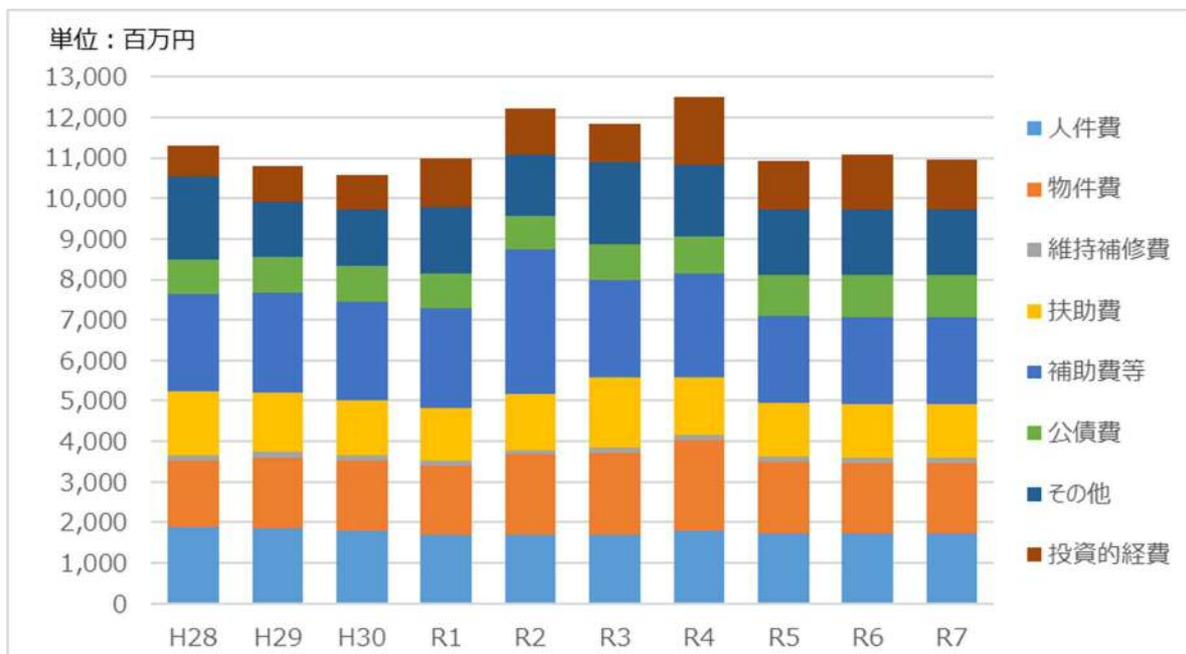


図 2-3-2-1 普通会計（歳出）決算額の推移

(2022年度(令和4年度)以降は2023年(令和5年)3月作成財政収支見通しより)

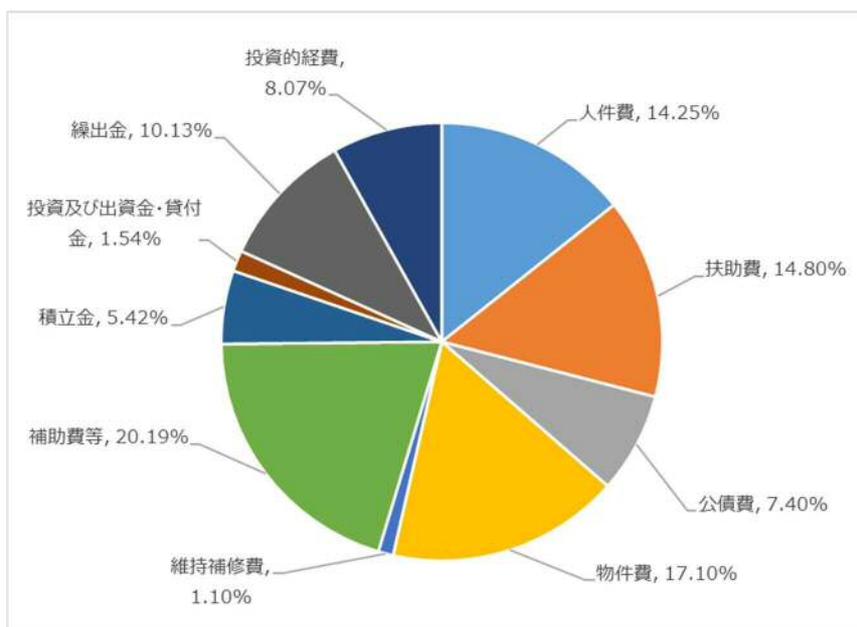


図 2-3-2-2 普通会計歳出別決算額の性質別内訳 (2021年度(令和3年度))

(参考) 用語の解説

用語	解説
扶助費	社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障がい者、生活困窮者等に対して行う支援に要する経費のこと。
公債費	地方自治体が借り入れた地方債の元利償還金と一時借入金の利息の合計のこと。
投資的経費	普通建設事業費（道路、学校、公園などの公共施設の建設や用地取得等）及び災害復旧事業費の合計のこと。

2-3-3 普通会計（義務的経費）決算額の推移

人件費は、人口減少を見据えた行財政改革の取組みとする退職不補充等の実施により、減少傾向にあります。扶助費は今後も高齢化率が上昇傾向にある中で、総人口は減少していくため、当面は横ばいで推移するものと予想されます。

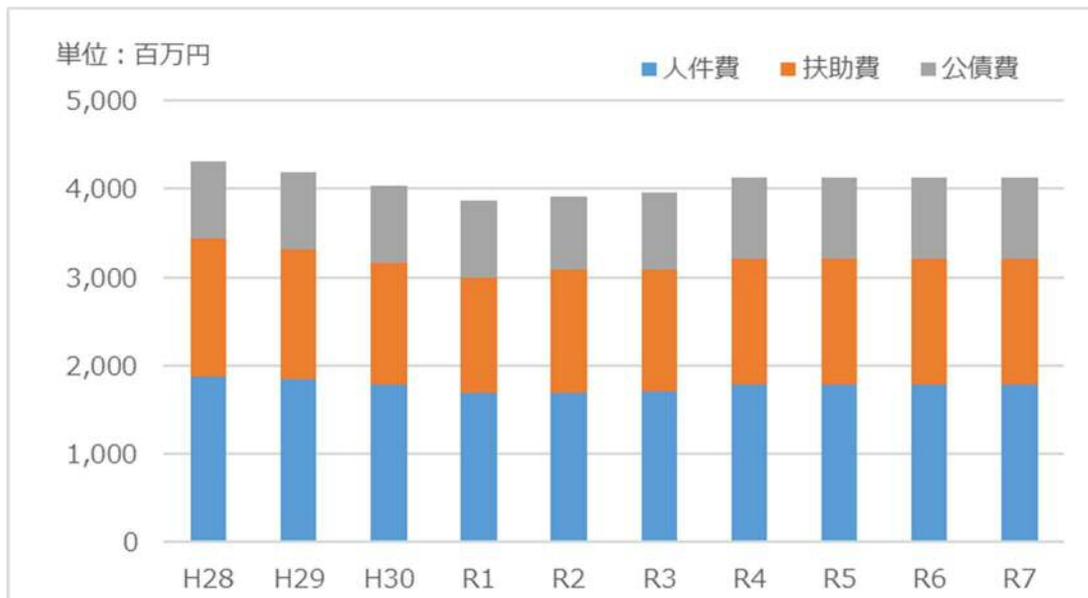


図 2-3-3 普通会計（義務的経費）決算額の推移

(2022 年度(令和 4 年度)以降は 2023 年(令和 5 年) 3 月作成財政収支見通しより)

2-3-4 普通建設事業費（普通会計）決算額の推移

2014年度(平成26年度)の投資的経費の実績は約9億円で、2015年度(平成27年度)に消防総合庁舎を建設したことから約18億円にまで増加しています。

2020年度(令和2年度)から2021年度(令和3年度)にかけて、新型コロナウイルス感染症に係る公共施設の感染症対策の他、計画を前倒した長寿命化対策を施したことから、年度間の増減が発生しています。

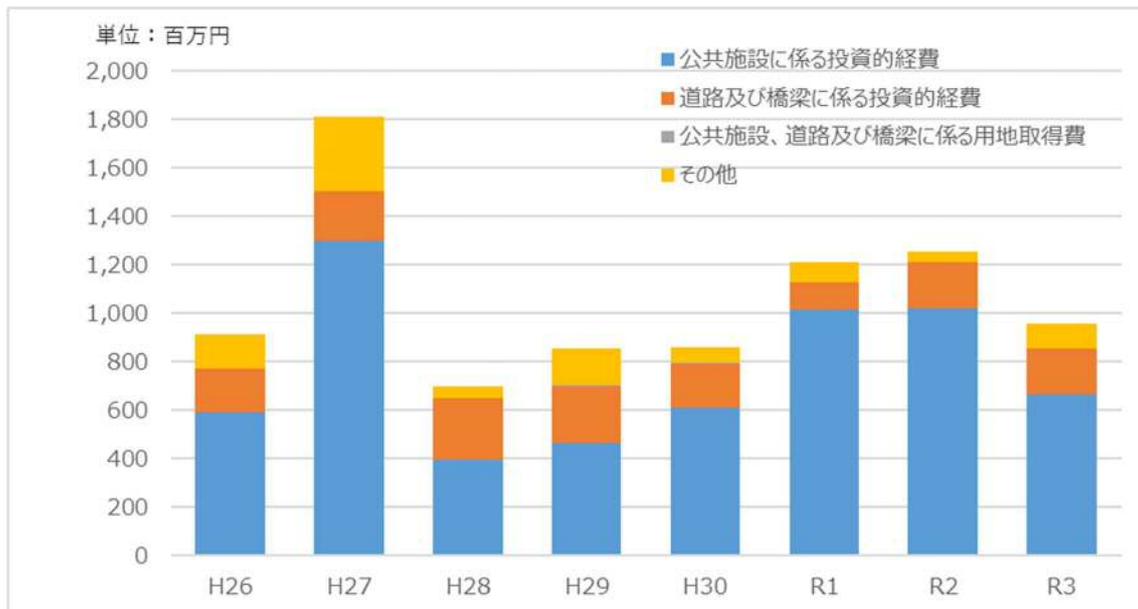


図 2-3-4 投資的経費決算額の推移

2-3-5 公共施設に係る普通建設事業費決算額の推移

2012年度(平成24年度)から2021年度(令和3年度)の10年間の普通建設事業費は、約3~14億円で推移しています。2015年度(平成27年度)には消防庁舎建替えを行ったことから一時的に決算額が増加しています。

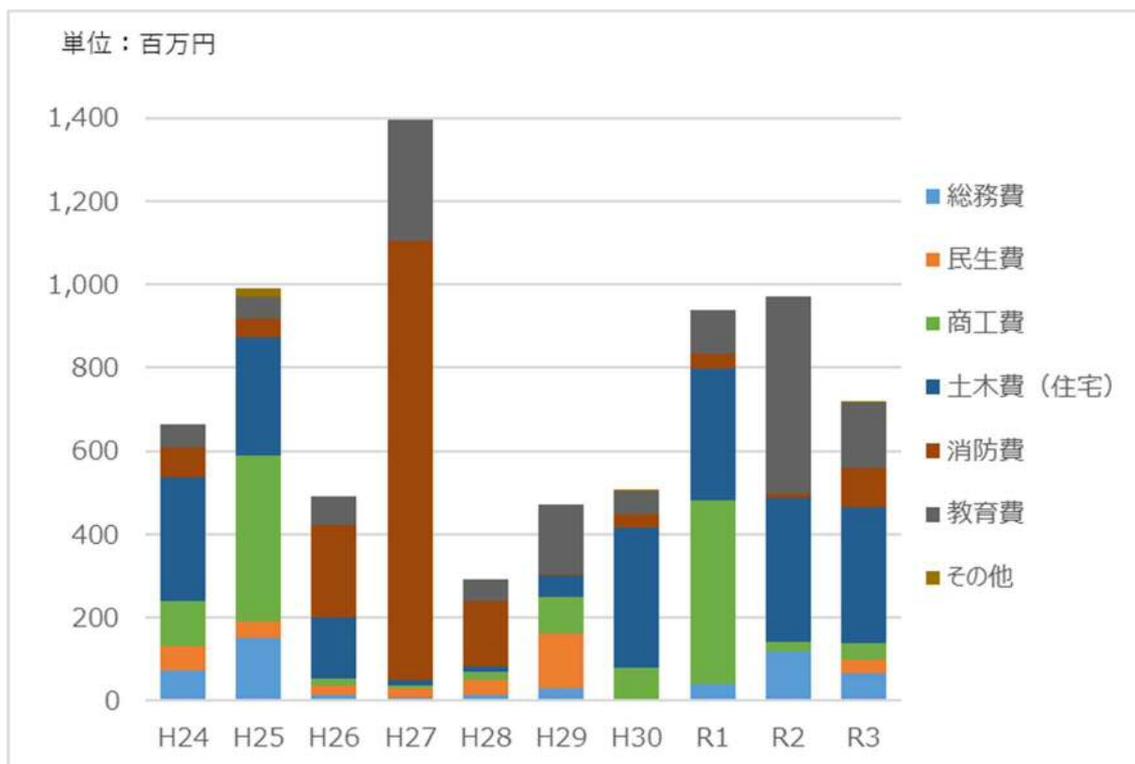


図 2-3-5 公共施設に係る普通建設事業費決算額の推移

※ 上記決算額は、衛生費、労働費、農林水産業費、公営住宅以外の土木費を除いたものを、普通建設事業費決算額と見なしました。

2-3-6 有形固定資産減価償却率

有形固定資産のうち、償却資産の取得価格に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握することができ、2021年度(令和3年度)は75.8%で、本市の保有する有形固定資産のおよそ4分の3が耐用年数を超えている状況にあり、類似団体平均と比較した場合、本市はいずれも約10ポイント高く、有形固定資産の老朽化が進んでいることがうかがえます。

長寿命化対策等を実施することで、実際の老朽化状況と異なることがあり、公共施設等のマネジメントを行うにあたっては、類似団体との比較参考値として活用します。

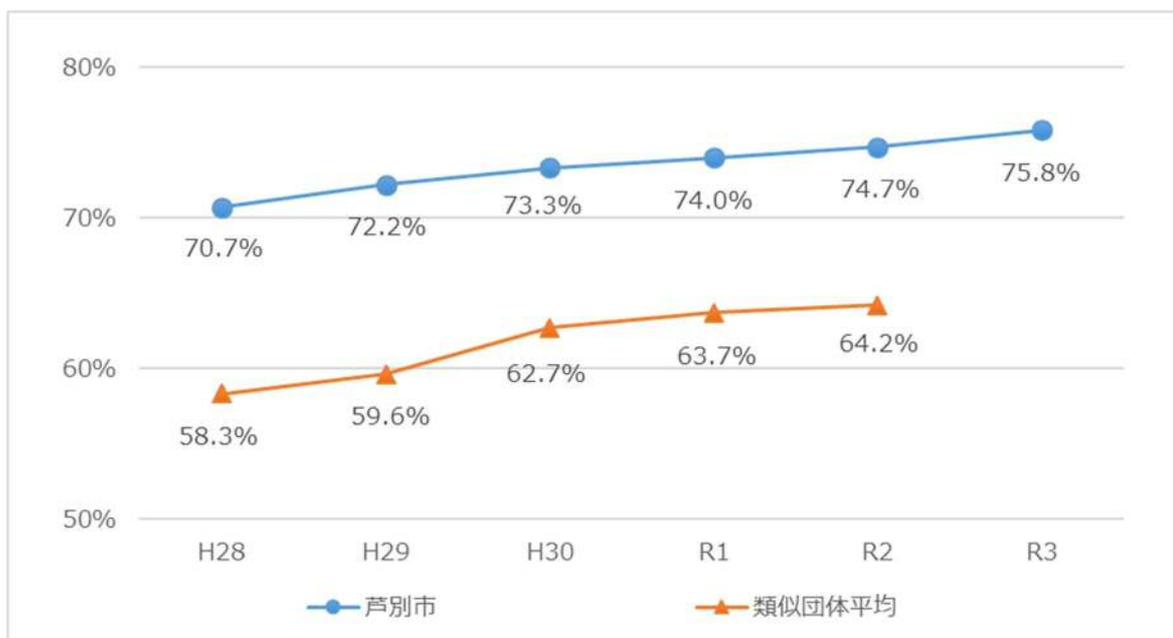


図 2-3-6 有形固定資産減価償却率の推移（市町村公開指標分析より）

2-3-7 公共施設等の管理経費に充当可能な地方債・基金等の財源の見込み

本市における公共施設等に要している維持管理経費等については、計画とは別に作成するアクションプランに基づき、毎年度のマネジメント経費を分析公表しております。

図 2-3-7 が示す 2018 年度(平成 30 年度)以降は公営住宅の建替えを行っていることから、経費が増加しており、公営住宅を除くと毎年 6 億円程度を要しています。

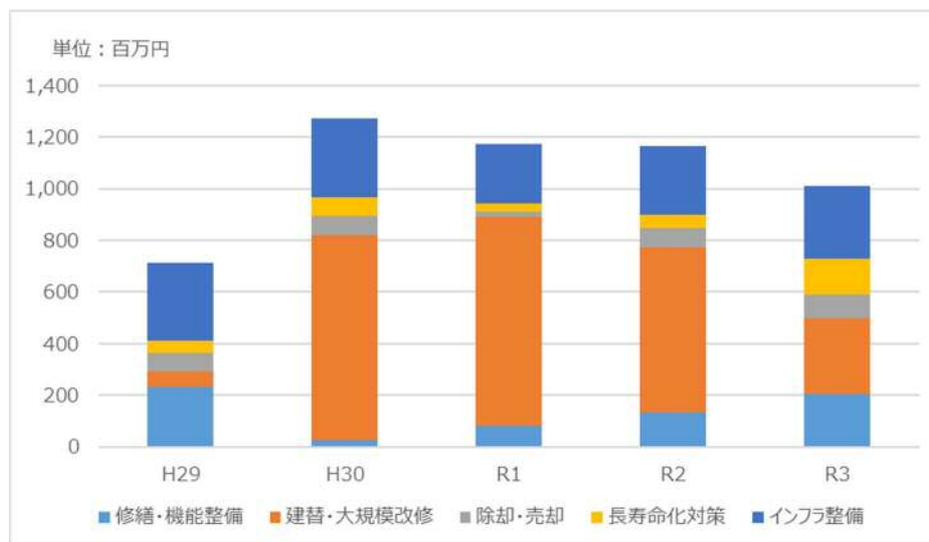


図 2-3-7 公共施設等の維持管理経費の推移 (アクションプラン取組状況報告書より)

今後も財政状況の厳しさが増していく中、毎年 10 億円以上の普通建設事業費も見込まれることから、地方財政措置のある有利な地方債や特定目的基金等を活用し、一般財源の抑制に努めていくことが重要となります。

2-4 他自治体との比較

2-4-1 人口と地勢

本市の行政面積は道内 35 市の中で 5 番目に大きく上位に位置し、可住地面積は 20 位で中間より下に位置し、可住地の人口密度は 33 位で下位に位置します。

表 2-4-1 道内 35 市の人口・面積・人口密度

団体区分	自治体名	人口		行政面積		可住地面積		可住地人口密度	
		(人)	順位	(ha)	順位	(ha)	順位	(人/ha)	順位
政令市	札幌市	1,960,668	1	112,126	3	43,898	1	44.66	1
中核市	函館市	248,106	3	67,787	11	12,334	22	20.12	2
中都市	小樽市	110,426	9	24,383	27	8,009	27	13.79	4
中核市	旭川市	327,960	2	74,766	9	35,194	4	9.32	6
小都市	室蘭市	79,986	11	8,101	33	4,340	32	18.43	3
中都市	釧路市	163,110	6	136,329	2	30,949	7	5.27	11
中都市	帯広市	165,047	5	61,934	12	38,281	3	4.31	14
中都市	北見市	114,326	8	142,741	1	42,515	2	2.69	19
小都市	夕張市	7,055	34	76,307	7	11,165	23	0.63	34
小都市	岩見沢市	78,112	12	48,102	19	31,831	6	2.45	22
小都市	網走市	34,016	19	47,100	20	21,594	9	1.58	24
小都市	留萌市	19,739	27	29,784	24	5,202	30	3.79	16
中都市	苫小牧市	169,528	4	56,157	15	20,182	13	8.40	7
小都市	稚内市	32,280	21	76,147	8	31,932	5	1.01	31
小都市	美唄市	20,001	26	27,769	26	15,776	19	1.27	27
小都市	芦別市	12,430	31	86,504	5	13,704	20	0.91	33
中都市	江別市	119,701	7	18,738	29	16,763	18	7.14	10
小都市	赤平市	9,368	32	12,988	30	3,669	34	2.55	20
小都市	紋別市	20,928	24	83,067	6	17,451	17	1.20	28
小都市	士別市	17,676	29	111,922	4	27,978	8	0.63	34
小都市	名寄市	26,663	22	53,520	16	19,852	14	1.34	26
小都市	三笠市	7,930	33	30,252	23	5,678	29	1.40	25
小都市	根室市	24,231	23	50,625	18	20,785	12	1.17	29
小都市	千歳市	97,716	10	59,450	14	19,623	16	4.98	12
小都市	滝川市	38,780	18	11,590	32	10,206	24	3.80	15
小都市	砂川市	16,169	30	7,868	34	4,884	31	3.31	17
小都市	歌志内市	2,916	35	5,595	35	1,398	35	2.09	23
小都市	深川市	19,658	28	52,942	17	21,452	11	0.92	32
小都市	富良野市	20,617	25	60,071	13	19,740	15	1.04	30
小都市	登別市	46,135	16	21,221	28	3,744	33	12.32	5
小都市	恵庭市	70,108	13	29,465	25	9,736	26	7.20	9
小都市	伊達市	32,901	20	44,421	21	13,092	21	2.51	21
小都市	北広島市	57,767	15	11,905	31	7,400	28	7.81	8
小都市	石狩市	58,096	14	72,242	10	21,533	10	2.70	18
小都市	北斗市	45,025	17	39,744	22	9,835	25	4.58	13

※人口：北海道統計 2022 年(令和 4 年)1 月 1 日住民基本台帳人口・世帯数

※面積・可住地面積：政府統計ポータルサイト

北海道内の市別 自然環境基礎データ (2020 年度(令和 2 年度))

※人口・面積・可住地人口密度は、同一年の統計値による比較ではありません。

2-4-2 公共施設面積と人口

本市の 1 人あたりの公共施設面積は 35 市で 5 番目に大きく、全道平均の 2.93 倍、全国平均の 5.16 倍となっています。財政力指数は、35 市の中で 30 番目に位置します。

表 2-4-2-1 人口・面積・公共施設延べ床面積の比較

団体 区分	自治体名	人口	行政面積	可住地面積	可住地 人口密度	公共施設 延床面積	1 人当たり公 共施設面積	財政力 指数
		(人)	(ha)	(ha)	(人/ha)	(㎡/人)	(㎡/人)	
政令市	札幌市	1,960,668	112,126	43,898	44.66	5,798,180	2.96	0.74
中核市	函館市	248,106	67,787	12,334	20.12	1,068,138	4.31	0.48
中都市	小樽市	110,426	24,383	8,009	13.79	622,455	5.64	0.46
中核市	旭川市	327,960	74,766	35,194	9.32	1,192,150	3.64	0.54
小都市	室蘭市	79,986	8,101	4,340	18.43	561,701	7.02	0.63
中都市	釧路市	163,110	136,329	30,949	5.27	1,120,802	6.87	0.45
中都市	帯広市	165,047	61,934	38,281	4.31	750,616	4.55	0.61
中都市	北見市	114,326	142,741	42,515	2.69	872,127	7.63	0.45
小都市	夕張市	7,055	76,307	11,165	0.63	455,369	64.55	0.21
小都市	岩見沢市	78,112	48,102	31,831	2.45	527,933	6.76	0.38
小都市	網走市	34,016	47,100	21,594	1.58	315,814	9.28	0.44
小都市	留萌市	19,739	29,784	5,202	3.79	209,011	10.59	0.33
中都市	苫小牧市	169,528	56,157	20,182	8.40	1,069,137	6.31	0.79
小都市	稚内市	32,280	76,147	31,932	1.01	458,274	14.20	0.39
小都市	美唄市	20,001	27,769	15,776	1.27	213,215	10.66	0.27
小都市	芦別市	12,430	86,504	13,704	0.91	247,362	19.90	0.26
中都市	江別市	119,701	18,738	16,763	7.14	364,138	3.04	0.56
小都市	赤平市	9,368	12,988	3,669	2.55	223,876	23.90	0.20
小都市	紋別市	20,928	83,067	17,451	1.20	251,415	12.01	0.32
小都市	士別市	17,676	111,922	27,978	0.63	294,204	16.64	0.26
小都市	名寄市	26,663	53,520	19,852	1.34	282,649	10.60	0.27
小都市	三笠市	7,930	30,252	5,678	1.40	269,162	33.94	0.20
小都市	根室市	24,231	50,625	20,785	1.17	227,289	9.38	0.35
小都市	千歳市	97,716	59,450	19,623	4.98	478,008	4.89	0.78
小都市	滝川市	38,780	11,590	10,206	3.80	328,551	8.47	0.41
小都市	砂川市	16,169	7,868	4,884	3.31	178,428	11.04	0.32
小都市	歌志内市	2,916	5,595	1,398	2.09	129,741	44.49	0.11
小都市	深川市	19,658	52,942	21,452	0.92	208,611	10.61	0.27
小都市	富良野市	20,617	60,071	19,740	1.04	202,469	9.82	0.37
小都市	登別市	46,135	21,221	3,744	12.32	264,605	5.74	0.47
小都市	恵庭市	70,108	29,465	9,736	7.20	264,687	3.78	0.61

団体区分	自治体名	人口	行政面積	可住地面積	可住地人口密度	公共施設延床面積	1人当たり公共施設面積	財政力指数
		(人)	(ha)	(ha)	(人/ha)	(㎡/人)	(㎡/人)	
小都市	伊達市	32,901	44,421	13,092	2.51	248,492	7.55	0.39
小都市	北広島市	57,767	11,905	7,400	7.81	225,872	3.91	0.65
小都市	石狩市	58,096	72,242	21,533	2.70	254,940	4.39	0.53
小都市	北斗市	45,025	39,744	9,835	4.58	241,522	5.36	0.48
	全道	5,183,687	7,845,361	2,237,555	2.32	35,234,935	6.80	0.46
	全国	125,927,902	37,233,643	12,199,655	10.32	486,428,203	3.86	0.52

※人口：北海道統計 2022年(令和4年)1月1日住民基本台帳人口・世帯数

※面積：政府統計ポータルサイト 北海道 市別 自然環境基礎データ(2020年度(令和2年度))

※公共施設延床面積：総務省統計情報 公共施設状況調経年比較表 都道府県及び市町村経年比較表(2006～2020年度(平成18年度～令和2年度))

※財政力指数：総務省統計情報 全都道府県及び全市町村の主要財政指標(2020年度(令和2年度))

※人口・面積・可住地人口密度は、同一年の統計値による比較ではありません。

表 2-4-2-2 1人あたりの公共施設面積内訳の比較

単位：㎡/人

自治体名	本庁舎	その他行政機関	学校	公営住宅	その他公共用財産	普通財産
札幌市	0.02	0.20	1.22	0.98	0.45	0.08
函館市	0.11	0.30	1.47	1.47	0.77	0.19
小樽市	0.13	0.24	1.47	2.07	1.15	0.57
旭川市	0.08	0.20	1.47	1.17	0.67	0.04
室蘭市	0.17	0.17	1.42	3.54	1.07	0.66
釧路市	0.13	0.35	1.65	2.70	1.81	0.23
帯広市	0.14	0.23	1.53	1.38	1.17	0.10
北見市	0.13	0.29	1.76	2.84	1.85	0.76
夕張市	1.04	3.62	1.61	40.53	7.55	10.19
岩見沢市	0.08	0.13	1.71	1.71	2.26	0.87
網走市	0.20	0.36	2.33	3.51	2.40	0.48
留萌市	0.27	0.07	2.15	4.51	2.61	0.98
苫小牧市	0.15	0.28	1.56	2.87	0.90	0.55
稚内市	0.24	0.15	2.78	2.22	7.93	0.87
美唄市	0.35	0.33	1.61	4.19	3.01	1.18
芦別市	0.49	0.46	2.06	10.11	4.99	1.79
江別市	0.08	0.29	1.19	0.70	0.62	0.17
赤平市	0.61	0.43	3.08	15.85	3.93	0.00
紋別市	0.25	0.20	2.47	3.88	3.57	1.66
士別市	0.38	2.02	2.69	4.74	4.85	1.96
名寄市	0.33	0.44	2.05	2.47	4.41	0.90
三笠市	0.39	0.24	5.01	19.53	7.76	1.01
根室市	0.24	0.17	2.67	3.23	2.74	0.32
千歳市	0.16	0.42	1.40	1.68	1.12	0.12
滝川市	0.41	0.05	2.10	3.23	1.83	0.86
砂川市	0.31	0.20	2.32	6.12	1.95	0.13
歌志内市	0.97	1.75	6.28	10.18	24.58	0.74
深川市	0.39	0.07	1.88	2.67	4.84	0.77

自治体名	本庁舎	その他 行政機関	学校	公営住宅	その他 公共用財産	普通財産
富良野市	0.32	0.48	2.20	1.92	3.70	1.20
登別市	0.11	0.44	1.60	2.25	1.15	0.19
恵庭市	0.14	0.28	1.24	1.18	0.81	0.14
伊達市	0.56	0.78	1.49	2.63	1.45	0.65
北広島市	0.21	0.53	1.42	0.48	0.92	0.34
石狩市	0.17	0.35	1.54	0.42	1.35	0.56
北斗市	0.19	0.07	1.66	1.61	1.66	0.18
全道	0.18	0.34	1.71	2.13	1.95	0.47
全国	0.14	0.20	1.37	0.73	1.18	0.17

本市の1人あたり公共施設面積の内訳は、公営住宅の1人あたり面積が最も大きく、35市の内5番目の大きさであり、その他公共用財産も35市の中で5番目となります。

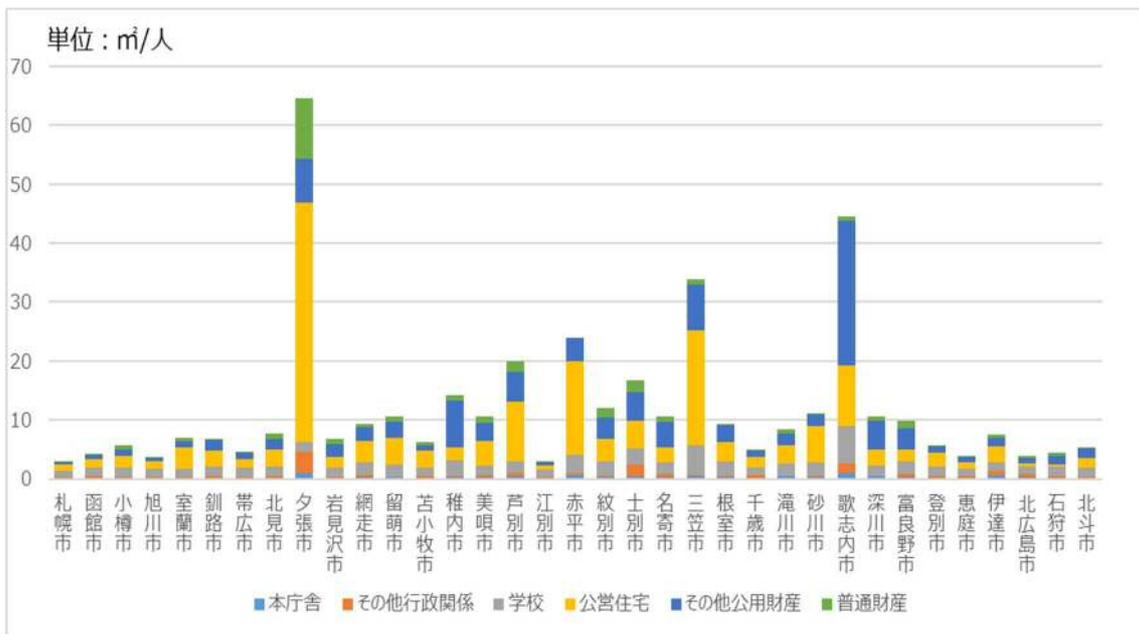


図 2-4-2-3 1人あたりの公共施設面積の比較（2020年度(令和2年度)）

※その他行政機関：消防施設、その他の施設

※その他公共用財産：公園、その他の施設。学校、公営住宅も公共用財産に含まれるが、独立して表示(図示)している。

※普通財産：宅地、田畑、山林、その他

2-5 公共施設の保有状況

2023年(令和5年)3月末における本市の全公共施設(建物)は393棟で、総延べ床面積は246,818㎡となっています。このうち、公営住宅が119,577㎡(全体の48.4%)と最も多く、次に「スポーツ・レクリエーション系施設」の26,726㎡(全体の10.8%)、「学校教育系施設」の26,291㎡(全体の10.7%)となっています。

また、築年別に建物の保有状況(22頁参照)を見ると、1976~1990年(昭和51年~平成2年)に整備された施設が多くなっています。これらの施設は建築後35年以上が経過しており、老朽化による大規模修繕や建替えにより、今後、多くのコストを必要とすることが予想されます。

なお、公営住宅は、本計画の策定時点(2016年(平成28年)3月)において、すでに長寿命化計画等[※]を策定していることから、本白書では個別の検討対象施設とはしません。同様に、橋梁及び公園についても長寿命化計画等[※]を策定しており、個別の検討対象から除外とします。

※「芦別市住生活基本計画」(2014年(平成26年)3月策定)

「芦別市公営住宅等長寿命化計画」(2014年(平成26年)3月策定、2019年(令和3年)3月改訂)

「芦別市橋梁長寿命化計画」(2014年(平成26年)3月策定、2019年(令和3年)3月改訂)

「芦別市公園施設長寿命化計画」(2014年(平成26年)3月策定)

「芦別市都市公園再整備計画」(2014年(平成26年)3月策定)、2019年(令和3年)3月改訂)

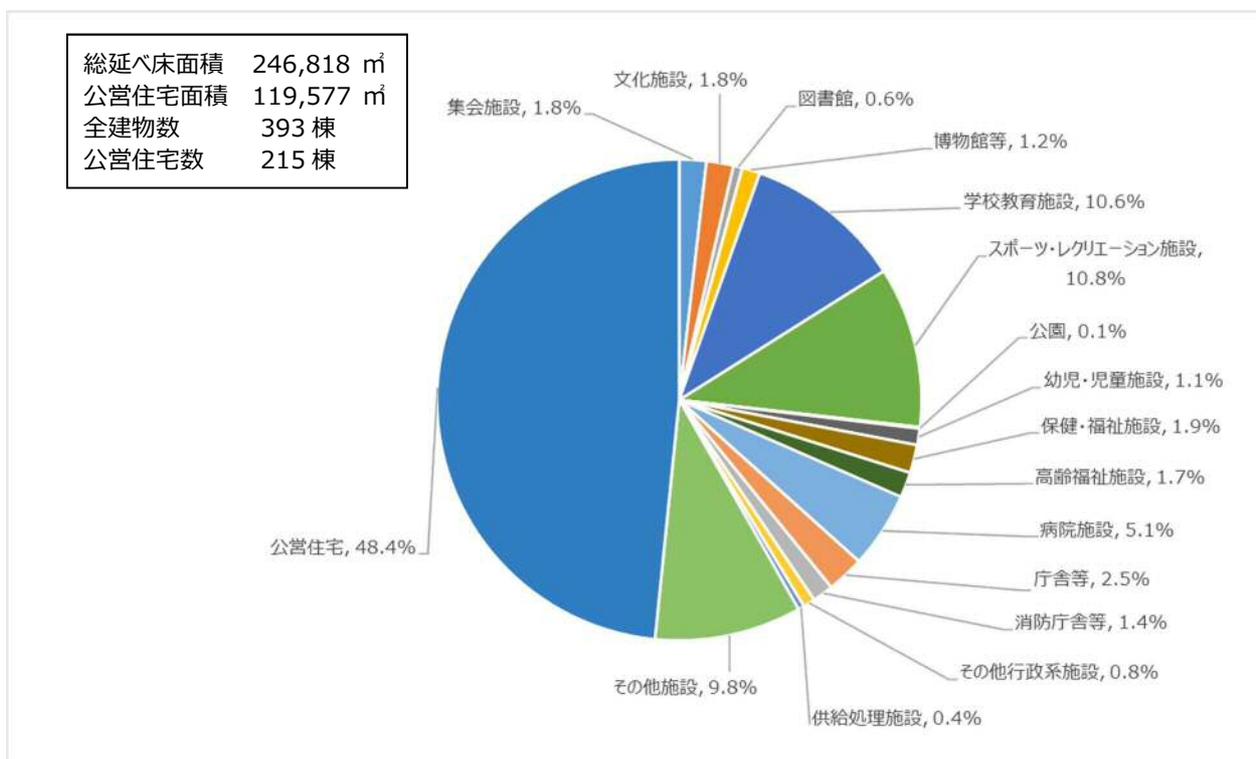


図 2-5-1 全公共施設延べ床面積割合(2023年(令和5年)3月末現在)

表 2-5-2 施設用途別の公共施設保有状況（施設例）

2023年(令和5)年3月末現在

分類	施設例	建物数	延床面積
		(棟)	(㎡)
市民文化系施設	各研修センター、本町地区生活館、市民会館、芸術文化交流館など	11	8,939
社会教育系施設	図書館、星の降る里百年記念館、郷土資料収蔵庫、旧干場家レンガ倉庫	4	4,313
スポーツ・レクリエーション系施設	芦別温泉スターライトホテル、滝里湖オートキャンプ場、道の駅スタープラザ芦別、青年センターなど	33	26,726
学校教育系施設	芦別小学校、上芦別小学校、芦別中学校、啓成中学校、学校給食センター	16	26,291
子育て支援施設	子どもセンターつばさ	2	2,622
保健・福祉施設	総合福祉センターなど	3	4,768
行政系施設	総合庁舎、車両格納庫、消防団分団詰所、車両センターなど	12	11,348
公園	旭ヶ丘公園など	4	252
供給処理施設	ゴミ処理センター、資源ごみ保管施設	2	965
その他の施設	斎場、共同浴場、市職員住宅、教職員住宅、医師住宅など	20	3,585
病院施設	市立芦別病院	1	12,574
高齢福祉施設	保健福祉施設すばる	1	4,185
公営住宅	公営住宅、改良住宅、特定公共賃貸住宅	215	119,577
その他施設（遊休・貸付・除却等）	旧常磐小学校、旧保健センター、旧教職員住宅、旧健民センターオートキャンプ場、旧カナディアンワールド公園など	69	20,673
合計		393	246,818

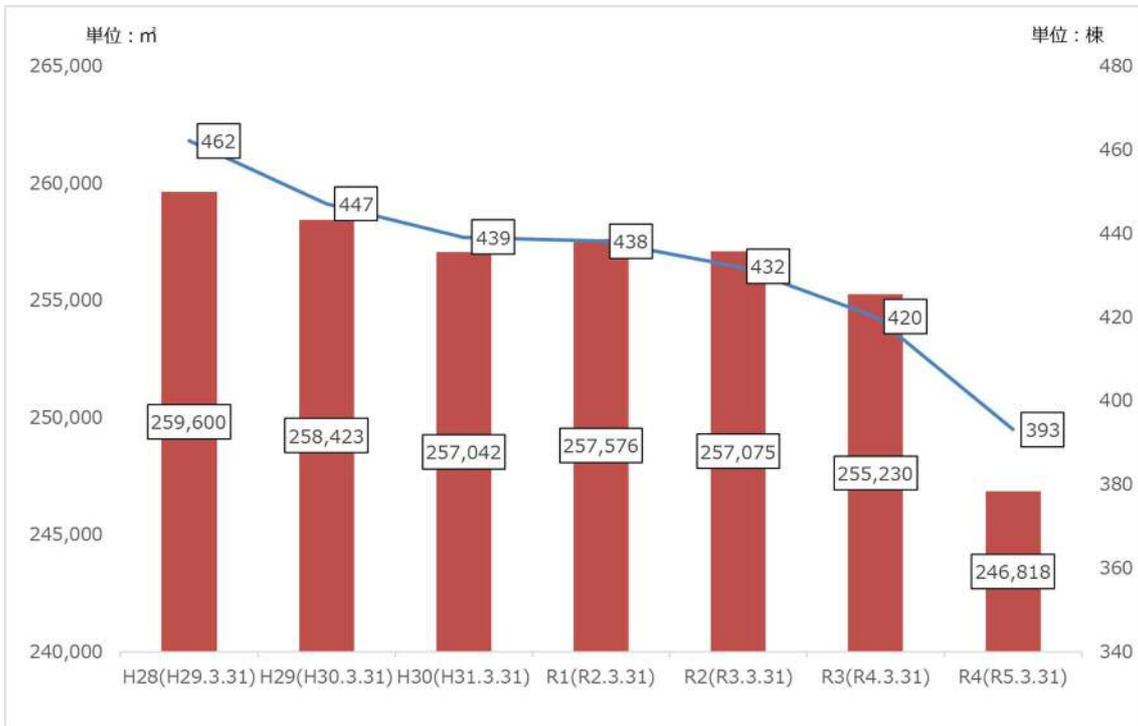


図 2-5-3 公共施設の延べ床面積及び保有状況の推移 (2023年(令和5年)3月末現在)

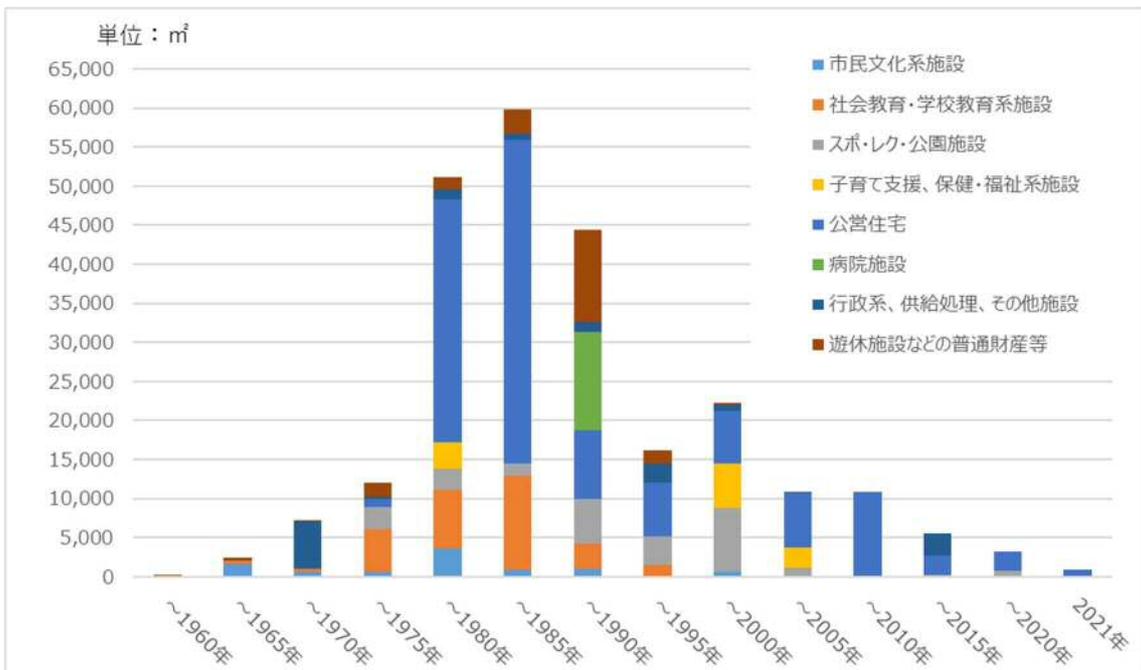


図 2-5-4 施設用途別、建築年代別の主要施設分布 (2023年(令和5年)3月末現在)

表 2-5-5 建築年代別の代表的な施設

建築年代	代表的な施設
～1965年（昭和40年）	芸術文化交流館、芦別中学校（1線校舎①）、国設芦別スキー場（スキーハウス）、消防団第二分団詰所、中高年事業団作業所
～1970年（昭和45年）	青少年会館、芦別中学校（1線校舎②）、総合庁舎、土木課資材倉庫
～1975年（昭和50年）	青年センター、図書館、芦別小学校（体育館）、上芦別保育園、静和荘（A棟）、芦別消防団第三分団詰所、教職員住宅共49・50号
～1980年（昭和55年）	市民会館、国民宿舍あしべつ、啓成中学校（管理棟）、総合福祉センター（本館）、車両格納庫A棟、医師住宅（院長住宅）
～1985年（昭和60年）	啓南多目的研修センター、芦別スキー場（ロッジ）、芦別小学校、上芦別小学校、保健センター、浄化センター、あかつき団地共55
～1990年（平成2年）	上芦別多目的研修センター、旧干場家レンガ倉庫、芦別温泉スターライトホテル、学校給食センター、保健センター、カナディアンワールド公園（チロル記念館除く）、斎場、市立芦別病院
～1995年（平成7年）	頼城多目的研修センター、星の降る里百年記念館、芦別温泉、油谷体育館、車両センター、チロル記念館、ごみ処理センター、健民センター団地
～2000年（平成12年）	本町地区生活館、健民センター、滝里湖オートキャンプ場コテージ、総合福祉センター（別館）、資源ごみ保管施設、教職員住宅共109号
～2005年（平成17年）	子どもセンターつばさ、教職員住宅共111号
～2010年（平成22年）	建築施設なし
～2015年（平成27年）	木質チップボイラー棟、医師住宅、消防総合庁舎
～2020年（令和2年）	芦別宿泊交流センター2号館、常磐多目的研修センター第2分団車庫

2-6 将来のライフサイクルコスト

将来にわたって全ての公共施設及びインフラを維持するとした場合、以下に示されるように、必要な維持管理・更新費用が推計されます。（総務省公共施設更新費用試算ソフトによる）

2015年(平成27年)から2054年(令和36年)までの40年間整備額は約1,780億円と推計され、1年当たり44.5億円となり、市の直近5カ年の公共施設等の投資的経費平均額10.3億円の約4.3倍に相当します。

※ 2022年度(令和4年度)の本計画の見直しにおける上記の推計値は、2015年度(平成27年度)当時の積算方法を用いた総務省公共施設更新費用試算ソフトを活用しており、本ソフト等が更新された際には、更新費用の見直しを行います。

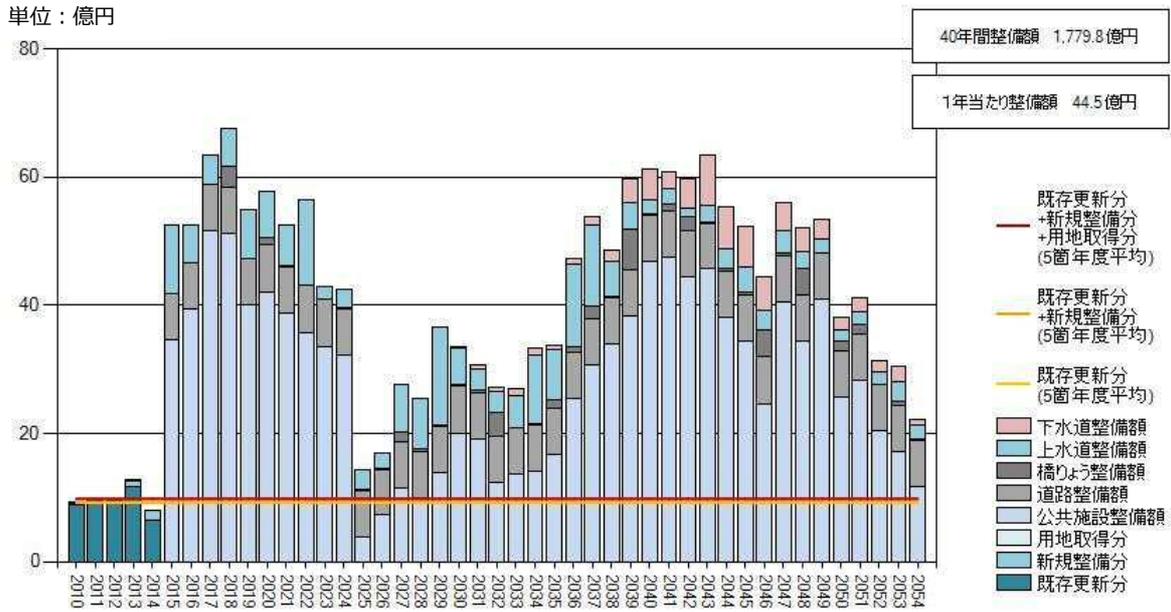


図 2-6-1 将来の更新費用の推計（全公共施設及びインフラ） 2015 年度(平成 27 年度)作成

公共施設だけでも、2054 年(令和 36 年)までの 40 年間で必要となる公共施設更新費用の総額は約 1,170 億円で、年間 29.2 億円と試算されます。すべての公共施設およびインフラを維持管理、更新することは財政的には困難であり、財政負担の平準化を図りながら長寿命化等の対策が必要となります。

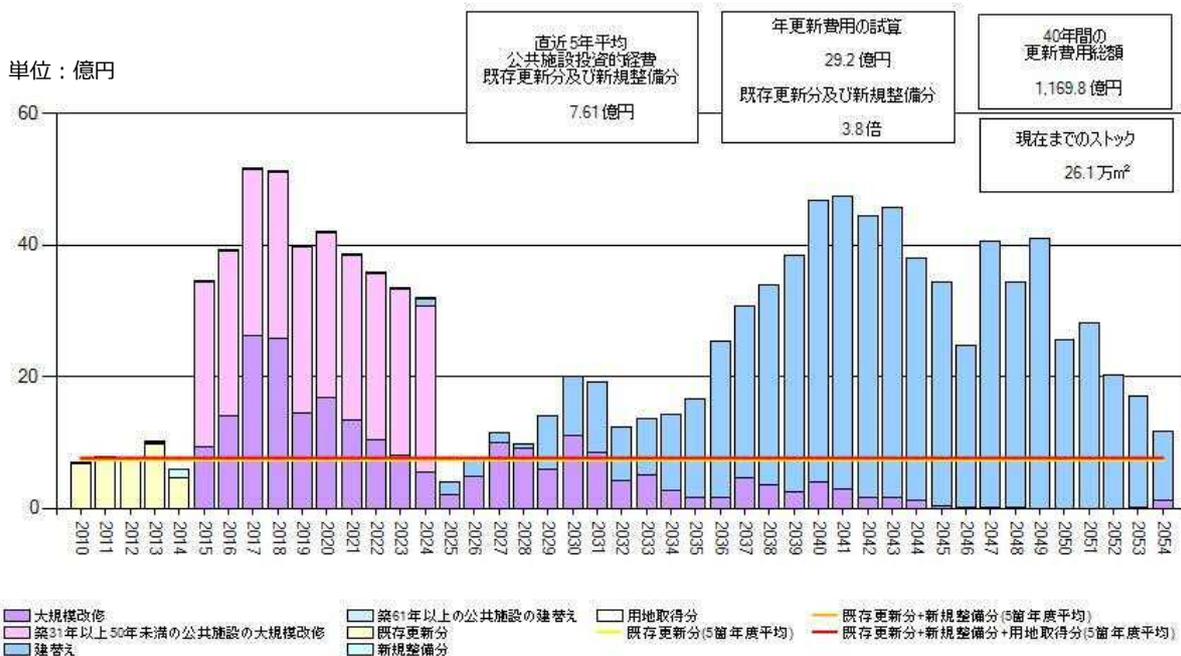


図 2-6-2 将来の更新費用の推計（全公共施設） 2015 年度(平成 27 年度)作成

表 2-6-3 将来の更新費用シミュレーション条件（2015 年度(平成 27 年度)時点)

公共施設	延床面積 26.1 万 m ² 大規模改修 更新年数	30 年 改修期間 2 年 60 年 更新期間 3 年
道路	更新年数	15 年
橋梁	更新年数	60 年
上水道	プラント大規模改修年数 プラント更新年数 管更新	30 年 割合 60% 60 年 割合 100% 40 年
下水道	プラント大規模改修年数 プラント更新年数 管更新	30 年 割合 60% 60 年 割合 100% 50 年

表 2-6-4 各年度における公共施設等の維持管理経費（行政コスト：人件費含む）

単位：千円

分 類	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R1年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)
市民文化系施設	56,258	60,877	62,394	61,634	61,797	69,041
社会教育系施設	75,945	75,162	76,262	81,990	92,632	113,514
スポーツ・レクリエーション系施設	369,929	311,871	353,453	341,907	278,808	281,434
学校教育系施設	253,804	252,295	238,815	204,138	216,677	251,919
子育て支援施設	253,192	246,691	246,098	252,370	216,028	242,687
保健・福祉施設	63,515	67,943	76,803	63,921	59,742	67,045
行政系施設	180,096	183,642	185,727	183,386	176,228	215,314
公園(旧カテドリアンホール)	17,779	16,394	16,179			
供給処理施設	61,408	61,293	64,413	60,212	59,467	78,442
その他の施設	60,822	63,314	60,672	54,435	57,899	57,643
病院施設	2,368,798	2,241,598	2,033,140	2,124,242	2,101,749	2,032,140
高齢福祉施設	147,086	104,812	62,105	114,455	62,441	78,216
合 計	3,908,632	3,685,892	3,476,061	3,542,690	3,383,468	3,487,395

※各年の施設別の行政コストは毎年度作成しているアクションプラン取組状況報告にて公表

第3章 公共施設の現状と課題

3-1 評価の方法

本章では、本市が保有する公共施設のうち、延べ床面積 50 ㎡以上の建物を保有する施設を取り上げ、施設の現状と課題把握を行います。

3-1-1 検討対象施設

総務省のホームページで公開されている「公共施設更新費用試算ソフト」での用途分類を参考に、会計別に大分類項目・中分類項目及びそれぞれに該当する公共施設の設置目的や利用実態により次のとおり分類します。

なお、以下の施設は、(カルテ作成) 対象外施設とします。

(1)延床面積 50 ㎡未満の施設 例) 倉庫、物置、公衆便所、駐輪場など

(2)個別の長寿命化計画を策定している建築物 (公園及び公営住宅)

表 3-1-1-1 公共施設用途分類表と検討対象施設

2023年(令和5年)3月末現在

会計名	大分類	中分類	施設名称	担当課
普通会計	市民文化系施設	集会施設	各研修センター、本町地区生活館	市民課
		文化施設	市民会館、芸術文化交流館	生涯学習課
	社会教育系施設	図書館	図書館	図書館
		博物館等	星の降る里百年記念館、郷土資料収蔵庫、旧干場家レンガ倉庫	百年記念館
	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	青年センター	生涯学習課
			B&G 海洋センター、勤労者体育センター、旧旭弓道場、海洋クラブ管理棟艇庫、なまこ山総合運動公園	体育振興課
		レクリエーション施設	滝里湖オートキャンプ場、陶芸センター、道の駅スタープラザ芦別	商工観光課
		保養施設	健民センター (国民宿舎あしべつ・芦別温泉スターライトホテル・星遊館・星遊館機械室・芦別温泉・油谷体育館・油谷体育館トレーニングハウス・焼肉ガーデン・木質チップボイラー棟)	
			あしべつ宿泊交流センター	
	学校教育系施設	学校	各小学校 (芦別・上芦別)、各中学校 (芦別・啓成)	学務課
		その他教育施設	学校給食センター	学校給食センター
	子育て支援施設	幼児・児童施設	子どもセンターつばさ	児童課

会計名	大分類	中分類	施設名称	担当課
普通会計	保健・福祉施設	福祉施設	総合福祉センター（本館・別館・西棟）	福祉課
		保健施設	なし	
	行政系施設	庁舎等	総合庁舎・附属建物	総務防災課
		消防施設	消防総合庁舎、消防署各分遣所、消防団分団詰所	消防署
		その他行政系施設	車両センター、各車両格納庫（A棟・B棟）	総務防災課
	公園	公園	なし	
	供給処理施設	供給処理施設	ごみ処理センター、資源ごみ保管施設	市民課
	その他	その他	市職員住宅(三角山団地)、旧車両事務所	総務防災課
			旧教職員住宅、旧保健センター（S58）、旧保健センター（S62）、旧浄化センター、中高年事業団作業所、旧高齢者生きがいセンター、旧常磐小学校	財政課
			旧市営牧場	農林課
			旧上芦別生活館、斎場、共同浴場（西芦別・頼城）	市民課
			旧土木課資材倉庫	都市建設課
			健民センター従業員住宅、旧国設芦別スキー場、旧健民センターオートキャンプ場、旧カナディアンワールド公園	商工観光課
			各教職員住宅	学務課
各医師住宅			市立病院事務課	
病院会計	病院施設	病院施設	市立芦別病院	市立病院事務課
介護サービス会計	高齢福祉施設	高齢福祉施設	保健福祉施設すばる	介護高齢課

本白書の対象施設の建物数と延べ床面積は、長寿命化計画を策定している公営住宅及び公園を除いて次のとおり分類し、現況についても、分類ごとに整理するものとします。

表 3-1-1-2 公共施設分類と建物数・延べ床面積

2023年(令和5年)3月末現在

分類	棟数 (棟)	面積 (㎡)
市民文化系施設	11	8,939
社会教育系施設	4	4,313
スポーツ・レクリエーション系施設	33	26,726
学校教育系施設	16	26,291
子育て支援施設	2	2,622
保健・福祉施設	3	4,768
行政系施設	12	11,348
供給処理施設	2	965
その他の施設	20	3,585
病院施設	1	12,574
高齢福祉施設	1	4,185
その他施設（遊休・貸付・除却等）	69	20,673
合計	174	126,989

3-1-2 公共施設の現況と課題の整理の考え方

本章では、本市が保有する公共施設の現況と課題を用途ごとに整理し、今後の整備の方向性を検討するための基礎資料とします。

公共施設の状況を、公共施設を運営していくなかで満たすべき条件である①ハード面（品質）、②ソフト面（供給）、③財務（コスト状況）の観点から分析します。

とりわけハード面（品質）は、耐震性能や老朽化率の指標から、悪い状況にある施設は改善するための方策が必要です。

表3-1-2 公共施設状況整理の指標

指 標			指 標 の 概 要
ハード	品質	耐震性能	市民にとって安全に使用できる条件を維持しているか
		老朽化状況	
		改修状況	
		福祉性能	市民にとって便利に使用できる条件を備えているか
		省エネ・環境性能	
ソフト	供給	利用状況	行政サービス（市民にとって使用し易い機能）を提供しているか
	財務	コスト状況	適切な経費（市民にとって少ない負担）で施設運営がされているか

3-1-3 ハード面の評価

施設のハード面（物理的評価）に該当する項目は、耐震化状況、老朽化状況、大規模改修状況の3項目とし、施設の付加価値評価に該当する項目として、福祉性能と省エネ・環境性能の2項目を追加して考えます。それぞれの項目は、客観的数値に基づき点数化し、評価します。

評価は、物理的条件を優先する立場から、ハード面に関わる5項目についての5軸評価として、評価軸で各施設を簡易的に評価しパターン化します。

5軸評価の評価軸は、Ⅰ 耐震性能、Ⅱ 老朽化率、Ⅲ 大規模改修、Ⅳ 福祉性能、Ⅴ 省エネ・環境性能とします。

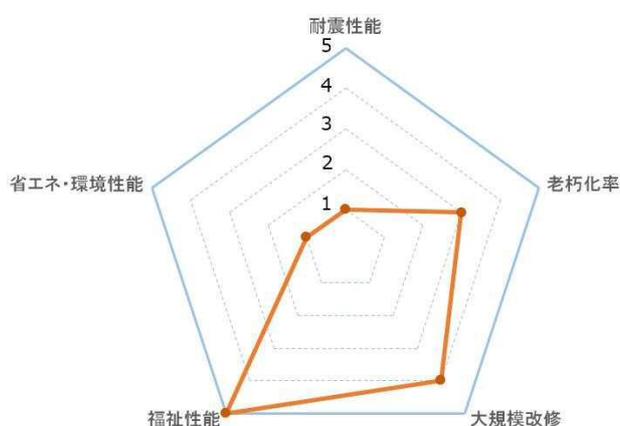


図 3-1-3-1 評価項目と評価指標

(1) 耐震性能

耐震性能のランクは、新耐震基準（1981年(昭和56年)以降）、旧耐震基準（IS値0.75以上）、旧耐震基準（IS値0.6以上）、旧耐震基準（1981年(昭和56年)以前）の4段階とし、耐震診断及び耐震改修の計画・実施等の細目について整理します。

表 3-1-3-2 I 軸 耐震性能：耐震診断、耐震基準への適合状況

点数	耐震性能
5	新耐震基準（S56年以降）
4	旧耐震基準（IS値0.75以上）
3	旧耐震基準（IS値0.6以上）
1	旧耐震基準（S56年以前）

※IS値：国土交通省告示・文部科学省学校耐震化基準参考

(2) 劣化状況の把握

各施設の劣化状況を整理します。劣化状況を把握する指標としては、建物の築年数を耐用年数で割った「老朽化率」を用います。耐用年数は木造 24 年、非木造 50 年（鉄骨造・コンクリートブロック造は 38 年）と設定します。

耐用年数は、細目分類せず、代表的な用途（事務所用）として設定します。

表 3-1-3-3 建物構造別耐用年数

RC（鉄筋コンクリート造）	50
SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造）	50
S（鉄骨造）・CB（コンクリートブロック造）	38
W（木造）	24
建物附属設備	15

表 3-1-3-4 II 軸 老朽化率：「老朽化率」= 建物の築年数 / 耐用年数

点数	老朽化率
5	0～25%未満
4	25～50%未満
3	50～75%未満
2	75～100%未満
1	100%以上

(3) 改修状況

表 3-1-3-5 III 軸 大規模改修

点数	大規模改修
5	建築後 10 年以内（大規模改修不要）
4	建物本体（躯体）の改修実施
3	設備の改修実施
2	未実施（数年以内に実施計画あり）
1	未実施

(4) 福祉性能

エレベーター・バリアフリー・自動ドア・スロープ・多目的トイレ・その他

表 3-1-3-6 IV軸 福祉性能

点数	福祉性能
5	4 項目以上
4	3 項目
3	2 項目
2	1 項目
1	未対応

(5) 省エネ・環境性能

省エネ・環境性能として、節電設備（高効率空調・照明）、節水設備（節水トイレ・節水蛇口・雨水利用）、自然エネルギー（太陽光発電・木質バイオマス等）、緑化（屋上・壁面）等があります。

表 3-1-3-7 5軸 省エネ・環境性能

(自然エネルギー・省エネ空調・省エネ照明・節水・緑化等)

点数	省エネ・環境性能
5	4 項目以上
4	3 項目
3	2 項目
2	1 項目
1	未対応

「アスベスト」の問題がありますが、これは絶対的要件であるので、耐震性能と同様、最優先項目として取扱う必要があります。

3-1-4 ソフト面の評価

(1) 利用状況の把握

各施設の利用状況を整理します。施設用途ごとに利用者や利用形態が異なるため、表のとおり利用率や1日平均利用者数など、施設用途ごとに適切な指標を設定します。

利用状況の数値は、2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)の平均値を基本として整理します。

表 3-1-4-1 利用状況を確認するための指標

施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設	利用状況を確認するための指標
市民文化系施設	集会施設	各研修センター、 本町地区生活館	利用者数、1日平均利用者数
	文化施設	市民会館、 芸術文化交流館	利用率 利用者数、1日平均利用者数
社会教育系施設	図書館	図書館	利用者数、1日平均利用者数
	博物館等	星の降る里百年記念館	利用者数、1日平均利用者数
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	青年センター、B&G 海洋センター、 勤労者体育センター、 旧旭弓道場、なまこ山総合運動公園	利用者数、1日平均利用者数
	レクリエーション施設	滝里湖オートキャンプ場、陶芸センター、道の駅スタープラザ芦別	利用者数、1日平均利用者数
	保養施設	健民センター、 あしべつ宿泊交流センター	利用者数、1日平均利用者数
学校教育系施設	学校	各小学校	児童数
		各中学校	生徒数
	その他教育施設	学校給食センター	食数、1日平均食数
子育て支援施設	幼児・児童施設	子どもセンターつばさ	利用者数、1日平均利用者数
保健・福祉施設	福祉施設	総合福祉センター（本館・別館・西棟）	利用者数、1日平均利用者数
	保健施設	なし	—
行政系施設	庁舎等	総合庁舎	—
	消防施設	消防総合庁舎、消防団分団詰所等	—
	その他行政系施設	車両センター・各車両格納庫	—
公園	公園	なし	—
供給処理施設	供給処理施設	ごみ処理センター、資源ごみ保管施設	—
その他	その他	斎場、共同浴場（西芦別・頼城）	利用者数、利用件数、1日平均利用件数、入居数

施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設	利用状況を確認するための指標
その他	その他	旧上芦別生活館、市職員住宅(三角山団地)、旧車両事務所、旧市職員住宅、旧教職員住宅、旧保健センター(S58)、旧保健センター(S62)、旧浄化センター、中高年事業団作業所、旧高齢者生きがいセンター、旧常磐小学校、旧市営牧場、土木課資材倉庫、健民センター従業員住宅、旧国設芦別スキー場、旧健民センターオートキャンプ場、旧カナディアンワールド公園、各教職員住宅、各医師住宅	—
病院施設	病院施設	市立芦別病院	外来患者数
高齢福祉施設	高齢福祉施設	保健福祉施設すばる	利用者数、1日平均利用者数

(2) コスト状況の把握

施設ごとに運営・維持に係る費用について、次のとおり施設に係る行政コストと使用料等の収入から現状における市の負担額を算出します。

施設に係るコスト：事業運営コスト（人件費、事業運営委託料、指定管理委託料等）と施設
保有コスト（光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等）及びその
他（公債費等）の合計

使用料等の収入：施設の使用料手数料、補助金交付金、その他の収入の合計

本白書における行政コストは、2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)の費用の平均値を基本として整理し、市と指定管理者が支出する費用を分け、収入についても整理することで、市の負担状況を把握します。

なお、ここで用いる市負担額については、各施設の管理運営に係る費用のみで比較するため、大規模改修工事費（※耐震化やバリアフリー、屋上防水工事等に係る経費）は対象外としています。

これらの指標から施設の特性に応じて適切なものを選択します（必ずしも全ての指標について検討するものではありません）。

表 3-1-4-2 本分析で用いる指標（1）

指 標		指 標 の 概 要	
ハード	品質	耐震性能	耐震基準と IS 値により評価する。
		老朽化率	築年数を耐用年数で割った値により評価する。
		大規模改修	大規模改修（躯体・設備）の実施の有無により評価する。
		福祉性能	エレベーター・バリアフリー・自動ドア・スロープ・多目的トイレ等の設置対応の有無により評価する。
		省エネ・環境性能	自然エネルギー・省エネ空調・省エネ照明・節水・緑化等の対応の有無により評価する。
ソフト	供給	利用者数 （利用件数・食数等）	何人の利用者があるのかを把握し、当該施設の使われ方の差異を確認するための指標。年間値と1日平均利用者数を把握。なお、火葬場は火葬件数、給食センターは食数を採用する。 学校・幼稚園については児童生徒数・園児数を採用する。 市立芦別病院については外来患者数を採用する。
		入居率	職員住宅等の利用状況を把握するための指標
	財務	行政コスト	当該施設の支出経費を把握するための指標
		利用者の負担額	当該施設の収入について、利用者の負担から把握するための指標
		市の負担額	当該施設がどの程度市の財政負担となっているかを確認するための指標
		市民1人あたりの負担額	当該施設がどの程度市民の負担となっているかを確認するための指標

表 3-1-4-3 本分析で用いる指標（2）

施設用途 大分類	施設用途 中分類	施設	品質の 視点	供給の視点							財務の 視点		
			老 朽 化 率	年 間 開 館 日 数	利 用 時 間	延 床 面 積	過 去 3 年 の 平 均 利 用 者 数	1 日 平 均 利 用 者 数	児 童 生 徒 数	患 者 数 （ 外 来 ）	市 の 負 担 額	市 民 1 人 あ た り の 負 担 額	
市民文化系施設	集会施設	各研修センター	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		本町地区生活館	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	文化施設	市民会館	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		芸術文化交流館	○	○	○	○	○	○	○			○	○
社会教育系施設	図書館	図書館	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	博物館等	星の降る里百年記念館	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		郷土資料収蔵庫	○			○						○	○
		旧干場家レンガ倉庫	○			○						○	○
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	青年センター	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		B&G海洋センター	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		勤労者体育センター	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		旧旭弓道場	○			○						○	○
		海洋クラブ管理棟艇庫	○			○						○	○
		なまこ山総合運動公園	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	レクリエーション施設	滝里湖オートキャンプ場	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		陶芸センター	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		道の駅スタープラザ芦別	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	保養施設	国民宿舍あしべつ	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		芦別温泉スターライトホテル	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		星遊館	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		星遊館（機械室）	○			○						○	○
		芦別温泉（休止中）	○			○						○	○
		油谷体育館	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		油谷体育館トレーニングハウス	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		焼肉ガーデン	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	木質チップボイラー棟	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	あしべつ宿泊交流センター	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
学校教育系施設	学校	各小学校	○	○		○				○		○	○
		各中学校	○	○		○				○		○	○
	その他教育施設	学校給食センター	○	○	○	○	○	○			○	○	
子育て支援施設	幼児・児童施設	子どもセンターつばさ	○	○	○	○	○	○			○	○	
保健・福祉施設	福祉施設	総合福祉センター（本館・別館・西棟）	○	○	○	○	○	○			○	○	
	保健施設	なし											
行政系施設	庁舎等	総合庁舎	○			○						○	○
		附属建物	○			○						○	○
	消防施設	総合庁舎・各分遣所・消防団分団詰所	○			○						○	○
	その他行政系施設	車両センター	○			○						○	○
各車両格納庫		○			○						○	○	
公園	公園	なし											
供給処理施設	供給処理施設	ごみ処理センター	○	○	○	○	○	○			○	○	
		資源ごみ保管施設	○			○						○	○

施設用途 大分類	施設用途 中分類	施設	品質の 視点	供給の視点						財務の 視点		
			老 朽 化 率	年 間 開 館 日 数	利 用 時 間	延 床 面 積	過 去 3 年 の 平 均 利 用 者 数	1 日 平 均 利 用 者 数	児 童 生 徒 数	患 者 数 (外 来)	市 の 負 担 額	市 民 1 人 あ た り の 負 担 額
その他	その他	斎場	○	○	○	○	○	○			○	○
		共同浴場（西芦別・頼城）	○	○	○	○	○	○			○	○
		土木課資材倉庫	○			○					○	○
		旧浄化センター	○			○						
		旧高齢者生きがいセンター	○			○						
		旧健民センターオートキャンプ場	○			○						
		旧車両事務所	○			○					○	○
		旧保健センター（S62）	○			○					○	○
		旧常盤小学校	○			○					○	○
		旧上芦別生活館	○			○					○	○
		旧保健センター（S58）	○			○					○	○
		旧市営牧場	○			○					○	○
		中・高年事業団作業所	○			○					○	○
		国設芦別スキー場	○			○					○	○
		旧カナディアンワールド公園	○			○					○	○
		市職員住宅(三角山団地)	○			○					○	○
		健民センター従業員住宅	○			○					○	○
		医師住宅	○			○					○	○
教職員住宅	○			○					○	○		
旧教職員住宅	○			○					○	○		
病院施設	病院施設	市立芦別病院	○	○	○	○	○	○		○	○	
高齢福祉施設	高齢福祉施設	保健福祉施設すぼる	○	○	○	○	○	○		○	○	

3-2 市民文化系施設（11 施設）

市民文化系施設には、ひぐらし研修センター、黄金多目的研修センター、啓南多目的研修センター、上芦別多目的研修センター、常磐多目的研修センター、新城多目的研修センター、本町地区生活館、野花南生活改善センター、頼城多目的研修センター、市民会館及び芸術文化交流館の 11 施設があります。





図 3-2 市民文化系施設群 (写真)

3-2-1 市民文化系施設の施設管理・耐震化・老朽化・大規模改修の状況

表 3-2-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
1	上芦別	ひぐらし研修センター	W	116	S61	24	150
2	黄金	黄金多目的研修センター	S	330	S60	38	97
3	上芦別	啓南多目的研修センター	S	500	S57	38	105
4	上芦別	上芦別多目的研修センター	S	592	S63	38	89
5	常磐	常磐多目的研修センター	S	358	S61	38	95
6	新城	新城多目的研修センター	S	797	S55	38	111
7	本町	本町地区生活館	RC	574	H8	38	54
8	野花南	野花南生活改善センター	W	560	S49	24	200
9	頼城	頼城多目的研修センター	W	634	H5	24	137
10	本町	市民会館	SRC	2,827	S51	50	92
11	新城	芸術文化交流館	RC	1,651	S39	50	116
	上芦別	上芦別生活館	CB	228	S49	41	211
	本町	緑幸研修センター	W	384	S55	※H29.12.19 除却	
	西芦別	西芦別生活館	S	199	S46	※R2.11.30 除却	

※RC=鉄筋コンクリート造、SRC=鉄骨鉄筋コンクリート、S=鉄骨造、CB=コンクリートブロック造、W=木造
 (緑塗はその他施設へ分類を変更した施設、黒塗は除却した施設)

表 3-2-1-2 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断 (IS 値)・ 改修・計画	大規模改修 実施年度	大規模改修内容 ・その他
1	上芦別	ひぐらし研修センター	新	—	H11	増築
2	黄金	黄金多目的研修センター	新	—	H11	床・外壁等
3	上芦別	啓南多目的研修センター	新	—	H10 R2	障がい者トイレ新設工事等 冷房設備
4	上芦別	上芦別多目的研修センター	新	—	H11 H28	下水道切替工事 外壁改修
5	常磐	常磐多目的研修センター	新	—		
6	新城	新城多目的研修センター	旧	不要	H12 H14 H29 R3	床・外壁等 保育室改修工事 トイレ簡易水洗化改修 屋根塗装改修工事
7	本町	本町地区生活館	新	—	H30 R2 R4	冷房設備 冷房設備 屋上防水等工事
8	野花南	野花南生活改善センター	旧	不要	H2 H3	研修室増改築工事 床・外壁等
9	頼城	頼城多目的研修センター	新	—	H29	移転改修工事
10	本町	市民会館	旧	実施済	H5 H16 H17 H22 H23 H27 H29 R2 R3 R4	音響設備改修工事,屋上 防水,外壁改修工事 受変電設備改修工事 オイル地下タンク改修工事 屋上防水保全工事 ボイラー改修工事 耐震補強工事 大ホール冷暖房機取替工事 トイレ改修工事, 防煙垂れ壁,外壁等改 修工事 大ホール舞台音響設 備更新
11	新城	芸術文化交流館	旧	不要	H23 H25	屋根全面葺替工事 床等改修工事

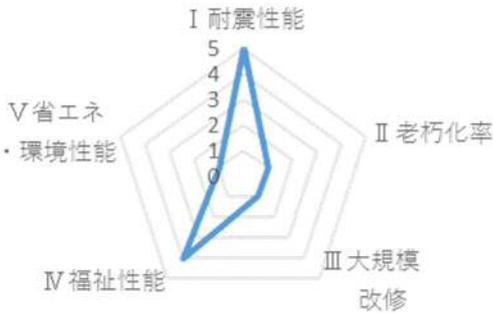
3-2-2 市民文化系施設の施設・建物評価

表3-2-2-1 施設・建物評価（各5段階、25点満点）

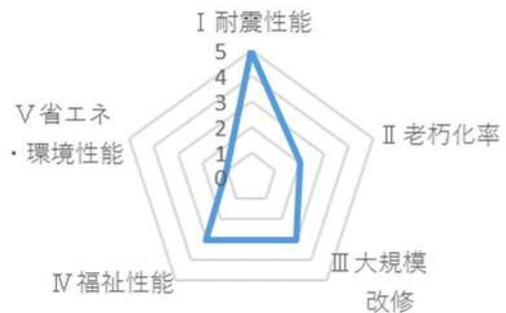
2022年(令和4年)3月末現在

	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	ひぐらし研修センター	5	1	1	4	1	12
2	黄金多目的研修センター	5	2	3	3	1	14
3	啓南多目的研修センター	5	1	3	3	1	13
4	上芦別多目的研修センター	5	2	1	4	1	13
5	常磐多目的研修センター	5	2	4	4	1	16
6	新城多目的研修センター	1	1	4	2	1	9
7	本町地区生活館	5	3	4	5	1	18
8	野花南生活改善センター	1	1	2	2	1	7
9	頼城多目的研修センター	5	1	4	3	1	14
10	市民会館	5	2	4	4	1	16
11	芸術文化交流館	1	1	4	2	1	9

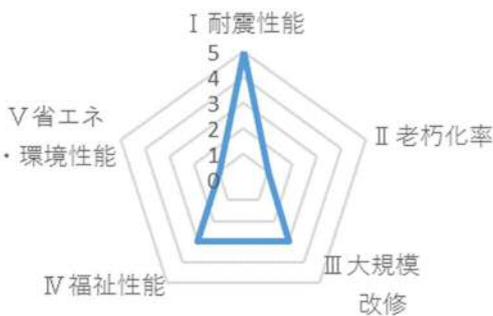
ひぐらし研修センター



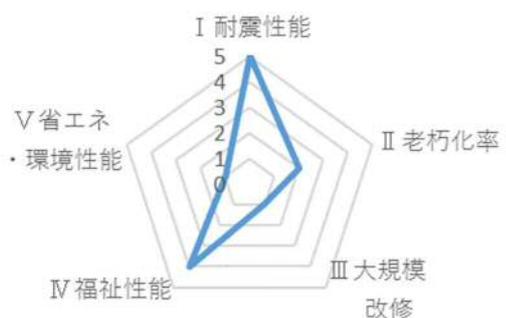
黄金多目的研修センター



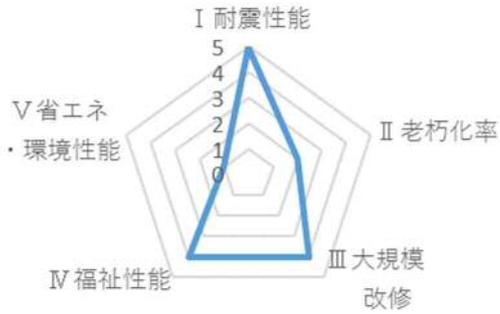
啓南多目的研修センター



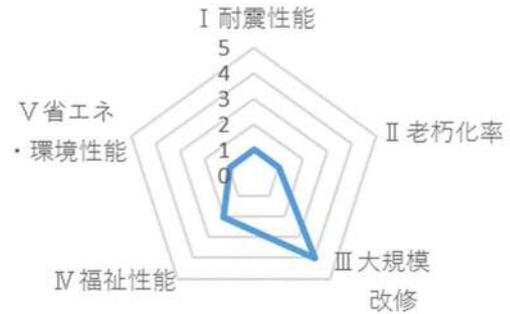
上芦別多目的研修センター



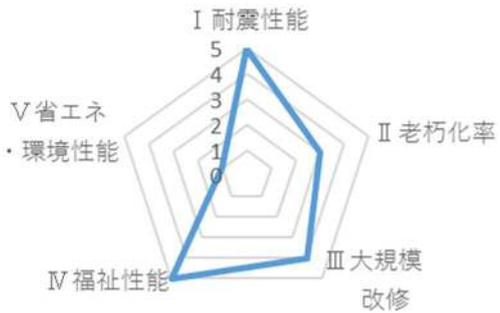
常磐多目的研修センター



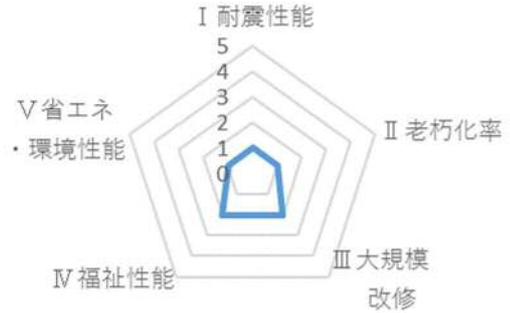
新城多目的研修センター



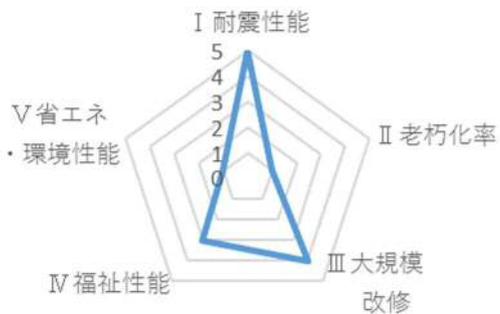
本町地区生活館



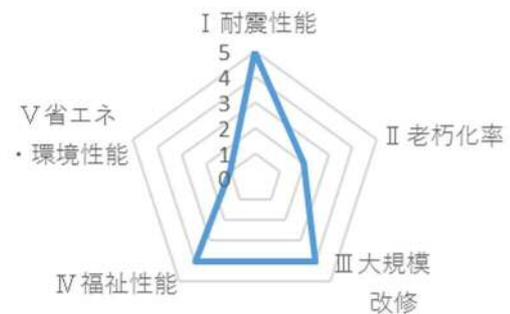
野花南生活改善センター



頼城多目的研修センター



市民会館



芸術文化交流館

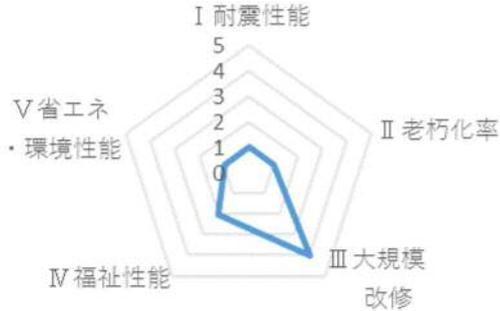


図 3-2-2-2 5 軸評価

3-2-3 市民文化系施設のコスト状況

表 3-2-3 コスト状況基本情報

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額 (円)
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	ひぐらし研修センター	717	4	0	721	0	721	57
2	黄金多目的研修センター	813	472	0	1,285	0	1,285	102
3	啓南多目的研修センター	1,231	1,874	0	3,105	0	3,105	246
4	上戸別多目的研修センター	1,124	802	0	1,926	0	1,926	153
5	常磐多目的研修センター	973	285	0	1,258	0	1,258	100
6	新城多目的研修センター	1,133	136	0	1,269		1,269	101
7	本町地区生活館	815	3,609	0	4,424	2,466	1,958	155
8	野花南生活改善センター	901	361	0	1,262	0	1,262	100
9	頼城多目的研修センター	1,020	951	0	1,971	0	1,971	156
10	市民会館	13,824	13,792	15,579	43,195	886	42,309	3,355
11	芸術文化交流館	3,528	215	0	3,743	3	3,740	297

※ 行政コスト (2019 年度(令和元年度)から 2021 年度(令和 3 年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-2-4 市民文化系施設の利用状況

表 3-2-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間 開館 日数	利用 時間 (h/日)	延床 面積 (m ²)	2019(R1) ～ 2021(R3) 年間平均 利用者数	1日平 均利用 者数	参考(2019(R1))	
							利用者数	1日平 均利用 者数
1	ひぐらし研修センター	45	12	116	479	11	711	15
2	黄金多目的研修センター	46	12	330	549	12	848	15
3	啓南多目的研修センター	75	12	500	3,825	51	7,126	86
4	上芦別多目的研修センター	46	12	592	4,807	105	5,754	113
5	常磐多目的研修センター	50	12	358	1,325	27	1,775	27
6	新城多目的研修センター	54	12	797	1,412	26	2,330	27
7	本町地区生活館	169	12	574	12,292	73	15,228	77
8	野花南生活改善センター	88	12	560	1,898	22	3,181	29
9	頼城多目的研修センター	40	12	264	581	16	1,473	16
10	市民会館	286	12	2,827	7,077	25	12,557	38
11	芸術文化交流館	125	11	1,651	739	6	1,446	9

※コロナ禍における施設の休館等により利用者平均が適正でないため、コロナ禍前の2019年度(令和元年度)の状況を参考値として表示しています。

3-3 社会教育系施設（4施設）

社会教育系施設には、図書館、星の降る里百年記念館、郷土資料収蔵庫及び旧干場家レンガ倉庫の4施設があります。



図 3-3 社会教育系施設群

3-3-1 社会教育系施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

表 3-3-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
1	本町	図書館	RC	1,355	S55	43	84
2	本町	星の降る里百年記念館	RC	1,499	H5	50	58
3	黄金	郷土資料収蔵庫	CB	1,402	S47	38	132
4	常磐	旧干場家レンガ倉庫	組積造	57	T2	38	289

注：郷土資料収蔵庫は元小学校校舎を再利用したものの。

※RC=鉄筋コンクリート造、CB=コンクリートブロック造

表 3-3-1-2 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容
1	本町	図書館	旧	実施済	H3 H11 H27 H28 R2 R3	屋根改修工事 車庫改修 AV室改修工事 LED照明設備工事 地上タンク設置工事 空調設備等整備,煙突断熱材改修工事,受電用高圧ケーブル改修工事
2	本町	星の降る里百年記念館	新	不要	H21 R1 R2 R4	屋上防水改修工事 冷暖房機器更新 空調設備更新 冷房用冷却塔取替工事
3	黄金	郷土資料収蔵庫	旧	不要		
4	常磐	旧干場家レンガ倉庫	旧	不要		

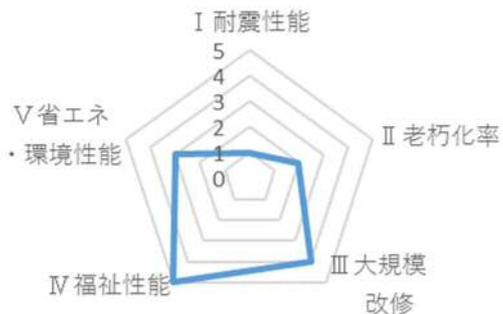
3-3-2 社会教育系施設の施設・建物評価

表 3-3-2-1 施設・建物評価 (各5段階、25点満点)

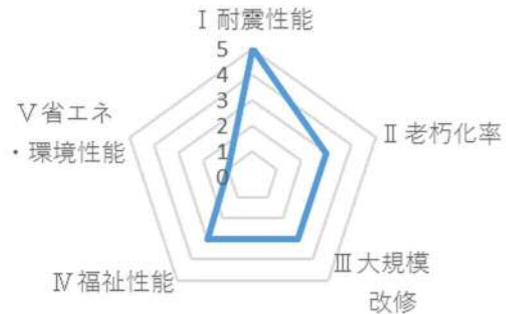
2022年(令和4年)3月末現在

	施設・建物名称	I耐震性能	II老朽化率	III大規模改修	IV福祉性能	V省エネ・環境性能	計
1	図書館	1	2	4	5	3	15
2	星の降る里百年記念館	5	3	3	3	1	15
3	郷土資料収蔵庫	1	1	3	1	1	7
4	旧干場家レンガ倉庫	1	1	1	1	1	5

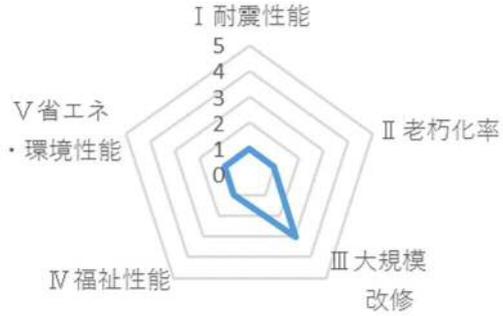
図書館



星の降る里百年記念館



郷土資料収蔵庫



旧干場家レンガ倉庫

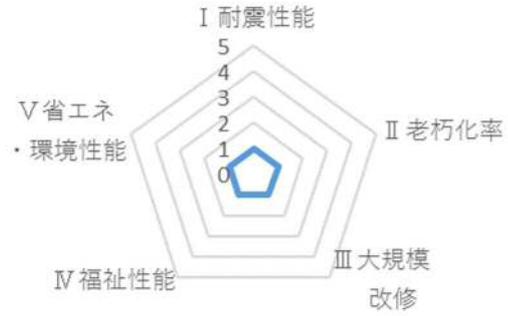


図 3-3-2-2 5軸評価

3-3-3 社会教育系施設のコスト状況

表 3-3-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	図書館	43,504	20,888	0	64,392	99	64,293	5,098
2	星の降る里百年記念館	17,858	12,271	0	30,129	665	29,464	2,336
3	郷土資料収蔵庫	0	1,419	0	1,419	0	1,419	113
4	旧干場家レンガ倉庫	0	105	0	105	0	105	8

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-3-4 社会教育系施設の利用状況

表 3-3-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間 開館 日数	利用 時間 (h/日)	延床 面積 (m ²)	2019(R1) ～ 2021(R3) 年間平均 利用者数	1日平 均利用 者数	参考(2019(R1))	
							利用者数	1日平 均利用 者数
1	図書館	239	8.5	1,355	17,838	75	23,216	87
2	星の降る里百年記念館	211	8.5	1,499	7,981	38	8,014	32
3	郷土資料収蔵庫	—	—	1,402	—	—	—	—
4	旧干場家レンガ倉庫	—	—	57	—	—	—	—

※コロナ禍における施設の休館等により利用者平均が適正でないため、コロナ禍前の2019年度(令和元年度)の状況を参考値として表示しています。

3-4 スポーツ・レクリエーション系施設（18施設33棟）

市内のスポーツ・レクリエーション系施設は、旭町地区に旧旭弓道場、旭町油谷地区に健民センター、陶芸センター、B & G海洋センター、滝里地区に滝里湖オートキャンプ場、本町地区に道の駅スタープラザ芦別、勤労者体育センター、青年センター、上芦別地区になまこ山総合運動公園、あしべつ宿泊交流センター及び海洋クラブなど18施設があります。

健民センターは保養施設の総称であり、その中には国民宿舍あしべつ、芦別温泉スターライトホテル、星遊館、芦別温泉（休止中）、油谷体育館、油谷体育館トレーニングハウス、焼肉ガーデン、木質チップボイラー棟など8棟が含まれます。





図 3-4 スポーツ・レクリエーション系施設群

3-4-1 スポーツ・レクリエーション系施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

表 3-4-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積 (m ²)	建築年度	耐用年数 (年)	老朽化率 (%)
1	旭町油谷	国民宿舍あしべつ	RC	2,601	S54	50	86
2	旭町油谷	芦別温泉 スターライトホテル	RC	3,371	H1	50	66
3	旭町油谷	星遊館	RC	1,193	S62	50	70
4	旭町油谷	星遊館機械室	RC	80	R1	50	6
5	旭町油谷	芦別温泉(休止中)	RC	872	H4	50	60
6	旭町油谷	油谷体育館	S	1252	H4	38	79
7	旭町油谷	油谷体育館トレーニング ハウス	S	287	H10	38	63
8	旭町油谷	焼肉ガーデン	S	135	S60	38	97
9	旭町油谷	木質チップボイラー棟	RC	219	H26	50	16
10	旭町油谷	陶芸センター	W	304	S61	24	150
11	旭町油谷	B & G 海洋センター	S	155	H3	38	82
12	旭町	旧旭弓道場	W	74	S55	24	74
13	滝里	滝里湖オートキャンプ場 ステージ(C棟Iゾマツ)	W	73	H12	24	92
14	滝里	滝里湖オートキャンプ場 ステージ(D棟Iゾマツ)	W	106	H12	24	92
15	滝里	滝里湖オートキャンプ場 ステージ(E棟Iゾマツ)	W	94	H12	24	92
16	滝里	滝里湖オートキャンプ場 ステージ(F棟Iゾマツ)	W	86	H12	24	92
17	滝里	滝里湖オートキャンプ場 ステージ(G棟Iゾマツ)	W	92	H12	24	92
18	滝里	滝里湖オートキャンプ場 ステージ(H棟Iゾマツ)	W	97	H12	24	92
19	滝里	滝里湖オートキャンプ場 ステージ(炊事棟)	W	113	H11	24	96
20	本町	道の駅スタープラザ芦別 (緑地等管理中央センター)	RC	1,131	H4	50	60
21	本町	道の駅スタープラザ芦別 (星の降る里コミュニティ 広場公衆トイレ)	RC	110	H3	50	62
22	本町	勤労者体育センター	RC	1,380	S56	50	82
23	上芦別	なまこ山総合運動公園 (陸上競技場倉庫)	S	158	H10	38	63

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積 (m ²)	建築年度	耐用年数 (年)	老朽化率 (%)
24	上芦別	なまこ山総合運動公園 (陸上競技場本部棟)	RC	106	H10	50	48
25	上芦別	なまこ山総合運動公園 トイレ	W	54	H10	24	100
26	上芦別	なまこ山総合運動公園 (総合体育館)	RC	6,964	H12	50	44
27	上芦別	なまこ山総合運動公園 (市民球場)	RC	971	H14	50	40
28	上芦別	なまこ山総合運動公園 (市民PGクラブハウス)	W	125	H15	24	79
29	上芦別	あしべつ宿泊交流センター 1号館	W	769	S60	24	154
30	上芦別	あしべつ宿泊交流センター 2号館	RC	707	R2	50	4
31	上芦別	あしべつ宿泊交流センター (車庫)	S	157	S60	38	97
32	上芦別	海洋クラブ管理棟艇庫	S	99	H4	38	79
33	本町	青年センター	RC	2,791	S48	50	98
	旭町油谷	健民センターオートキャンプ場 (管理棟)	W	122	H9	24	104
	旭町油谷	健民センターオートキャンプ場 (炊事棟)	W	58	H9	24	104
	旭町	国設芦別スキー場 (ふれあいスキーハウス)	W	99	S61	24	150
	旭町	国設芦別スキー場 (スキーハウス)	W	182	S40	24	238
	旭町	国設芦別スキー場 (ロッジ)	W	421	S56	24	171
	旭町油谷	芦別温泉(スターライトホテル、国民宿舎併設部分)	W	493	S47	※H30.8.28 除却	
	上芦別	あしべつ宿泊交流センター (事務棟)	W	589	S60	※R3.3.31 除却	
	頼城	青少年会館	S	634	S45	※H29.3.31 除却	

※RC=鉄筋コンクリート造、S=鉄骨造、W=木造

(緑塗はその他施設へ分類を変更した施設、黒塗は除却した施設)

表 3-4-1-2 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容 ・その他
1	旭町油谷	国民宿舎あしべつ	旧	未実施		H2 増築,冷房設備 H5 機械室改修 H7 増築 H13 増築改修 H14 地下タンク取替 H15 断熱工事,熱交換器取替 H24 非常用発電設備取替 H25 浄化槽設備配管等更新、高圧受変電設備改修 R3 冷房設備更新 R4 外壁・屋上防水改修工事,冷暖房設備更新
2	旭町油谷	芦別温泉 スターライトホテル	新	未実施		H4 厨房設備改修 H5 カーベツト敷替 H9 空調設備改修,建築改修 H15 電話交換設備取替,内装・金属建具,設備保全 H16 給湯管取替,ボイラー改修 H23 ボイラー改修 H24 外壁補修 H25 浄化槽設備配管等更新,高圧受変電設備改修 H29 エレベーター改修工事 R4 冷房用冷却塔取替工事,冷暖房設備更新
3	旭町油谷	星遊館	新	未実施		H10 設備改修,サウナ改修 H11 ポンプ設備改修 H13 機械設備改修 H14 屋根防水等改修 H15 屋根鉄板張替,金属建具,機械室 H17 脱衣所,カーベツト取替,休憩室改修 H20 給湯管取替 H25 貯湯槽更新 H30~R1 改修工事(機械室棟新設,壺風呂新設,塩サウナ室新設,浴室・脱衣室及び露天風呂改修,屋根屋上防水ほか)
4	旭町油谷	星遊館機械室	新	不要		
5	旭町油谷	芦別温泉 (休止中)	新	未実施		H11 地下タンク増設 H15 部屋壁修繕,天井クロス張替,脱衣所床張替,浴槽内部補修,外壁塗装,外壁一部躯体修繕,外部アルミサッシ,窓修繕 H16 ボイラー取替
6	旭町油谷	油谷体育館	新	未実施		H23 屋根一部張替
7	旭町油谷	油谷体育館トレーニングハウス	新	未実施		

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断（IS値）・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容・その他
8	旭町油谷	焼肉ガーデン	新	未実施		
9	旭町油谷	木質チップボイラー棟	新	未実施		
10	旭町油谷	陶芸センター	新	未実施		
11	旭町油谷	B & G 海洋センター	旧	未実施	H11 H15 R4	プール缶体全面塗装 上屋シート全面改修 プール缶体塗装工事,照明設備 (LED) 改修工事
12	旭町	旧旭弓道場	旧	未実施		
13	滝里	滝里湖オートキャンプ場 コテージ (C 棟イゾマツ)	新	実施済	H23 H28 R2 R4	塗裝修繕 塗裝修繕 外壁塗裝修繕 ウッドデッキ修繕
14	滝里	滝里湖オートキャンプ場 コテージ (D 棟キコブシ)	新	実施済	H23 H27 H28 R2	塗裝修繕 ウッドデッキ修繕 塗裝修繕 外壁塗裝修繕
15	滝里	滝里湖オートキャンプ場 コテージ (E 棟シラハ)	新	実施済	H23 H28 R2	塗裝修繕 塗裝修繕 外壁塗裝修繕,ウッドデッキ改修
16	滝里	滝里湖オートキャンプ場 コテージ (F 棟ルニレ)	新	実施済	H23 H28 H29 R3	塗裝修繕 ウッドデッキ改修工事 塗装工事 外壁塗裝修繕
17	滝里	滝里湖オートキャンプ場 コテージ (G 棟ライラック)	新	実施済	H23 H29 R3	塗裝修繕 塗装工事 外壁塗裝修繕
18	滝里	滝里湖オートキャンプ場 コテージ (H 棟ミズナ)	新	実施済	H23 H29 R3	塗裝修繕 塗装工事,ウッドデッキ改修工事 外壁塗裝修繕
19	滝里	滝里湖オートキャンプ場 コテージ (炊事棟)	新	実施済	H23 H28 R2	塗裝修繕 塗裝修繕 外壁塗裝修繕,ウッドデッキ改修
20	本町	道の駅スタープラザ芦別 (緑地等管理中央センター)	新	不明	H9 R1 R2 R3	厨房換気改修 トイレ洋式化修繕 空調設備更新 高圧受電設備改修工事
21	本町	道の駅スタープラザ芦別 (星の降る里コミュニティ 広場公衆トイレ)	旧	未実施	R2	トイレ改修工事
22	本町	勤労者体育センター	旧	実施済	H26	耐震補強工事
23	上芦別	なまこ山総合運動公園 (陸上競技場倉庫)	新	不要		

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断（IS値）・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容・その他
24	上芦別	なまこ山総合運動公園 (陸上競技場本部棟)	新	不要		
25	上芦別	なまこ山総合運動公園 トイレ	新	不要		
26	上芦別	なまこ山総合運動公園 (総合体育館)	新	不要	H24 H29	更衣室内トイレ設置工事 床改修工事,屋根防水工事
27	上芦別	なまこ山総合運動公園 (市民球場)	新	不要		
28	上芦別	なまこ山総合運動公園 (市民 PG クラブハウス)	新	不要	H21	増築工事
29	上芦別	あしべつ宿泊交流センター -1号館	新	未実施	H12 H29	洗面室,洗面洗濯室,下駄箱,管理 人室改修,ボイラー機器,電気 設備,浴室,トイレ,水洗化,給水, 給湯 屋根葺替工事
30	上芦別	あしべつ宿泊交流センター -2号館	新	不要		
31	上芦別	あしべつ宿泊交流センター (車庫)	新	未実施		
32	上芦別	海洋クラブ管理棟 艇庫	旧	未実施		
33	本町	青年センター	旧	実施済	H6 H14 H16 H17 H22 H23 H24 H27 H29 R2 R3	玄関改修工事 体育館改修工事 受変電設備改修工事 オイル地下タンク改修工事 屋上防水保全工事 ボイラー改修工事 体育館照明設備改修工事 耐震補強工事 床改修工事 トイレ改修工事, 外壁等改修工事,防煙垂れ壁設 備更新

3-4-2 スポーツ・レクリエーション系施設の施設・建物評価

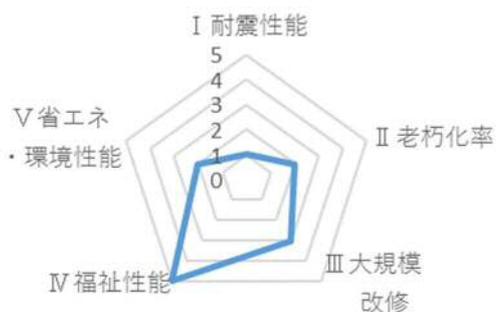
表3-4-2-1 施設・建物評価（各5段階、25点満点）

2022年(令和4年)3月末現在

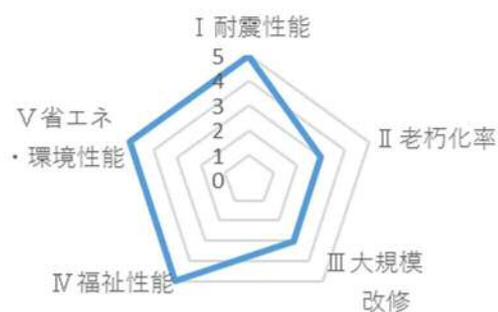
	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	国民宿舎あしべつ	1	2	3	5	2	13
2	芦別温泉スターライトホテル	5	3	3	5	5	21
3	星遊館	5	3	3	5	3	19
4	星遊館（機械室）	5	5	5	1	2	18
5	芦別温泉（休止中）	5	3	1	4	1	14
6	油谷体育館	5	2	2	2	1	12
7	油谷体育館トレーニングハウス	5	3	2	1	1	12
8	焼肉ガーデン	5	2	1	1	1	10
9	木質チップボイラー棟	5	5	5	1	1	17
10	陶芸センター	5	1	1	2	1	10
11	B&G 海洋センター	5	3	3	1	1	13
12	旧旭弓道場	1	1	1	1	1	5
13	滝里湖オートキャンプ場コテージ（C棟・E棟・G棟）	5	2	1	1	1	10
14	滝里湖オートキャンプ場コテージ（D棟）	5	2	1	2	1	11
15	滝里湖オートキャンプ場コテージ（F棟・H棟）	5	2	1	3	1	12
16	滝里湖オートキャンプ場コテージ（炊事棟）	5	2	1	4	1	13
17	道の駅スタープラザ芦別（緑地等管理中央センター）	5	3	3	4	2	17
18	道の駅スタープラザ芦別（星の降る里コミュニティ広場公衆トイレ）	1	3	3	5	2	14
19	勤労者体育センター	5	3	4	4	1	17
20	なまこ山総合運動公園（陸上競技場倉庫）	5	4	1	5	1	16
21	なまこ山総合運動公園（陸上競技場本部棟）	5	4	1	5	1	16
22	なまこ山総合運動公園トイレ	1	1	1	1	1	5
23	なまこ山総合運動公園（総合体育館）	5	4	1	5	2	17

	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
24	なまこ山総合運動公園 (市民球場)	5	4	1	5	1	16
25	なまこ山総合運動公園 (市民 PG クラブハウス)	5	3	1	5	1	15
26	あしべつ宿泊交流センター1号館	5	1	3	1	1	11
27	あしべつ宿泊交流センター2号館	5	5	5	5	5	25
28	あしべつ宿泊交流センター(車庫)	5	1	1	1	1	9
29	海洋クラブ管理棟艇庫	5	3	1	1	1	11
30	青年センター	5	2	4	2	1	14

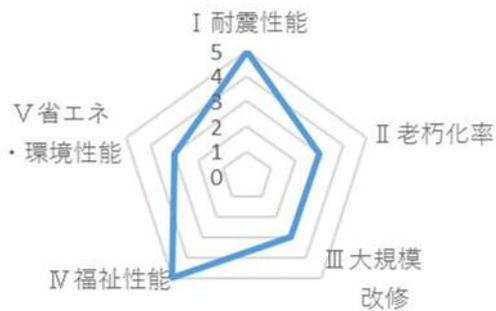
国民宿舎あしべつ



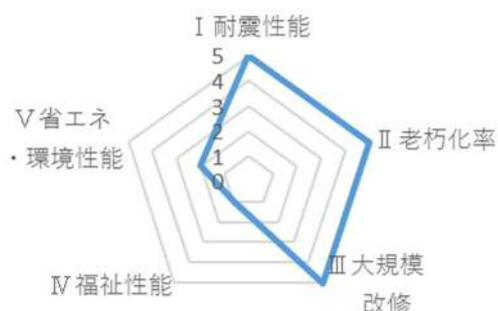
芦別温泉スターライトホテル



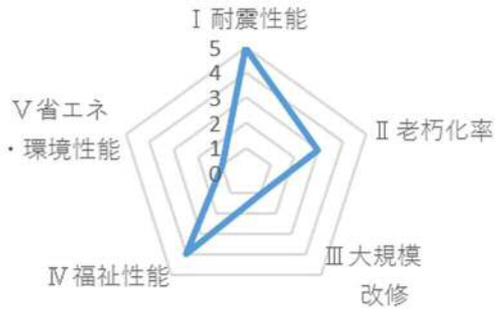
星遊館



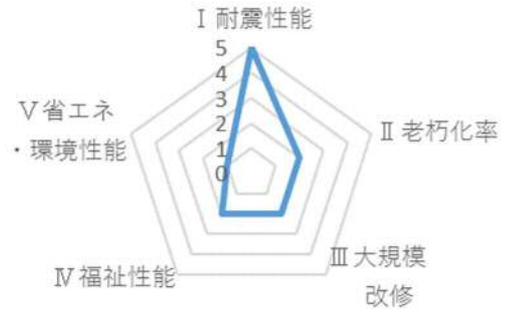
星遊館(機械室)



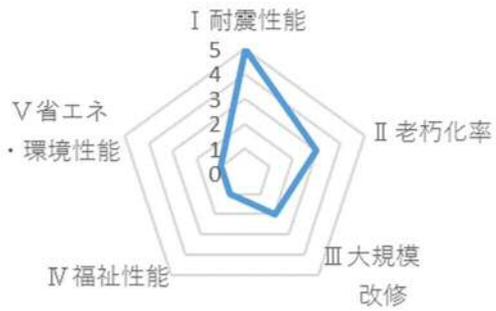
芦別温泉（休止中）



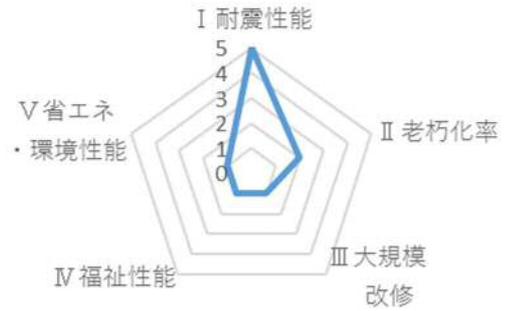
油谷体育館



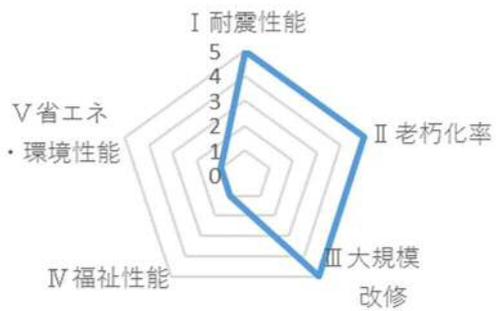
油谷体育館トレーニングハウス



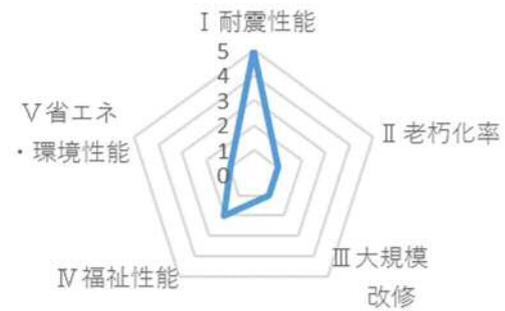
焼肉ガーデン



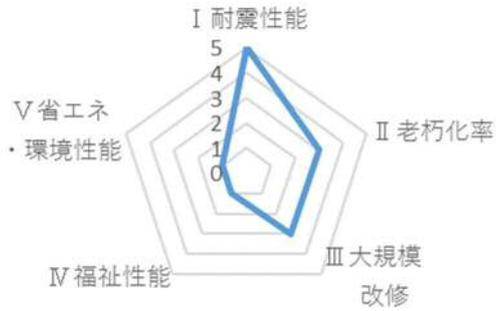
木質チップボイラー棟



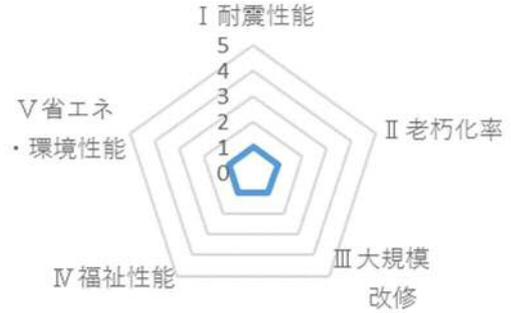
陶芸センター



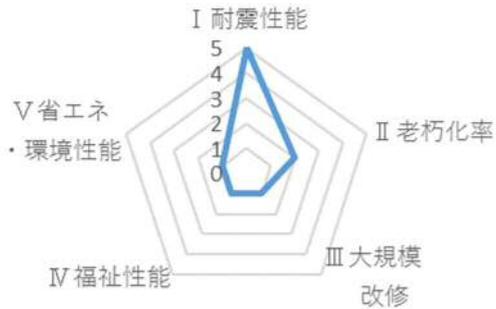
B&G海洋センター



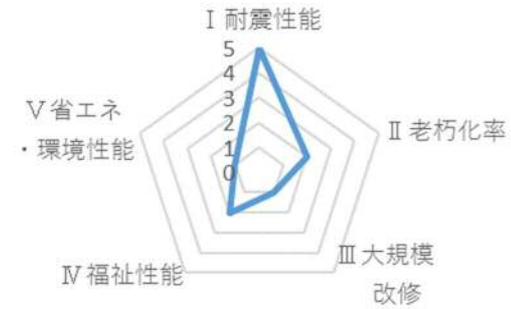
旧旭弓道場



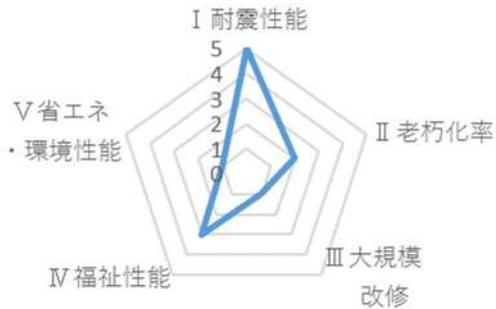
滝里湖オートキャンプ場コテージ
(C・E・G棟)



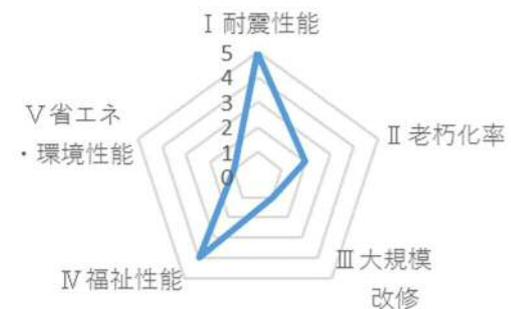
滝里湖オートキャンプ場コテージ
(D棟)



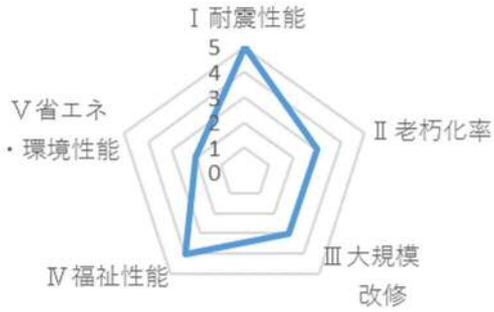
滝里湖オートキャンプ場コテージ
(F・H棟)



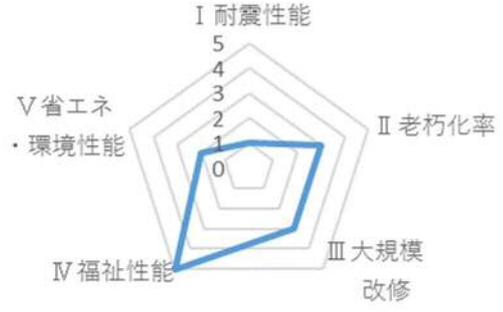
滝里湖オートキャンプ場コテージ
(炊事棟)



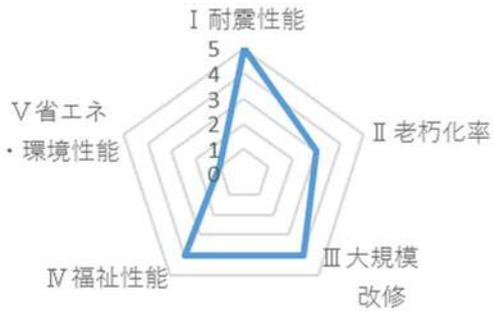
道の駅スタープラザ芦別
(緑地等管理中央センター)



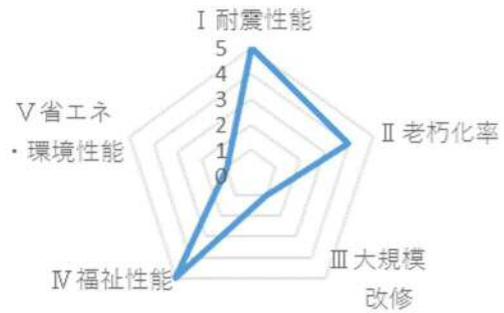
道の駅スタープラザ芦別
(星の降る里コミュニティ広場公衆トイレ)



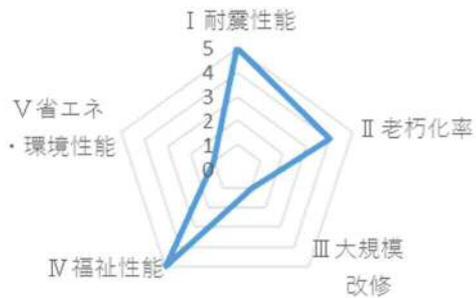
勤労者体育センター



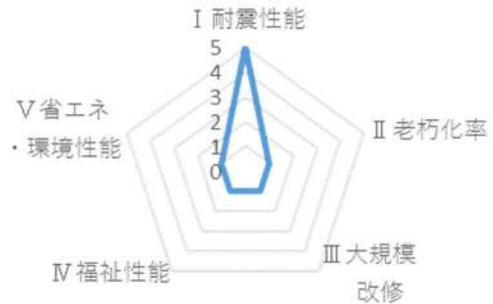
なまこ山総合運動公園
(陸上競技場倉庫)



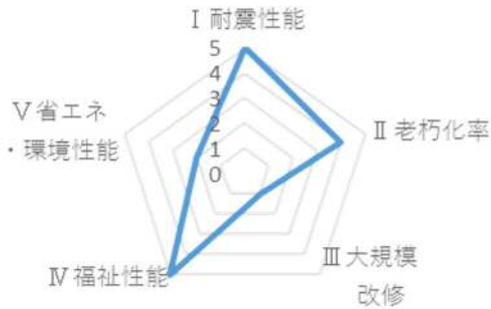
なまこ山総合運動公園
(陸上競技場本部棟)



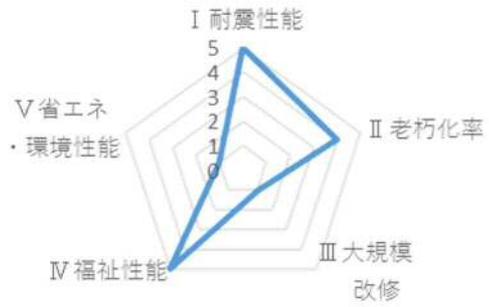
なまこ山総合運動公園
(トイレ)



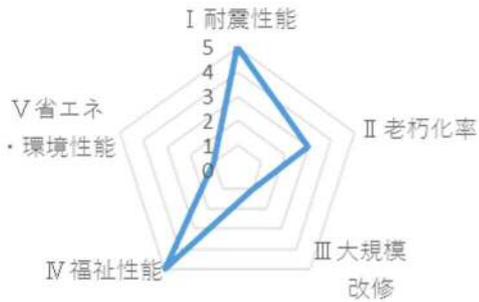
なまこ山総合運動公園
(総合体育館)



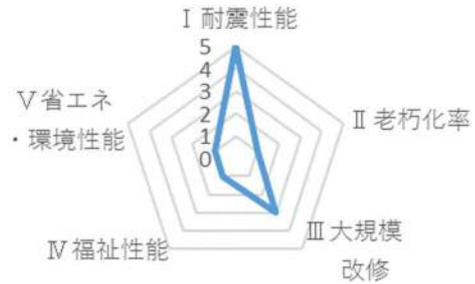
なまこ山総合運動公園
(市民球場)



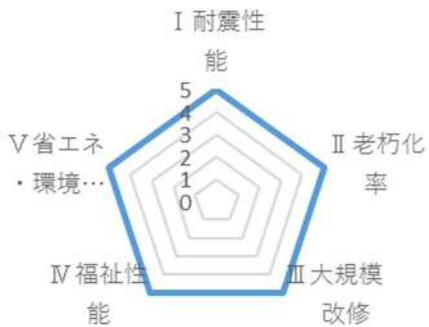
なまこ山総合運動公園
(市民PGクラブハウス)



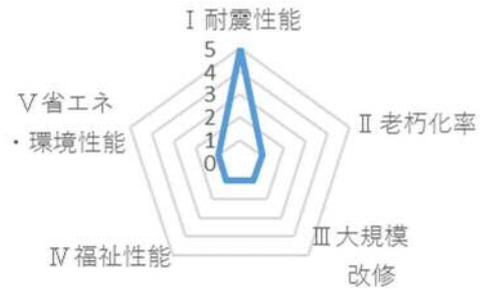
あしべつ宿泊交流センター
1号館



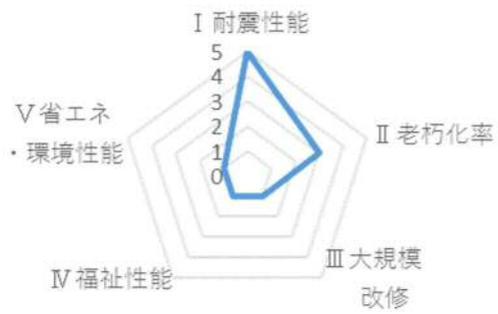
あしべつ宿泊交流センター
2号館



あしべつ宿泊交流センター
(車庫)



海洋クラブ管理棟艇庫



青年センター

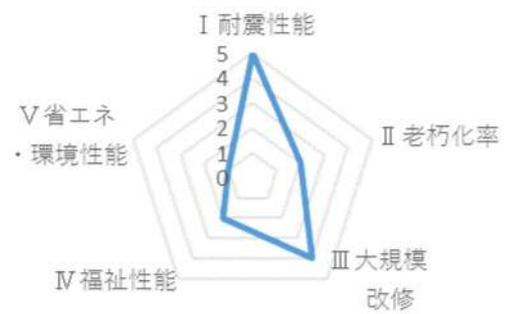


図 3-4-2-2 5軸評価

3-4-3 スポーツ・レクリエーション系施設のコスト状況

表 3-4-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額 (円)
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	国民宿舍あしべつ	340	159	0	499	0	499	40
2	芦別温泉スターライトホテル	340	2,284	1,243	3,867	253	3,614	287
3	星遊館（機械室含む）	340	614	899	1,853	0	1,853	147
4	芦別温泉（休止中）	173	956	0	1,129	0	1,129	90
5	油谷体育館	6,567	1,801	0	8,368	0	8,368	663
6	油谷体育館トレーニングハウス	1,763	239	0	2,002	0	2,002	159
7	焼肉ガーデン	340	3	0	343	0	343	27
8	木質チップボイラー棟	340	807	8,652	9,799	0	9,799	777
9	陶芸センター	8,560	212	0	8,772	373	8,399	666
10	B&G海洋センター	851	8,650	0	9,501	171	9,330	740
11	旧旭弓道場	0	3	0	3	0	3	0
12	滝里湖オートキャンプ場	11,505	23,209	0	34,714	33,161	1,553	123
13	道の駅スタープラザ芦別	28,355	5,118	7,900	41,373	1,329	40,044	3,175
14	勤労者体育センター	2,443	8,656	1,003	12,102	538	11,564	917
15	なまこ山総合運動公園	5,972	82,071	25,079	113,122	4,649	108,473	8,601
16	あしべつ宿泊交流センター	3,289	8,520	0	11,809	4,550	7,259	576
17	海洋クラブ管理棟艇庫	0	1	0	1	0	1	0
18	青年センター	15,862	18,399	7,200	41,461	817	40,644	3,223

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-4-4 スポーツ・レクリエーション系施設の利用状況

表 3-4-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間開館日数	利用時間(h/日)	延床面積(m ²)	2019(R1)～2021(R3)年間平均利用者数	1日平均利用者数	参考(2019(R1))	
							利用者数	1日平均利用者数
1	国民宿舍あしべつ	311	24	2,601	6,623	21	5,774	24
2	芦別温泉 スターライトホテル	311	24	3,371	22,145	71	16,843	70
3	星遊館(機械室含む)	313	16	1,273	101,927	326	66,836	276
4	芦別温泉(休止中)	-	-	872	-	-	-	-
5	油谷体育館	292	12	1,252	7,851	27	8,628	25
6	油谷体育館 トレーニングハウス	292	12	287	2,157	7	2,673	8
7	焼肉ガーデン	21	9	135	569	27	972	26
8	木質チップボイラー棟	365	24	219	-	-	-	-
9	陶芸センター	291	8	304	1,305	4	1,596	6
10	B & G 海洋センター	84	10.5	155	2,531	30	4,729	45
11	旧旭弓道	-	-	74	-	-	-	-
12	滝里湖オートキャンプ場	114	24	688	5,606	49	7,032	51
13	道の駅スタープラザ芦別	346	10	1,241	88,328	255	104,306	290
14	勤労者体育センター	285	12	1,380	7,232	25	9,818	29
15	なまこ山総合運動公園	285	12	8,324	8,869	31	77,414	233
16	あしべつ宿泊交流センター	88	17	1,515	3,759	43	8,213	49
17	海洋クラブ管理棟艇庫	-	-	99	-	-	-	-
18	青年センター	286	12	2,791	10,991	38	19,901	60

※コロナ禍における施設の休館等により利用者平均が適正でないため、コロナ禍前の2019年度(令和元年度)の状況を参考値として表示しています。

3-5 学校教育系施設（5施設16棟）

学校教育系施設は、芦別小学校（高学年棟、管理棟、低学年棟、屋体）、上芦別小学校（校舎、屋体）、芦別中学校（1線校舎①、1線校舎②、3線校舎①、3線校舎②、2線校舎、屋体）、啓成中学校（管理棟、教室棟、屋体）及び学校給食センターの5施設があります。



図 3-5 学校教育系施設群

3-5-1 学校教育系施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

表 3-5-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
1	本町	芦別小学校(高学年棟)	RC	2,383	S57	50	82
2	本町	芦別小学校(管理棟)	RC	911	S57	50	80
3	本町	芦別小学校(低学年棟)	RC	3,426	S59	50	76
4	本町	芦別小学校(体育館)	S	1,143	S46	38	134
5	上芦別	上芦別小学校(校舎)	RC	4,346	S60	50	74
6	上芦別	上芦別小学校(体育館)	S	1,049	S60	38	97
7	本町	芦別中学校(1線校舎①)	RC	436	S40	50	114
8	本町	芦別中学校(1線校舎②)	RC	364	S41	50	112
9	本町	芦別中学校(3線校舎①)	RC	1,516	S50	50	94
10	本町	芦別中学校(3線校舎②)	RC	1,395	S50	50	94
11	本町	芦別中学校(2線校舎)	RC	2,328	H1	50	66
12	本町	芦別中学校(体育館)	S	1,251	S52	38	118
13	上芦別	啓成中学校(管理棟)	RC	2,448	S54	50	86
14	上芦別	啓成中学校(教室棟)	RC	1,330	S55	50	86
15	上芦別	啓成中学校(体育館)	S	1,155	S55	38	113
16	本町	学校給食センター	RC	810	S61	50	72
17	常磐	旧常磐小学校	RC	2,538	H2	50	64
18	野花南	旧野花南小学校	RC	2,734	S63	50	68

※RC=鉄筋コンクリート造、S=鉄骨造

(緑塗はその他施設へ分類を変更した施設)

表 3-5-1-2 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断 (IS 値)・ 改修・計画	大規模 改修 実施年度	大規模改修内容 ・その他
1	本町	芦別小学校 (高学年棟)	新	—	H7 H30	屋上防水工事 屋上防水工事
2	本町	芦別小学校 (管理棟)	新	—	H7 H22 H30 R4	屋上防水工事 ボイラー取替工事 屋上防水工事 地下タココーティング工事
3	本町	芦別小学校 (低学年棟)	新	—	H7 H22 R1	屋上防水工事 女子トイレ改修工事 屋上防水工事
4	本町	芦別小学校 (体育館)	旧	実施済み IS =0.81	H23	照明保全工事,耐震補強工事
5	上芦別	上芦別小学校 (校舎)	新	—	H13 H22	ボイラー取替工事,笠木・水切取替工事 ボイラー改修工事
6	上芦別	上芦別小学校 (体育館)	新	—	H13 H23	屋根葺替・張替工事 照明保全工事
7	本町	芦別中学校 (1 線校舎①)	旧	不要		
8	本町	芦別中学校 (1 線校舎②)	旧	不要		
9	本町	芦別中学校 (3 線校舎①)	旧	実施済み IS=0.71	H6 H8 H17 H19 H28 H29 R2	校舎改修工事(暖房機取替,照明器具取替,外壁全面塗装改修,屋上防水,屋上フェンス取替) 校舎改修工事(屋内給水給湯工事等) 高圧受変電施設等改修工事 耐震補強工事 教職員トイレ改修工事 電気暖房設備 屋上防水工事
10	本町	芦別中学校 (3 線校舎②)	旧	実施済み IS=0.71	H6 H8 H17 H19 H29 R2	校舎改修工事(暖房機取替,照明器具取替,外壁全面塗装改修,屋上防水,屋上フェンス取替) 校舎改修工事(屋内給水給湯工事等) 高圧受変電施設等改修工事 耐震補強工事 電気暖房設備 屋上防水工事
11	本町	芦別中学校 (2 線校舎)	新	—	H19 H23 H25	耐震補強工事 ボイラー改修工事,屋上防水工事 障がい者 (生徒) 用トイレの改修工事

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断 (IS 値) ・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容・その他
12	本町	芦別中学校 (体育館)	旧	実施済み IS=0.75	H12 H19 H23 R3	改修工事(屋根葺替,外壁塗装等) 耐震補強工事 照明保全工事 屋根塗装工事
13	上芦別	啓成中学校 (管理棟)	旧	実施済み IS=0.7	H11 H12 H20 H28 H29	屋上防水改修工事 ボイラー改修工事 耐震補強工事 給水管部分取替工事 暖房自動制御機器
14	上芦別	啓成中学校 (教室棟)	旧	実施済み IS=0.7	H11 H12 H20 H27 H28 H29	屋上防水改修工事 ボイラー改修工事 耐震補強工事 生徒用トイレ改修工事 給水管部分取替工事 暖房自動制御機器
15	上芦別	啓成中学校 (体育館)	旧	実施済み IS=0.97	H13 H20 H22 H23 H28	屋根葺替工事 耐震補強工事 暖房機取替工事 照明保全工事 給水管部分取替工事
16	本町	学校給食センター	旧	不要	H11 H12 H13 H22 H23 H24 R2 R4	配管改修工事 設備改修工事(換気設備,給排水衛生設備等) 建築改修(厨房内部等) 温水ボイラー取替工事 屋上防水保全工事 高圧受電設備改修,蒸気ボイラー更新 温水ボイラー取替工事, 衛生設備改修工事 蒸気ボイラー更新 温水ボイラー取替工事

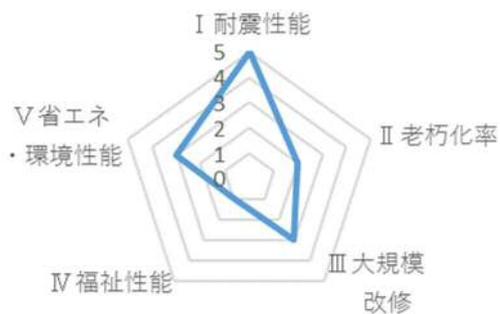
3-5-2 学校教育系施設の施設・建物評価

表 3-5-2-1 施設・建物評価（各 5 段階、25 点満点）

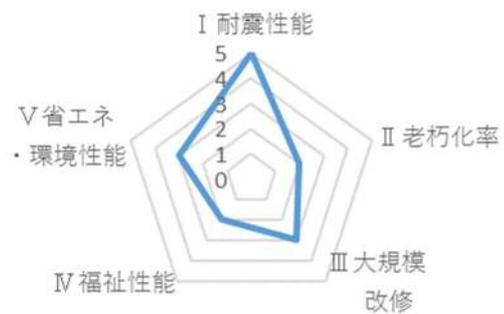
2022 年(令和 4 年)3 月末現在

	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	芦別小学校（高学年棟）	5	2	3	1	3	14
2	芦別小学校（管理棟）	5	2	3	2	3	15
3	芦別小学校（低学年棟）	5	2	3	2	1	13
4	芦別小学校（体育館）	4	1	3	1	2	11
5	上芦別小学校（校舎）	5	3	3	3	3	17
6	上芦別小学校（体育館）	5	3	3	1	2	14
7	芦別中学校（1 線校舎①、②）	1	1	1	1	1	5
8	芦別中学校（3 線校舎①、②）	4	2	3	1	1	11
9	芦別中学校（2 線校舎）	5	3	3	3	1	15
10	芦別中学校（体育館）	4	2	3	1	2	12
11	啓成中学校（管理棟、教室棟）	4	2	3	1	1	11
12	啓成中学校（体育館）	4	2	3	1	2	12
13	学校給食センター	5	3	3	1	1	13

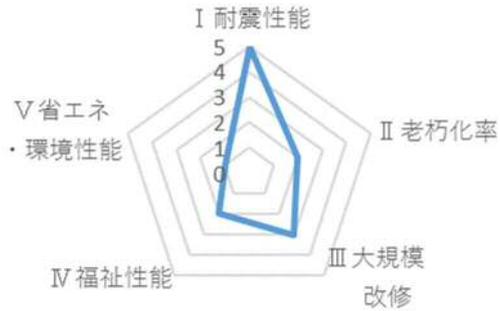
芦別小学校（高学年棟）



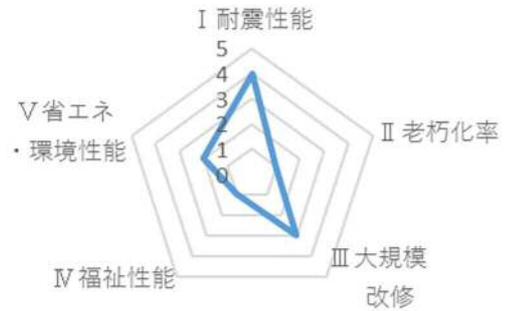
芦別小学校（管理棟）



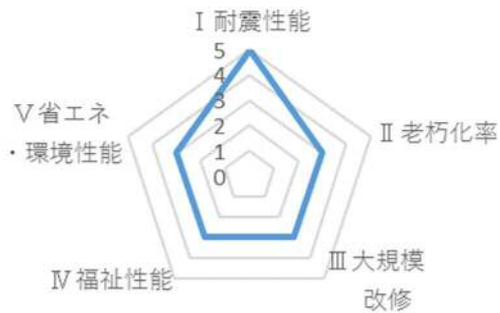
芦別小学校（低学年棟）



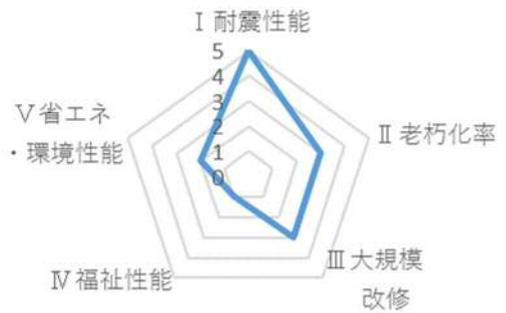
芦別小学校（体育館）



上芦別小学校（校舎）



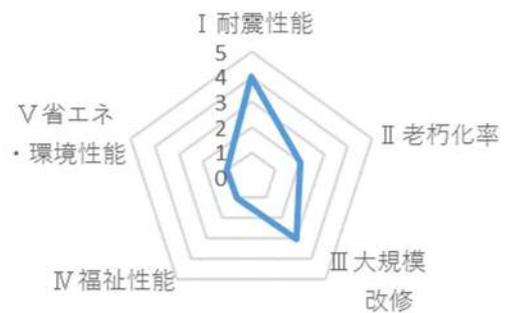
上芦別小学校（体育館）



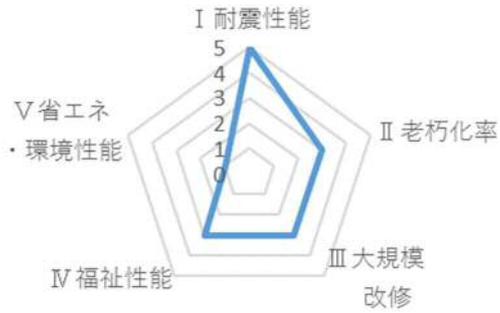
芦別中学校（1線校舎①、②）



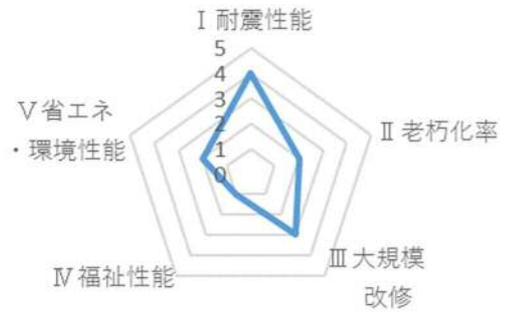
芦別中学校（3線校舎①、②）



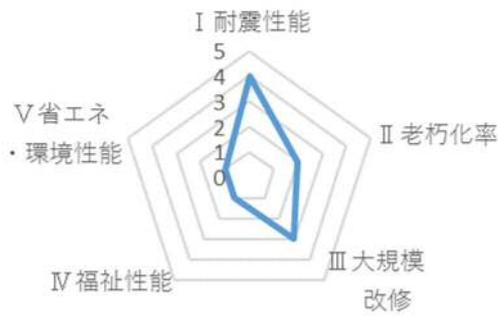
芦別中学校（2線校舎）



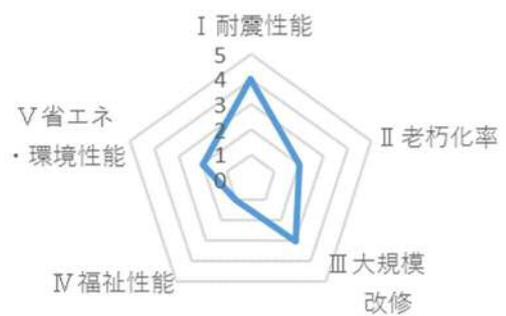
芦別中学校（体育館）



啓成中学校（管理棟、教室棟）



啓成中学校（体育館）



学校給食センター

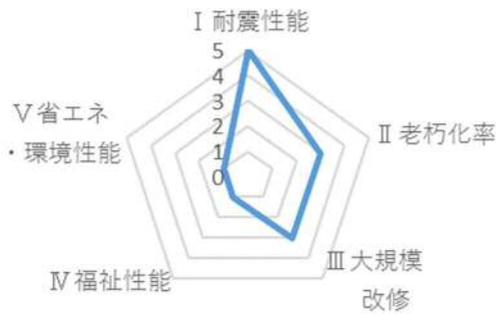


図 3-5-2-2 5軸評価

3-5-3 学校教育系施設のコスト状況

表 3-5-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額(円)
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	芦別小学校	1,924	22,123	790	24,837	0	24,837	1,969
2	上芦別小学校	2,288	18,545	0	20,833	0	20,833	1,652
3	芦別中学校	17,868	16,574	42	34,484	0	34,484	2,734
4	啓成中学校	2,354	15,396	0	17,750	0	17,750	1,407
5	学校給食センター	92,594	33,746	0	126,340	50,315	76,025	6,028

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-5-4 学校教育系施設の利用状況

表 3-5-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間開館日数	利用時間(h/日)	延床面積(m ²)	2019(R1)～2021(R3)年間平均食数	2021(R3)児童生徒数	参考(2019(R1))	
							児童生徒数及び食数	1日平均利用者数
1	芦別小学校	205	—	7,863	—	278	286	—
2	上芦別小学校	206	—	5,395	—	78	88	—
3	芦別中学校	206	—	7,290	—	153	173	—
4	啓成中学校	205	—	4,933	—	41	56	—
5	学校給食センター	206	8.5	810	年間供給日数(199日) 120,599	—	年間供給日数(190日) 118,784	—

※学校給食センターにおける食数は、児童生徒数に教職員等で給食を食している数の年間合計です。

※コロナ禍前の比較として、2019年度(令和元年度)数値を参考に掲載していますが、年間平均供給日数である199日に対し、コロナ禍による小中学校の臨時休業等により年間供給日数が190日となり、年間食数が少なくなっています。

3-6 子育て支援施設（1施設2棟）

子育て支援施設は、子どもセンターつばさ（児童福祉施設）の1施設があります。



図 3-6 子育て支援施設

3-6-1 子育て支援施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

表 3-6-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積 (m ²)	建築年度	耐用年数 (年)	老朽化率 (%)
1	本町	子どもセンターつばさ (児童福祉施設)	RC	2,554	H14	50	40
2	本町	子どもセンターつばさ (自動車車庫)	S	68	H14	38	53
	上芦別	上芦別保育園	W	771	S47	※H30.1.18 売却	

※RC=鉄筋コンクリート造、S=鉄骨造、W=木造

(黒塗りは除却・売却した施設)

表 3-6-1-2 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準 (新・旧)	耐震診断 (IS値)・ 改修・計画	大規模改修 実施年度	大規模改修内容 ・その他
1	本町	子どもセンターつばさ (児童福祉施設)	新	実施済み	H24 H30 R2 R3	屋上防水補修工事 エアコン設置 手洗器自動水洗設置 工事 温水発生器更新,屋 根塗装
2	本町	子どもセンターつばさ (自動車車庫)	新	実施済み		

3-6-2 子育て支援施設の施設・建物評価

表 3-6-2-1 施設・建物評価 (各5段階、25点満点)

2022年(令和4年)3月末現在

	施設・建物名称	I 耐震 性能	II 老朽 化率	III 大規模 改修	IV 福祉 性能	V 省エネ・ 環境性能	計
1	子どもセンターつばさ (児童福祉施設)	5	4	4	5	3	21
2	子どもセンターつばさ (自動車車庫)	5	3	1	1	1	11

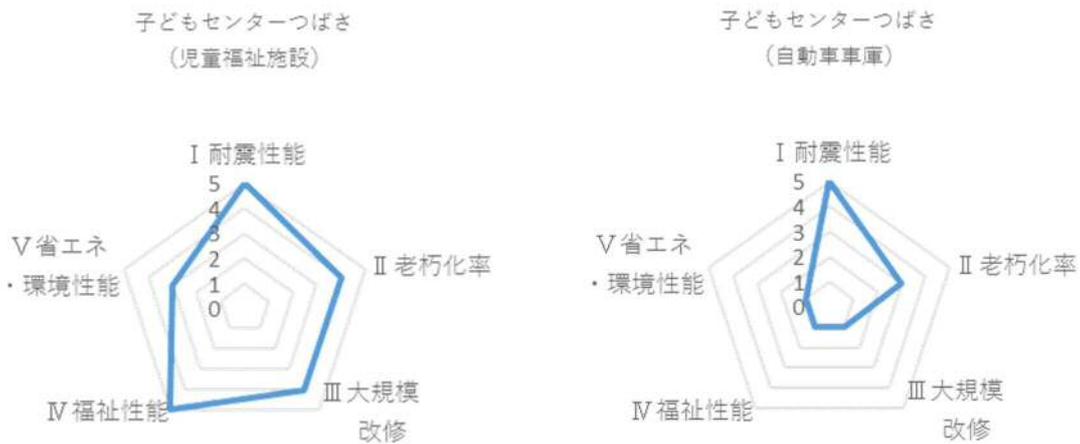


図 3-6-2-2 5軸評価

3-6-3 子育て支援施設のコスト状況

表 3-6-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト			使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額 (円)	
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他				支出計
1	子どもセンターつばさ (車庫含む)	215,993	21,035	0	237,028	68,470	168,558	13,365

※ 行政コスト (2019 年度(令和元年度)から 2021 年度(令和 3 年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-6-4 子育て支援施設の利用状況

表 3-6-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間開館日数	利用時間 (h/日)	延床面積 (m ²)	2019(R1)～2021(R3)年間平均利用者数	1日平均利用者数	参考 (2019(R1))	
							利用者数	1日平均利用者数
1	子どもセンターつばさ (児童福祉施設)	293	11	2,554	18,126	62	24,899	86
2	子どもセンターつばさ (自動車車庫)	-	-	68	-	-	-	-

※コロナ禍における施設の休館等により利用者平均が適正でないため、コロナ禍前の 2019 年度 (令和元年度)の状況を参考値として表示しています。

3-7 保健・福祉施設（1施設3棟）

保健・福祉施設には、総合福祉センター（本館・別館・西棟）の1施設3棟があります。



図 3-7 保健・福祉施設群

3-7-1 保健・福祉施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

表 3-7-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
1	本町	総合福祉センター（本館）	RC	2,636	S54	50	86
2	本町	総合福祉センター（別館）	RC	1,449	H8	50	52
3	本町	総合福祉センター（西棟）	RC	683	S51	50	92
4	本町	旧保健センター（S58）	RC	685	S58	50	78
5	本町	旧保健センター（S62）	RC	728	S62	50	70
6	旭町	旧高齢者生きがいセンター	W	587	S55	24	175
7	上芦別	静和荘（A棟）	W	267	S50	24	196
8	上芦別	静和荘（B棟）	W	196	S51	24	192
9	上芦別	静和荘（C棟）	W	208	S52	24	188

※RC=鉄筋コンクリート造、W=木造

（緑塗はその他施設へ分類を変更した施設）

表 3-7-1-2 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容
1	本町	総合福祉センター(本館)	旧	実施済	H8 H21 H24 H25 H30 R2	大ホール改修工事(床,壁,天井全面改修) 屋上防水工事 発電装置取替工事 ボイラー取替工事 耐震補強工事 身障者トイレ改修工事 玄関ポーチ改修,3階女子トイレ改修工事,地上タンク設置工事 大ホール空調設備更新
2	本町	総合福祉センター(別館)	新	-	H28	屋上防水工事
3	本町	総合福祉センター(西棟)	旧	実施済	H14 H25	整備工事 耐震補強工事

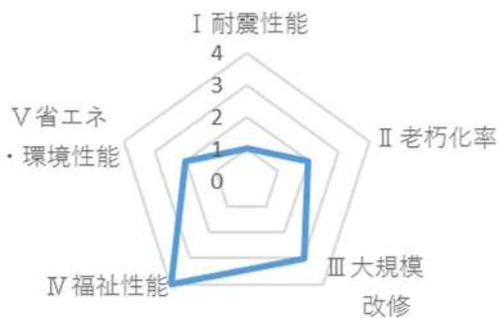
3-7-2 保健・福祉施設の施設・建物評価

表 3-7-2-1 施設・建物評価(各5段階、25点満点)

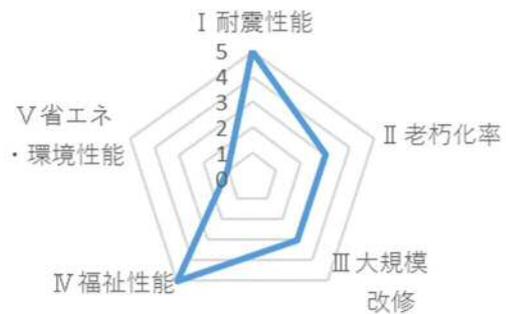
2022年(令和4年)3月末現在

	施設・建物名称	I耐震性能	II老朽化率	III大規模改修	IV福祉性能	V省エネ・環境性能	計
1	総合福祉センター(本館)	1	2	3	4	2	12
2	総合福祉センター(別館)	5	3	3	5	1	15
3	総合福祉センター(西棟)	5	4	4	4	2	19

総合福祉センター(本館)



総合福祉センター(別館)



総合福祉センター（西棟）



図 3-7-2-2 5軸評価

3-7-3 保健・福祉施設のコスト状況

表 3-7-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	総合福祉センター（本館・別館）	35,344	5,761	760	41,865	2,668	39,197	3,108
2	総合福祉センター（西棟）	13,487	4	0	13,491	0	13,491	1,070

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均）

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-7-4 保健・福祉施設の利用状況

表 3-7-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間開館日数	利用時間(h/日)	延床面積(m ²)	2019(R1)～2021(R3)年間平均利用者数	1日平均利用者数	参考（2019(R1)）	
							利用者数	1日平均利用者数
1	総合福祉センター（本館）	289	12	2,636	37,145	129	41,214	135
2	総合福祉センター（別館）	289	12	1,449	19,168	66	25,007	82
3	総合福祉センター（西棟）	289	12	683	2,883	10	784	3

※参考値：2019年度(令和元年度)の年間開館日数 306日

※コロナ禍における施設の休館等により利用者平均が適正でないため、コロナ禍前の2019年度(令和元年度)の状況を参考値として表示しています。

3-8 行政系施設（12施設）

行政系施設としては、総合庁舎、消防施設及び車両センターの12施設があります。

3-8-1 行政系施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

(1) 総合庁舎



図 3-8-1-1 総合庁舎群

表 3-8-1-2 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積 (m ²)	建築年度	耐用年数 (年)	老朽化率 (%)
1	本町	総合庁舎	RC	5,965	S44	50	106
2	本町	附属建物 (車両格納庫)	W	100	S44	24	217
3	本町	車両格納庫A棟 (第1車庫)	S	382	S54	38	113
4	本町	車両格納庫B棟 (第2車庫)	S	128	S54	38	113
5	本町	旧車両事務所	W	179	S50	24	196

※RC=鉄筋コンクリート造、S=鉄骨造、W=木造

(緑塗はその他施設へ分類を変更した施設)

表 3-8-1-3 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震 基準	耐震診断 (IS値)・ 改修・計画	大規模 改修実 施年度	大規模改修内容
1	本町	総合庁舎	旧	IS=0.16 未定	S52 S58 S59 S60 S61 S63 H1 H2 H3 H5 H7 H12 H13 H13 H24 H29 R1 R3	屋根防水 消防庁舎増築 暖房用ボイラー取替工事 電話交換機設備設置工事 受電設備改修工事 庁舎棟屋根改修工事 議会棟屋根改修工事 議会棟外壁塗装工事 正面玄関オートヒーティング設置 工事,暖房用ボイラー取替工 事 床・外壁等改修工事,暖房設 備改修工事 消防庁舎シャッター改修工事 非常用直流電源装置取替工 事 電話交換装置取替工事 電気設備改修工事 議会棟屋上防水工事 旧消防庁舎改修工事 非常電源設置工事 手洗器自動水洗

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断 (IS 値) ・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容
2	本町	附属建物 (車両格納庫)	旧	不要	未実施	—
3	本町	車格納庫 A 棟 (第 1 車庫)	旧	不要	未実施	—
4	本町	車両格納庫 B 棟 (第 2 車庫)	旧	不要	未実施	—

(2) 消防施設



図 3-8-1-4 消防施設群

表 3-8-1-5 建物基本情報・老朽化率・耐震

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画
1	本町	消防総合庁舎	RC	2,363	H27	50	14	新	不要
2	常磐	芦別消防団第二分団車庫	W	74	R3	24	4	新	不要
3	新城	芦別消防団第三分団詰所	W	140	S48	24	204	旧	不要
4	野花南	芦別消防団第四分団詰所	W	144	S50	24	196	旧	不要
5	上芦別	芦別消防署上芦別分遣所	W	198	S54	24	179	旧	不要
6	西芦別	芦別消防団第六分団(分所)詰所	W	198	S52	24	188	旧	不要
7	頼城	芦別消防署頼城分遣所(芦別消防団第六分団(本所)詰所)	W	198	S53	24	183	旧	不要
	常磐	芦別消防団第二分団詰所	W	227	S41	24	※R4.3.15 除却		

※RC=鉄筋コンクリート造、W=木造

(黒塗は除却した施設)

表 3-8-1-6 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容
1	本町	消防総合庁舎	新	不要		
2	常磐	芦別消防団第二分団車庫	新	不要		
3	新城	芦別消防団第三分団詰所	旧	不要	H18	庁舎屋根葺替保守
4	野花南	芦別消防団第四分団詰所	旧	不要		
5	上芦別	芦別消防署上芦別分遣所	旧	不要	H24	庁舎屋根修繕
6	西芦別	芦別消防団第六分団(分所)詰所	旧	不要		
7	頼城	芦別消防署頼城分遣所(芦別消防団第六分団(本所)詰所)	旧	不要		

(3) その他行政系施設

表 3-8-1-7 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
本町	車両センター	S	1,458	H3	38	82

表 3-8-1-8 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容
本町	車両センター	旧	不要	H25	温水ボイラー取換工事

3-8-2 行政系施設の施設・建物評価

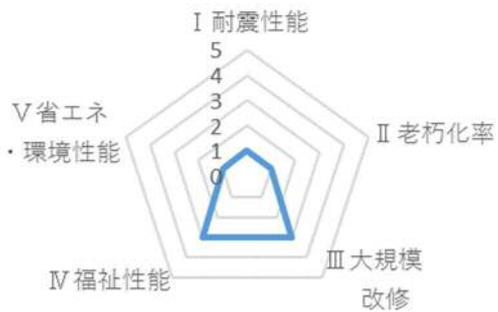
(1) 総合庁舎

表 3-8-2-1 施設・建物評価（各 5 段階、25 点満点）

2022 年(令和 4 年)3 月末現在

	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	総合庁舎	1	1	3	3	1	9
2	附属建物（車両格納庫） 車両格納庫 A 棟・B 棟 （第 1・第 2 車庫）	1	1	1	1	1	5

総合庁舎



附属建物（車両格納庫）
車両格納庫（A棟・B棟）

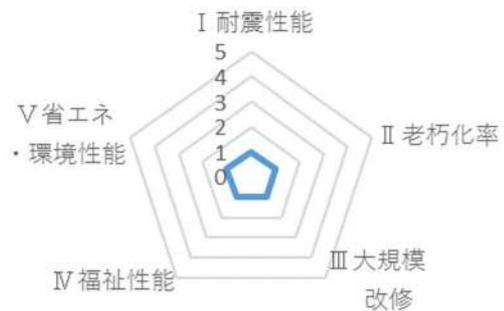


図 3-8-2-2

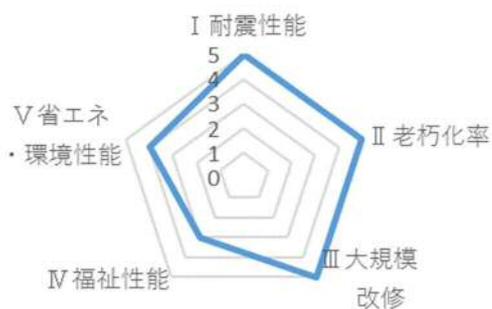
(2) 消防施設

表 3-8-2-3 施設・建物評価 (各 5 段階、25 点満点)

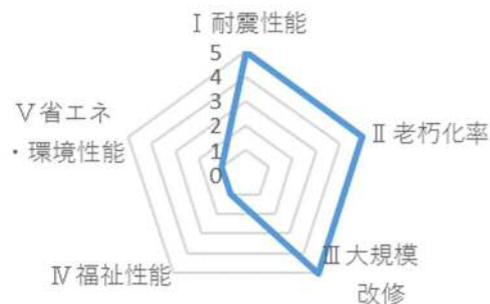
2022 年(令和 4 年)3 月末現在

施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
消防総合庁舎	5	5	5	3	4	22
芦別消防団第 2 分団車庫	5	5	5	1	1	17
芦別消防団 第三・第四・第六分団 (分所) 詰所	1	1	1	1	1	5
芦別消防署上芦別・頼城分遣所 (芦別消防団第六分団 (本所) 詰所)	1	1	1	1	1	5

消防総合庁舎



芦別消防団 第 2 分団車庫



芦別消防団 第三・第四・第六分団 (分所) 詰所



芦別消防署上芦別・頼城分遣所 (芦別消防団第六分団 (本所) 詰所)

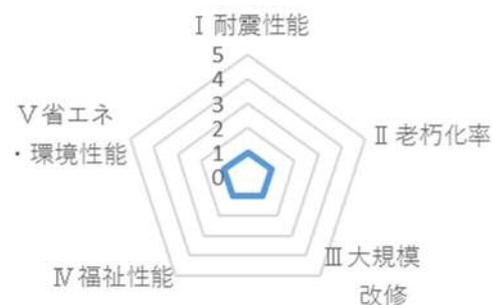


図 3-8-2-4 5 軸評価

(3) その他行政系施設

表 3-8-2-5 施設・建物評価 (各 5 段階、25 点満点)

2022 年(令和 4 年)3 月末現在

施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
車両センター	5	2	1	1	1	10

車両センター

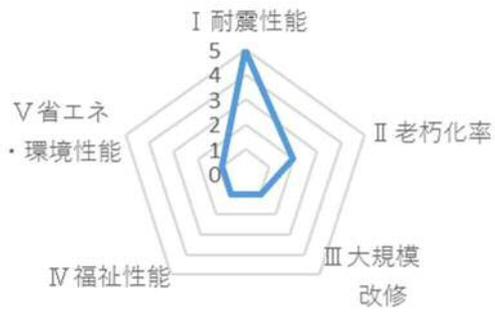


図 3-8-2-6 5 軸評価

3-8-3 行政系施設のコスト状況

表 3-8-3-1 コスト負担状況（総合庁舎）

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	総合庁舎	7,599	69,701	0	77,300	5,748	71,552	5,673
2	附属建物（車両格納庫）							
3	車両格納庫A棟（第1車庫）	0	140	0	140	0	140	11
4	車両格納庫B棟（第2車庫）							

表 3-8-3-2 コスト負担状況（消防施設）

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	消防総合庁舎	40,585	13,094	15,518	69,197	0	69,197	5,487
2	芦別消防団第二分団車庫	-	-	-	-	-	-	-
3	芦別消防団第三分団詰所	2,526	285	0	2,811	0	2,811	223
4	芦別消防団第四分団詰所	2,859	260	0	3,119	0	3,119	247
5	芦別消防署上芦別分遣所	2,191	556	0	2,747	0	2,747	218
6	芦別消防団第六分団（分所）詰所	1,638	322	0	1,960	0	1,960	155
7	芦別消防署頼城分遣所 （芦別消防団第六分団（本署）詰所）	1,924	295	0	2,219	0	2,219	176

表 3-8-3-3 コスト負担状況（その他行政系施設）

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	車両センター	27,254	1,890	0	29,144	0	29,144	2,311

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-9 公園

公園は、カナディアンワールド公園が該当していましたが、公園用途の廃止によりその他施設へ用途区分を変更しています。

表 3-9 耐震性能・劣化状況基本情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画
1	黄金	ケンジントン駅	RC	77	H2	50	64	新	不要
2		ピラミッド	RC	740	H2	50	64	新	不要
3		テラスデュフラン	RC	1,063	H2	50	64	新	不要
4		温室	S	85	H2	38	84	新	不要
5		管理事務所	S	548	H2	38	84	新	不要
6		メイプル&リンゴ	W	280	H2	24	133	新	不要
7		サロンケンジントン	W	99	H2	24	133	新	不要
8		ブライトリバー駅	W	79	H2	24	133	新	不要
9		カーリートレイン	W	260	H2	24	133	新	不要
10		ファーマーズ駅	W	117	H2	24	133	新	不要
11		リンド夫人の家	W	67	H2	24	133	新	不要
12		ポストオフィス	W	58	H2	24	133	新	不要
13		グリーンゲイブルズ	W	247	H2	24	133	新	不要
14		オーチャードスロープ	W	96	H2	24	133	新	不要
15		オウエルスクール	W	70	H2	24	133	新	不要
16		アンの教会	W	131	H2	24	133	新	不要
17		フロンティア	W	72	H2	24	133	新	不要
18		キルト	W	60	H2	24	133	新	不要
19		テラノーヴァ	W	468	H2	24	133	新	不要
20		ティーピー	W	56	H2	24	133	新	不要
21		クリスティアンヌ	W	70	H2	24	133	新	不要
22		ウッドマン	W	70	H2	24	133	新	不要
23		パルフェ	W	119	H2	24	133	新	不要
24		チロル記念館	W	87	H4	24	133	新	不要

注：RC＝鉄筋コンクリート造、S＝鉄骨造、W＝木造

(緑塗はその他施設へ分類を変更した施設)

3-10 供給処理施設（2施設）

供給処理施設には、ごみ処理センター及び資源ごみ保管施設の2施設があります。



図 3-10 供給処理施設群

3-10-1 供給処理施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

表 3-10-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積 (m ²)	建築年度	耐用年数 (年)	老朽化率 (%)
1	旭町	ごみ処理センター	S	374	H5	38	76
2	本町	資源ごみ保管施設	RC	591	H12	50	58
3	上芦別	旧浄化センター	RC	1,983	S58	50	78

※RC=鉄筋コンクリート造、SRC=鉄骨鉄筋コンクリート造

(緑塗はその他施設へ分類を変更した施設)

表 3-10-1-2 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準 (新・旧)	耐震診断 (IS値)・ 改修・計画	大規模改修 実施年度	大規模改修内容 ・その他
1	旭町	ごみ処理センター	旧	不要	H16	浸出水処理施設増設工事
2	本町	資源ごみ保管施設	旧	不要		

3-10-2 供給処理施設の施設・建物評価

表 3-10-2-1 施設・建物評価 (各5段階、25点満点)

2022年(令和4年)3月末現在

	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	ごみ処理センター	5	3	1	1	1	11
2	資源ごみ保管施設	5	4	1	1	1	12

ごみ処理センター



資源ごみ保管施設

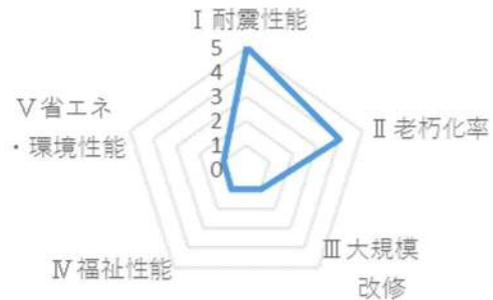


図 3-10-2-2 5軸評価

3-10-3 供給処理施設のコスト状況

表 3-10-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額 (円)
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	ごみ処理センター	31,527	10,895	0	42,422	17,960	24,462	1,940
2	資源ごみ保管施設	19,757	3,862	0	23,619	2,963	20,656	1,638

※ 行政コスト (2019 年度(令和元年度)から 2021 年度(令和 3 年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-10-4 供給処置施設の利用状況

表 3-10-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間開館日数	利用時間 (h/日)	延床面積 (m ²)	2019(R1)～2021(R3)年間平均利用者数	1日平均利用者数	参考 (2019(R1))	
							利用者数	1日平均利用者数
1	ごみ処理センター	334	7	1,873	9,725	29	9,625	29
2	資源ごみ保管施設	-	-	591	-	-	-	-

※コロナ禍における施設の休館等により利用者平均が適正でないため、コロナ禍前の 2019 年度(令和元年度)の状況を参考値として表示しています。

3-1-1 その他施設（22 施設 89 棟）

その他施設には、斎場、共同浴場、市職員住宅、医師住宅、教職員住宅のほか、旧保健センター（1987年度(昭和62年度)）、旧常磐小学校等の本来用途としての使用を休止している遊休施設、旧上芦別生活館、旧カナディアンワールド公園、旧保健センター（1983年度(昭和58年度)）、旧浄化センター、旧市営牧場等の民間事業者又は個人へ貸付を行っている貸付施設、旧職員住宅及び旧教職員住宅のうち除却が決定している除却施設、旧高齢者生きがいセンター、旧車両事務所、旧国設芦別スキー場等の他に分類しないその他施設があります。

ここでは、次の5区分に分類して記載をします。

- (1) 斎場、共同浴場、遊休施設、貸付施設、その他施設（16 施設 50 棟）
- (2) 市職員住宅、健民センター従業員住宅（2 施設 2 棟）
- (3) 医師住宅（2 施設 9 棟）
- (4) 教職員住宅（1 施設 7 棟）
- (5) 旧教職員住宅（1 施設 21 棟）

3-1-1-1 その他施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

(1) 斎場、共同浴場、遊休施設、貸付施設、その他施設







図 3-11-1-1 斎場、共同浴場、遊休施設、貸付施設、その他施設の施設群

表 3-11-1-2 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	施設分類	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
1	本町	斎場		RC	512	H1	50	66
2	西芦別	西芦別共同浴場		RC	330	H2	50	87
3	頼城	頼城共同浴場		RC	227	H3	50	84
4	本町	旧保健センター(S62)	遊休	RC	728	S62	50	70
5	常磐	旧常磐小学校	遊休	RC	2,538	H2	50	64
6	本町	旧保健センター(S58)	貸付	RC	685	S58	50	78
7	上芦別	旧上芦別生活館	貸付	CB	211	S49	24	129
8	上芦別	中高年事業団作業所	貸付	W	86	S38	24	246
9	上芦別	旧浄化センター	貸付	RC	1,983	S58	50	78
10	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	S	675	H2	38	84
11	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	S	675	H2	38	84
12	豊岡	旧市営牧場 (乾燥飼料調整庫)	貸付	S	350	H1	38	87
13	豊岡	旧市営牧場(農具庫)	貸付	S	110	H1	38	87
14	豊岡	旧市営牧場(敷料庫)	貸付	S	162	H1	38	87
15	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	S	516	H1	38	87
16	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	S	516	H1	38	87
17	豊岡	旧市営牧場(監視舎)	貸付	W	67	H1	24	138
18	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	S	1,322	H3	38	82
19	豊岡	旧市営牧場(育成舎)	貸付	S	395	H1	38	87
20	黄金	旧カナディアンワールド公園 ケンジントン駅	貸付	RC	77	H2	50	64
21	黄金	旧カナディアンワールド公園 ピラミッド	貸付	RC	740	H2	50	64
22	黄金	旧カナディアンワールド公園 テラスデュフラン	貸付	RC	1,063	H2	50	64
23	黄金	旧カナディアンワールド公園 温室	貸付	S	85	H2	38	84

	地域区分	施設・建物名称	施設分類	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
24	黄金	旧カナディアンワールド公園 管理事務所	貸付	S	548	H2	38	84
25	黄金	旧カナディアンワールド公園 メイプル&リンゴ	貸付	W	280	H2	24	133
26	黄金	旧カナディアンワールド公園 サロンケンジントン	貸付	W	99	H2	24	133
27	黄金	旧カナディアンワールド公園 ブライトリバー駅	貸付	W	79	H2	24	133
28	黄金	旧カナディアンワールド公園 カーリートレイン	貸付	W	260	H2	24	133
29	黄金	旧カナディアンワールド公園 ファーマーズ駅	貸付	W	117	H2	24	133
30	黄金	旧カナディアンワールド公園 リンド夫人の家	貸付	W	67	H2	24	133
31	黄金	旧カナディアンワールド公園 ポストオフィス	貸付	W	58	H2	24	133
32	黄金	旧カナディアンワールド公園 グリーンゲイブルズ	貸付	W	247	H2	24	133
33	黄金	旧カナディアンワールド公園 オーチャードスロープ	貸付	W	96	H2	24	133
34	黄金	旧カナディアンワールド公園 オウエルスクール	貸付	W	70	H2	24	133
35	黄金	旧カナディアンワールド公園 アの教会	貸付	W	131	H2	24	133
36	黄金	旧カナディアンワールド公園 フロンティア	貸付	W	72	H2	24	133
37	黄金	旧カナディアンワールド公園 キルト	貸付	W	60	H2	24	133
38	黄金	旧カナディアンワールド公園 テラノーヴァ	貸付	W	468	H2	24	133
39	黄金	旧カナディアンワールド公園 ティーピー	貸付	W	56	H2	24	133
40	黄金	旧カナディアンワールド公園 クリスティアンヌ	貸付	W	70	H2	24	133
41	黄金	旧カナディアンワールド公園 ウッドマン	貸付	W	70	H2	24	133
42	黄金	旧カナディアンワールド公園 バルフェ	貸付	W	119	H2	24	133
43	本町	旧車両事務所	その他	W	179	S50	24	196
44	旭町	旧土木課資材倉庫	その他	W	133	S45	24	217
45	旭町	旧国設芦別スキー場 (ふれあいスキーハウス)	その他	W	99	S61	24	150
46	旭町	旧国設芦別スキー場 (スキーハウス)	その他	W	182	S40	24	238

	地域区分	施設・建物名称	施設分類	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
47	旭町	旧国設芦別スキー場(ロッジ)	その他	W	421	S56	24	171
48	旭町	旧高齢者生きがいセンター	その他	W	587	S55	24	175
49	旭町油谷	旧健民センターオートキャンプ場(管理棟)	その他	W	122	H9	24	104
50	旭町油谷	旧健民センターオートキャンプ場(炊事棟)	その他	W	58	H9	24	104
	黄金	旧チロル記念館	除却	W	87	H4	※R4.9.22 除却	
	上芦別	旧上芦別共同浴場	除却	W	52	S56	※H28.12.16 除却	
	頼城	旧頼城売店	除却	W	123	S33	※H28.6.28 除却	

注：RC=鉄筋コンクリート造、S=鉄骨造、CB=コンクリートブロック造、W=木造

(黒塗りは除却施設)

表 3-11-1-3 施設の利用状況

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	利用状況	貸付等年月日	備考
1	本町	旧保健センター(S62)	遊休	R1.11.22	災害備蓄品等倉庫として一部利用
2	常磐	旧常磐小学校	遊休	H26.4.1	
3	本町	旧保健センター(S58)	貸付	R2.4.1	民間事業者へ貸付
4	上芦別	旧上芦別生活館	貸付	R2.4.1	町内会へ貸付
5	上芦別	中高年事業団作業所	貸付	H5.1.14	民間事業者へ貸付
6	上芦別	旧浄化センター	貸付	H28.4.1	民間事業者へ貸付
7	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
8	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
9	豊岡	旧市営牧場(乾燥飼料調整庫)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
10	豊岡	旧市営牧場(農具庫)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
11	豊岡	旧市営牧場(敷料庫)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
12	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
13	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
14	豊岡	旧市営牧場(監視舎)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
15	豊岡	旧市営牧場(肥育舎)	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付

	地域区分	施設・建物名称	利用 状況	貸付等年月日	備考
16	豊岡	旧市営牧場（育成舎）	貸付	H26.3.1	民間事業者へ貸付
17	黄金	旧カナディアンワールド公園 ケンジントン駅	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
18	黄金	旧カナディアンワールド公園 ピラミッド	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
19	黄金	旧カナディアンワールド公園 テラスデュフラン	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
20	黄金	旧カナディアンワールド公園 温室	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
21	黄金	旧カナディアンワールド公園 管理事務所	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
22	黄金	旧カナディアンワールド公園 メイプル&リンゴ	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
23	黄金	旧カナディアンワールド公園 サロンケンジントン	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
24	黄金	旧カナディアンワールド公園 ブライトリバー駅	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
25	黄金	旧カナディアンワールド公園 カーリートレイン	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
26	黄金	旧カナディアンワールド公園 ファーマーズ駅	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
27	黄金	旧カナディアンワールド公園 リンド夫人の家	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
28	黄金	旧カナディアンワールド公園 ポストオフィス	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
29	黄金	旧カナディアンワールド公園 グリーンゲイブルズ	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
30	黄金	旧カナディアンワールド公園 オーチャードスロープ	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
31	黄金	旧カナディアンワールド公園 オウエルスクール	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
32	黄金	旧カナディアンワールド公園 アンの教会	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
33	黄金	旧カナディアンワールド公園 フロンティア	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
34	黄金	旧カナディアンワールド公園 キルト	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
35	黄金	旧カナディアンワールド公園 テラノーヴァ	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
36	黄金	旧カナディアンワールド公園 ティーピー	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
37	黄金	旧カナディアンワールド公園 クリスティアヌ	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
38	黄金	旧カナディアンワールド公園 ウッドマン	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
39	黄金	旧カナディアンワールド公園 パルフェ	貸付	R2.4.1	民間団体へ貸付
40	本町	旧車両事務所	その他	不明	市の倉庫として活用

	地域区分	施設・建物名称	利用状況	貸付等年月日	備考
41	本町	旧土木課資材倉庫	その他	R4.4.1	市の倉庫として活用
42	旭町	旧国設芦別スキー場 (ふれあいスキーハウス)	その他	R4.8.1	民間事業者の指定管理委託終了に伴う休止施設
43	旭町	旧国設芦別スキー場 (スキーハウス)	その他	R4.8.1	民間事業者の指定管理委託終了に伴う休止施設
44	旭町	旧国設芦別スキー場 (ロッジ)	その他	R4.8.1	民間事業者の指定管理委託終了に伴う休止施設
45	旭町	旧高齢者生きがいセンター	その他	H25.4.1	土木資材等倉庫として活用
46	旭町油谷	旧健民センターオート キャンプ場 (管理棟)	その他	R3.7.1	民間事業者による再利用
47	旭町油谷	旧健民センターオート キャンプ場 (炊事棟)	その他	R3.7.1	民間事業者による再利用

表 3-11-1-4 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断 (IS値)・ 改修・計画	大規模改修 実施年度	大規模改修内容 ・その他
1	本町	斎場	旧	実施済み	H21 H25 H26 H28	屋上防水等改修工事 火葬炉部品取替修繕等 火葬炉部品取替修繕等, 冷房設備設置工事 待合室改修工事
2	西芦別	西芦別共同浴場	旧	実施済み	H8 H26	外壁改修工事 地下タンク配管修繕
3	頼城	頼城共同浴場	旧	実施済み	H8	外壁改修工事
4	本町	旧保健センター(S62)	新	—		
5	常磐	旧常磐小学校	新	—		
6	本町	旧保健センター(S58)	旧	不明	H13	建物の補修、暖房設備の 整備、内部改装ほか
7	上芦別	旧上芦別生活館	旧	不要	S58 H5	増築 屋根等改修工事
8	上芦別	中高年事業団作業所 (旧給食センター車庫)	旧	不要		
	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断 (IS値)・ 改修・計画	大規模改修 実施年度	大規模改修内容 ・その他
9	上芦別	旧浄化センター	旧	不要	H9 H11 H16 H17	屋上改修工事 施設整備工事(DSﾌﾟ ﾘｽﾄｰﾊﾞｰﾎｰﾙ) 予備貯留槽防食塗装 工事 し尿及び汚泥下水道

						投入改修工事
10	豊岡	旧市営牧場	旧	不要		
11	黄金	旧カナディアンワールド公園郡	旧	未実施		
12	本町	旧車両事務所	旧	不要		
13	旭町	旧土木課資材倉庫	旧	不要		
14	旭町	旧国設芦別スキー場（ふれあいスキーハウス）	新	実施済		
15	旭町	旧国設芦別スキー場（スキーハウス）	旧	実施済		
16	旭町	旧国設芦別スキー場（ロッジ）	旧	実施済	H5 H7 H25	床・外壁改修工事 外壁塗装工事・トイレ改修工事 屋根塗装修繕
17	旭町	旧高齢者生きがいセンター	旧	不要		
18	旭町油谷	旧健民センターオートキャンプ場（管理棟）	新	実施済		
19	旭町油谷	旧健民センターオートキャンプ場（炊事棟）	新	実施済		

(2) 市職員住宅・健民センター従業員住宅



図 3-11-1-5 市職員住宅・健民センター従業員住宅の施設群

表 3-11-1-6 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
1	本町	市職員住宅(三角山団地)	CB	302	H3	38	82
2	旭町	健民センター従業員住宅	CB	401	H3	38	82
	本町	ひばり団地ー市共 51-1	CB	133	S51	※R3.10.5 除却	
	本町	ひばり団地ー市共 51-2	CB	133	S51	※R3.10.5 除却	
	本町	ひばり団地ー市共 52①	CB	133	S52	※R3.10.5 除却	
	本町	ひばり団地ー市共 52②	CB	133	S52	※R3.10.5 除却	
	本町	ひばり団地ー市共 53	CB	133	S53	※R3.10.5 除却	
	本町	ひばり団地ー市共 54①	CB	133	S54	※R3.10.5 除却	
	本町	ひばり団地ー市共 54②	CB	136	S54	※R2.10.27 除却	
	本町	あかつき団地ー市共 55	CB	552	S56	※R4.11.30 譲渡	
	本町	あかつき団地ー市共 57	CB	286	S57	※R4.11.30 譲渡	
	本町	あかつき団地ー市共 58	CB	286	S58	※R4.11.30 譲渡	
	旭町	旧健民センター従業員住宅	W	81	S51	※R3.8.31 除却	

※CB=コンクリートブロック造、W=木造

(黒塗りは除却済施設)

表 3-11-1-7 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断 (IS 値)・ 改修・計画	大規模改修 実施年度	大規模改修内容 ・その他
1	本町	市職員住宅(三角山団地)	新	不要	H9	水洗化工事
2	旭町	健民センター従業員住宅	新	不要	R1	屋根修繕

(3) 医師住宅



図 3-11-1-8 医師住宅

表 3-11-1-9 建物基本情報・老朽化率・耐震情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積 (m ²)	建築年度	耐用年数 (年)	老朽化率 (%)	耐震基準	耐震診断 (IS 値)・ 改修・計画
1	本町	医師住宅①	W	97	H23	24	46	新	不要
2		医師住宅②	W	97	H23	24	46	新	不要
3		医師住宅③	W	118	H23	24	46	新	不要
4		医師住宅④	W	118	H23	24	46	新	不要
5		医師住宅(院長住宅)	W	122	S51	24	192	旧	不要
6		医師住宅(K棟)	W	107	S56	24	171	新	不要
7		医師住宅(L棟)	W	97	S62	24	146	新	不要
8		医師住宅(M棟) 院内保育所	W	97	S62	24	146	新	不要
9		医師住宅(単身住宅)	S	266	S62	38	92	新	不要

※S=鉄骨造、W=木造

(4) 教職員住宅



図 3-11-1-10 教職員住宅

表 3-11-1-11 建物基本情報・老朽化率

2023 年(令和 5 年)3 月末現在

教職員住宅							
	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
1	上芦別	共 77 号	B	90	S54	38	113
2	本町	共 94,95,96,97 号	RC	286	S57	50	105
3	本町	共 100,101,102,103 号	RC	286	S58	50	103
4	上芦別	共 104,105 号	B	136	S59	38	100
5	本町	共 109 号	W	99	H12	24	92
6	上芦別	共 110 号	W	99	H12	24	92
7	本町	共 111 号	W	99	H13	24	88
	本町	K 共 27,28 号	B	136	S51	38	
	上芦別	共 64,65 号	B	136	S51	38	
	本町	K 共 25,26 号	B	136	S51	※H30.8.28 除却	
	本町	K 共 29,30 号	B	136	S51	※H30.8.28 除却	
	本町	K 共 31,32 号	B	136	S52	※H30.8.28 除却	
	本町	K 共 33,34 号	B	136	S53	※H30.8.28 除却	
	上芦別	共 49,50 号	B	136	S50	※R1.9.6 除却	
	上芦別	共 76 号	B	68	S54	※R2.7.16 除却	

教職員住宅							
	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)
	上芦別	共 78,79 号	B	136	S55	※R1.9.6 除却	
	上芦別	共 80,81 号	B	136	S55	※R2.7.16 除却	
	上芦別	共 82,83 号	B	136	S55	※R2.7.16 除却	
	上芦別	共 90,91,92,93 号	RC	276	S56	※R1.9.6 除却	

※RC=鉄筋コンクリート造、B=ブロック造、W=木造

(緑塗は(5)旧教職員住宅へ分類を変更した施設、黒塗は除却した施設)

表 3-11-1-12 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修計画	大規模改修実施年度	大規模改修内容・その他
1	上芦別	共 77 号	旧	不要		
2	本町	共 94,95,96,97 号	旧	不要	H29 R2 R3	97号:浴室・脱衣室改修工事 94号:浴室・脱衣室改修工事 95・96号:浴室・脱衣室改修工事
3	本町	共 100,101,102,103 号	旧	不要	H29 R1 R2	103号:浴室・脱衣室改修工事 101・102号:浴室・脱衣室改修工事 100号:浴室・脱衣室改修工事
4	上芦別	共 104,105 号	旧	不要	H29	浴室・脱衣室改修工事
5	本町	共 109 号	新	実施済		
6	上芦別	共 110 号	新	実施済		
7	本町	共 111 号	新	実施済		

(5) 旧教職員住宅



図 3-11-1-13 旧教職員住宅

表 3-11-1-14 建物基本情報・老朽化率・耐震情報 2023年(令和5年)3月末現在

旧教職員住宅									
	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画
1	本町	K共 1,2号	CB	113	S47	38	132	旧	不要
2	本町	K共 3,4号	B	113	S47	38	132	旧	不要
3	本町	K共 5,6号	B	113	S48	38	129	旧	不要
4	本町	K共 7,8号	CB	113	S47	38	132	旧	不要
5	本町	K共 9,10号	CB	113	S47	38	132	旧	不要
6	本町	K共 23,24号	B	136	S51	38	121	旧	不要
7	本町	K共 27,28号	B	136	S51	38	121	旧	不要
8	本町	へき住 11,12号	CB	113	S48	38	129	旧	不要
9	本町	へき住 13,14号	CB	113	S49	38	126	旧	不要
10	本町	へき住 15,16号	CB	113	S49	38	126	旧	不要

旧教職員住宅									
	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積(m ²)	建築年度	耐用年数(年)	老朽化率(%)	耐震基準	耐震診断(IS値)・改修・計画
11	本町	へき住 17,18号	CB	113	S49	38	126	旧	不要
12	本町	K共 19,20号	CB	113	S49	38	126	旧	不要
13	本町	K共 21,22号	CB	113	S49	38	126	旧	不要
14	上芦別	25,26号	CB	113	S49	38	126	旧	不要
15	上芦別	共 64,65号	B	136	S51	38	121	旧	不要
16	本町	K共 35,36号	CB	136	S53	38	116	旧	不要
17	黄金	47号	W	78	S50	24	196	旧	不要
18	野花南	74,75号	CB	136	S54	38	43	旧	不要
19	本町	84~87号	RC	276	S55	50	111	旧	不要
20	黄金	126号	W	51	S31	24	275	旧	不要
21	黄金	211,212号	W	99	S38	24	246	旧	不要
	緑泉	51,52号	CB	136	S50	38	※H29.12.18 除却		
	緑泉	53,54号	CB	136	S50	38	※H29.12.18 除却		
	緑泉	55,56号	CB	136	S50	38	※H29.12.18 除却		
	常磐	57号	W	88	S50	24	※R3.9.7 除却		
	常磐	98,99号	CB	136	S47	38	※R3.9.7 除却		
	緑泉	58,59号	CB	38	S51	38	※H29.12.18 除却		
	西芦別	60,61号	CB	136	S51	38	※H28.12.14 除却		
	西芦別	62,63号	CB	136	S51	38	※H28.12.14 除却		
	緑泉	72,73号	CB	136	S53	38	※H28.12.18 除却		
	緑泉	107号	CB	99	S61	38	※R2.3.31 売却		

※RC=鉄筋コンクリート造、CB=コンクリートブロック造、B=ブロック造、W=木造

(黒塗りは除却・売却した施設)

注：旧職員住宅の取得経緯について付記します。（除却済施設は除く）

1・2号、7・8号、9・10号：公立学校共済組合から購入（1993(H5).4.14 所有権移転登記）

3・4号、5・6号、23・24号：貸付転用のため教委から財政課に移管（2018(H30).4.2）

19・20号、21・22号：公立学校共済組合から購入（1995(H7).5.8 所有権移転登記）

25・26号：公立学校共済組合から購入（1994(H6).9.10 所有権移転登記）

27・28号：建設（1976(S51).12.25）

35・36号：公立学校共済組合から購入（1994(H6).4.7 所有権移転登記）

47号：購入（1985(S60).3.10）

64・65号：公立学校共済組合から購入（1992(H4).4.14 所有権移転登記）

74・75号：土地は個人から有償借受。公立学校共済組合から購入（1995(H7).5.8）

84～87号：貸付転用のため教委から財政課に移管（2007(H19).10.1）

126号：個人から買収（1956(S31).10.10）

211・212号：建設（1963(S38).12.14）

へき住 11・12：貸付転用のため教委から財政課に移管（2010(H22).5.1）

へき住 13・14、15・16、17・18：貸付転用のため教委から財政課に移管（2008(H20).9.1）

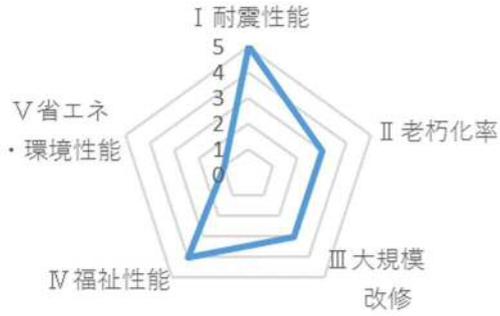
3-11-2 その他施設の施設・建物評価

(1) 斎場、共同浴場、遊休施設、貸付施設、その他施設

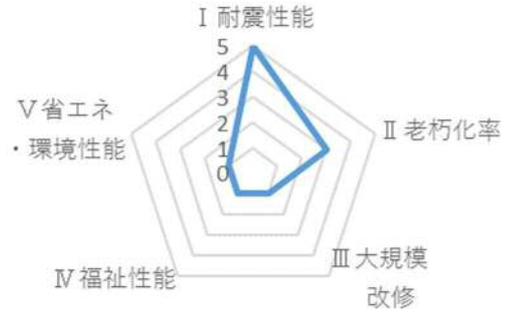
表 3-11-2-1 施設・建物評価（各 5 段階 25 点満点） 2022 年(令和 4 年)3 月末現在

	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	斎場	5	3	3	4	1	16
2	西芦別共同浴場	5	3	1	1	1	11
3	頼城共同浴場	5	3	1	1	1	11
4	旧保健センター(S62)	5	2	3	5	1	16
5	旧常磐小学校	5	3	1	3	1	13
6	旧保健センター(S58)	5	1	1	4	1	12
7	旧上芦別生活館	1	1	1	2	1	6
8	中高年事業団作業所	1	1	1	1	1	1
9	旧浄化センター	5	3	3	1	1	13
10	旧市営牧場（鉄骨造）	3	2	1	1	1	8
11	旧市営牧場（木造）	3	1	1	1	1	7
12	旧カナディアンワールド公園 RC（鉄筋コンクリート造）	5	3	1	1	1	11
13	旧カナディアンワールド公園 S（鉄骨造）	5	2	1	1	1	10
14	旧カナディアンワールド公園 W(木造)	5	1	1	2	1	10
15	旧車両事務所	1	1	1	1	1	5
16	旧土木課資材倉庫	1	1	1	1	1	5
17	旧国設芦別スキー場（ふれあいスキーハウス）	5	1	1	1	1	9
18	旧国設芦別スキー場（スキーハウス・ロッジ）	1	1	1	1	1	5
19	旧高齢者生きがいセンター	1	1	1	1	1	5
20	旧健民センターオートキャンプ場（管理棟）	5	1	1	3	1	11
21	旧健民センターオートキャンプ場（炊事棟）	5	1	1	1	1	9

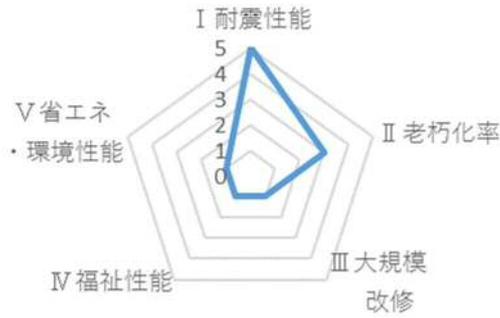
齋場



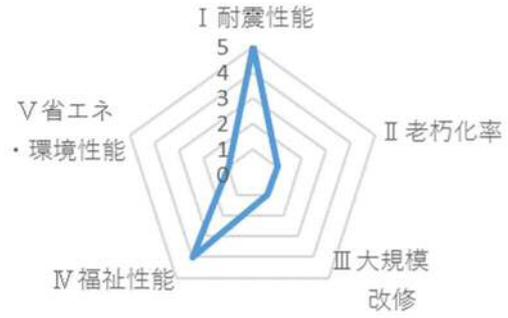
西芦別共同浴場



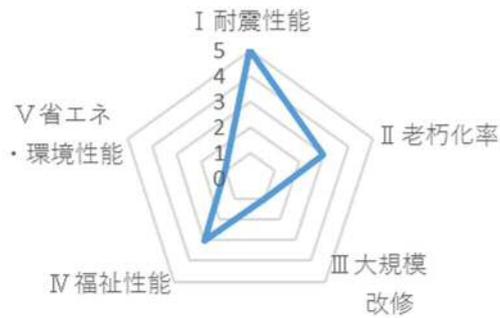
頼城共同浴場



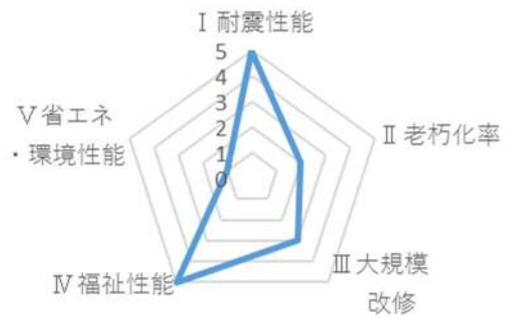
旧保健センター (S62)



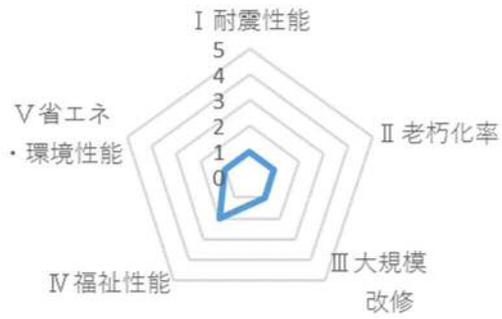
旧常磐小学校



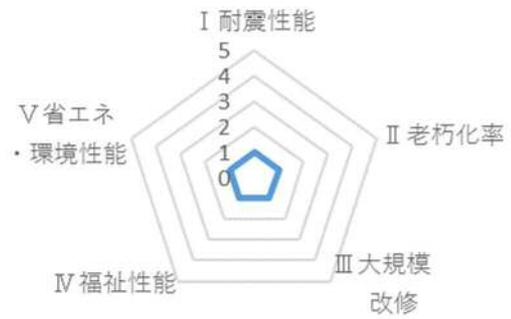
旧保健センター (S58)



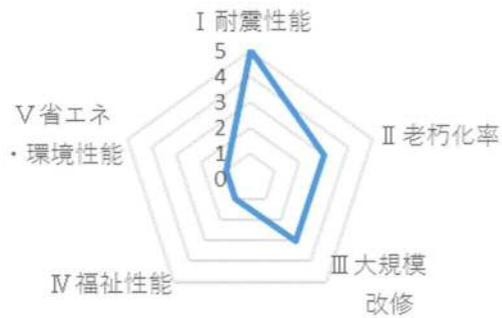
旧上芦別生活館



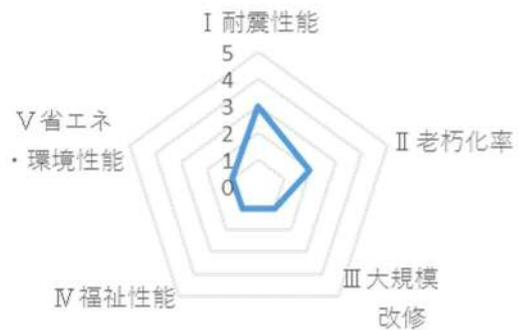
中高年事業団作業所



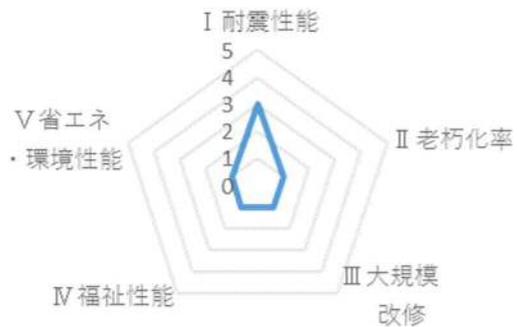
旧浄化センター



旧市営牧場（鉄骨造）



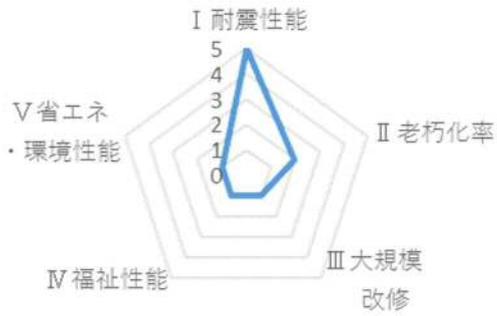
旧市営牧場（木造）



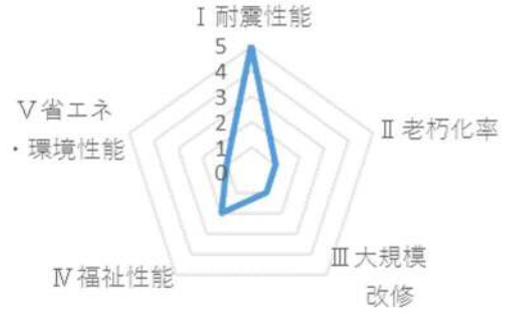
旧カナディアンワールド
RC（鉄筋コンクリート造）



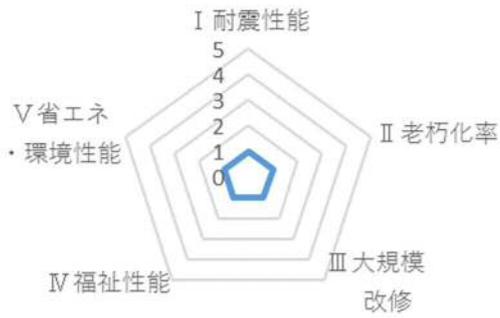
旧カナディアンワールド
S (鉄骨造)



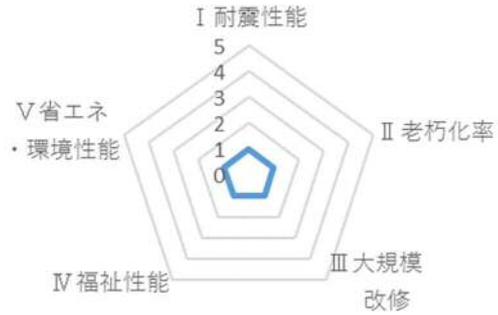
旧カナディアンワールド
W (木造)



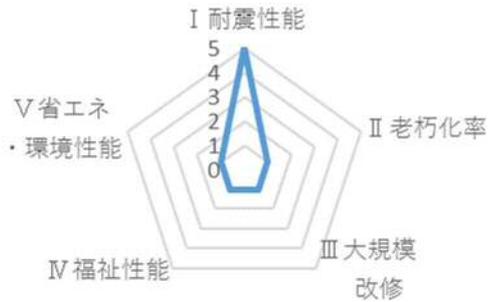
旧車両事務所



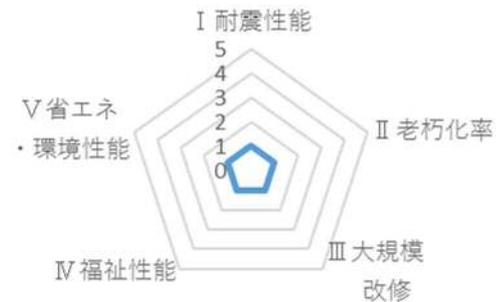
旧土木課資材倉庫



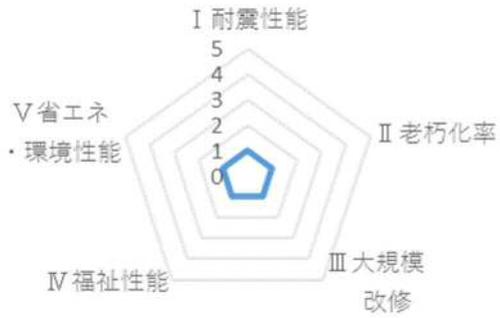
旧国設芦別スキー場
(ふれあいスキーハウス)



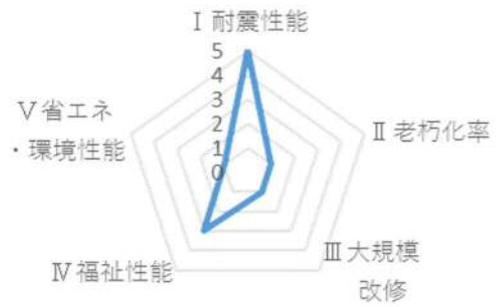
旧国設芦別スキー場
(スキーハウス・ロッジ)



旧高齢者生きがいセンター



旧健民センターオートキャンプ場
(管理棟)



旧健民センターオートキャンプ場
(炊事棟)

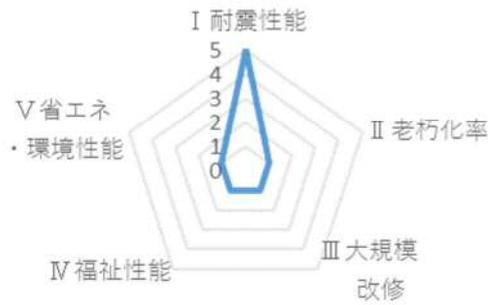


図 3-11-2-2 5 軸評価

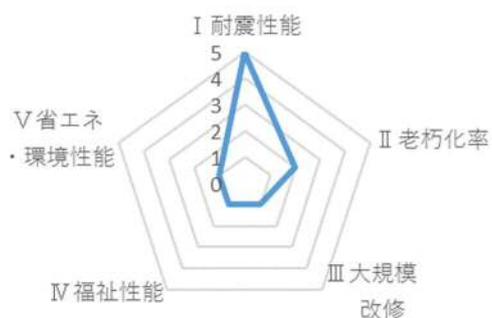
(2) 市職員住宅・健民センター従業員住宅

表 3-11-2-3 施設・建物評価 (各 5 段階 25 点満点)

2022 年(令和 4 年)3 月末現在

	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	市職員住宅(三角山団地)	5	2	1	1	1	10
2	健民センター従業員住宅	5	2	1	1	1	10

市職員住宅(三角山団地)



健民センター従業員住宅

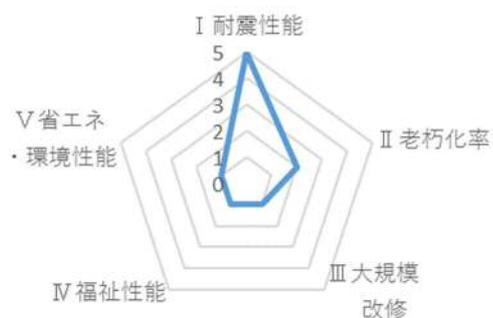


図 3-11-2-4 5 軸評価

(3) 医師住宅

表 3-11-2-5 施設・建物評価 (各 5 段階 25 点満点)

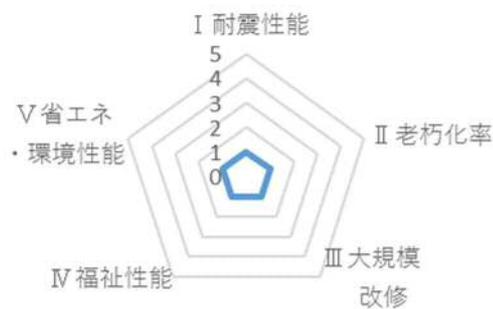
2022 年(令和 4 年)3 月末現在

	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	医師住宅①～④	5	4	1	1	1	12
2	医師住宅 (院長住宅)	1	1	1	1	1	5
3	医師住宅 (K 棟)	1	1	1	1	1	5
4	医師住宅 (L 棟)	5	1	1	1	1	9
5	医師住宅 (M 棟) 院内保育所	5	1	1	2	1	10
6	医師住宅 (単身住宅)	5	2	1	1	1	10

医師住宅①～④



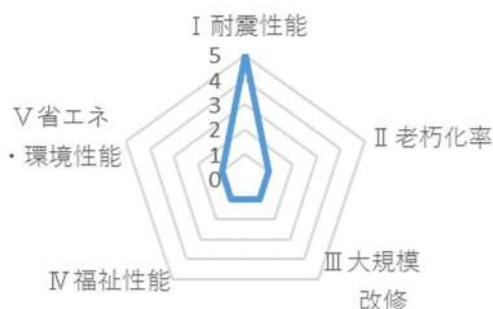
医師住宅 (院長住宅)



医師住宅 (K棟)



医師住宅 (L棟)



医師住宅（M棟）院内保育所

医師住宅（単身住宅）

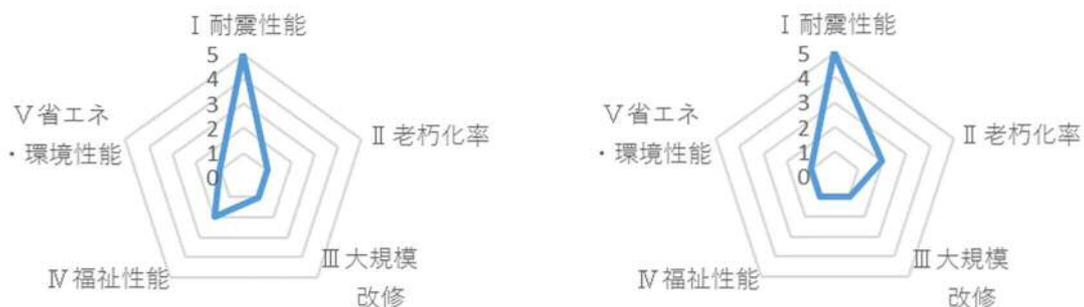


図 3-11-2-6 5 軸評価

(4) 教職員住宅

表 3-11-2-7 施設・建物評価（各 5 段階 25 点満点） 2022 年(令和 4 年)3 月末現在

教職員住宅							
	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	共 77 号	1	1	3	1	1	7
2	共 94,95,96,97 号 共 100,101,102,103 号 共 104,105 号	1	2	3	1	1	8
3	共 109 号、共 110 号、共 111 号	5	2	3	1	2	13

共77号



共94,95,96,97号、
共100,101,102,103号、共104,105号



共109号、共110号、共111号

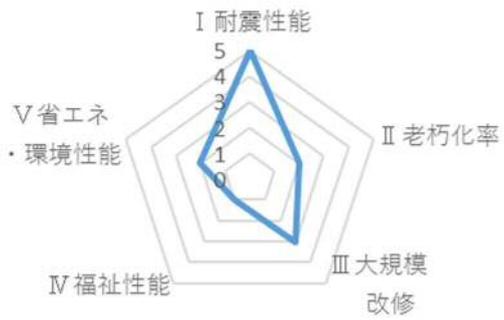


図 3-11-2-8 5 軸評価

(5) 旧教職員住宅

表 3-11-2-9 施設・建物評価 (各 5 段階 25 点満点)

2022 年(令和 4 年)3 月末現在

旧教職員住宅							
	施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
1	K 共 1,2 号、K 共 3,4 号、 K 共 5,6 号、K 共 7,8 号 K 共 9,10 号、へき住 11,12 号 へき住 13,14 号、へき住 15,16 号 へき住 17,18 号、K 共 19,20 号 K 共 21,22 号、K 共 23,24 号、 25,26 号、K 共 27,28 号、 K 共 35,36 号、47 号、64,65 号、 74,75 号、126 号、211,212 号	1	1	1	1	1	5
2	84~87 号	1	2	1	1	1	6

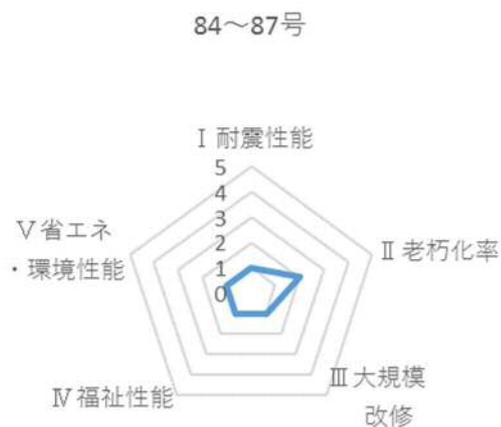


図 3-11-2-10 5 軸評価

3-11-3 その他施設のコスト負担状況

(1) 斎場、共同浴場、遊休施設、貸付施設、その他施設

表 3-11-3-1 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額(円)
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	斎場	20,598	9,788	0	30,386	4,863	25,523	2,024
2	西芦別共同浴場	3,493	75	0	3,568	0	3,568	283
3	頼城共同浴場	3,210	18	0	3,228	0	3,228	256
4	旧保健センター(S62)	0	19	0	19	0	19	2
5	旧常磐小学校	0	425	0	425	55	370	29
6	旧保健センター(S58)	30	823	0	853	0	853	68
7	旧上芦別生活館	593	206	0	799	1	798	63
8	中高年事業団作業所	0	2	0	2	172	-170	-13
9	旧浄化センター	0	19	0	19	0	19	2
10	旧市営牧場	154	21	0	175	350	-175	-14
11	旧カナディアンワールド公園	4,337	3,333	0	7,670	426	7,244	574
12	旧車両事務所	0	21	0	21	0	21	2
13	旧土木課資材倉庫	0	2	0	2	0	2	0
14	旧国設芦別スキー場	6,158	898	0	7,056	1,830	5,226	414
15	旧高齢者生きがいセンター	0	35	0	35	0	35	3
16	旧健民センターオートキャンプ場	0	31	0	31	20	11	1

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

(2) 市職員住宅・健民センター従業員住宅

表 3-11-3-2 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	市職員住宅（三角山団地）	165	59	0	224	1,004	-780	-62
2	健民センター従業員住宅	125	599	0	724	328	396	31

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均）

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

(3) 医師住宅

表 3-11-3-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	医師住宅①、医師住宅②、医師住宅③、医師住宅④、医師住宅（院長住宅）、医師住宅（K棟）、医師住宅（L棟）、医師住宅（单身住宅）	0	4,360	0	4,360	762	3,598	285
2	医師住宅（M棟）保育所	12,446	480	0	12,926	13,916	-990	-78

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均）

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

(4) 教職員住宅

表 3-11-3-4 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	共77号	1,363	603	0	1,966	2,876	-910	-72
2	共94,95,96,97号							
3	共100,101,102,103号							
4	共104,105号							
5	共109号							
6	共110号							
7	共111号							

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均）

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

(5) 旧教職員住宅

表 3-11-3-5 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	K共1,2号							
2	K共3,4号							
3	K共5,6号							
4	K共7,8号							
5	K共9,10号							
6	へき住11,12号							
7	へき住13,14号							
8	へき住15,16号							
9	へき住17,18号							
10	K共19,20号							
11	K共21,22号	0	528	0	528	1,930	-1,402	-111
12	K共23,24号							
13	25,26号							
14	K共27,28号							
15	K共35,36号							
16	47号							
17	64,65号							
18	74,75号							
19	84~87号							
20	126号							
21	211,212号							

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-11-4 その他施設の利用状況

(1) 斎場、共同浴場、遊休施設、貸付施設、その他施設

表 3-11-4-1 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間 開館 日数	利用 時間 (h/日)	延床 面積 (m ²)	2019(R1) ～ 2021(R3) 年間平均 利用者数	1日平 均利用 者数	参考 (2019(R1))	
							利用者数	1日平 均利用 者数
1	斎場	190	7.5	512	287	1	255	1
2	西芦別共同浴場	257	4	330	8,436	33	9,337	37
3	頼城共同浴場	257	4	227	5,766	22	6,498	25
4	旧保健センター(S62)	-	-	728	-	-	-	-
5	旧常磐小学校	-	-	2,538	-	-	-	-
6	旧保健センター(S58)	-	-	685	-	-	-	-
7	旧上芦別生活館	-	-	211	-	-	-	-
8	中高年事業団作業所	-	-	86	-	-	-	-
9	旧浄化センター	-	-	1,983	-	-	-	-
10	旧市営牧場	-	-	675	-	-	-	-
11	旧カナディアンワールド公園	-	-	5,019	-	-	-	-
12	旧車両事務所	-	-	179	-	-	-	-
13	旧土木課資材倉庫	-	-	133	-	-	-	-
14	旧国設芦別スキー場	-	-	702	-	-	-	-
15	旧高齢者生きがいセンター	-	-	587	-	-	-	-
16	旧健民センターオートキャンプ場	-	-	180	-	-	-	-

(2) 市職員住宅・健民センター従業員住宅

表 3-11-4-2 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間 開館 日数	利用 時間 (h/日)	延床 面積 (m ²)	2019(R1) ～ 2021(R3) 年間平均 利用者数	1日平均 利用者数	参考 (2019(R1))	
							利用者数	1日平均 利用者数
1	市職員住宅 (三角山団地)	—	—	302	—	—	—	—
2	健民センター従業員住宅	—	—	401	—	—	—	—

(3) 医師住宅

表 3-11-4-3 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間 開館 日数	利用 時間 (h/日)	延床 面積 (m ²)	2019(R1) ～ 2021(R3) 年間平均 利用者数	1日平均 利用者数	参考 (2019(R1))	
							利用者数	1日平均 利用者数
1	医師住宅①	—	—	97	—	—	—	—
2	医師住宅③	—	—	97	—	—	—	—
3	医師住宅②	—	—	118	—	—	—	—
4	医師住宅④	—	—	118	—	—	—	—
5	医師住宅 (院長住宅)	—	—	122	—	—	—	—
6	医師住宅 (K 棟)	—	—	107	—	—	—	—
7	医師住宅 (L 棟)	—	—	97	—	—	—	—
8	医師住宅 (M 棟) 院内保育所	365	24	97	787	2	1,031	3
9	医師住宅 (单身住宅)	—	—	266	—	—	—	—

(4) 教職員住宅

表 3-11-4-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間 開館 日数	利用 時間 (h/日)	延床 面積 (m ²)	2019(R1) ～ 2021(R3) 年間平均 利用者数	1日平 均利用 者数	参考 (2019(R1))	
							利用者数	1日平 均利用 者数
1	共 77 号	-	-	90	-	-	-	-
2	共 94,95,96,97 号	-	-	286	-	-	-	-
3	共 100,101,102,103 号	-	-	286	-	-	-	-
4	共 104,105 号	-	-	136	-	-	-	-
5	共 109 号	-	-	99	-	-	-	-
6	共 110 号	-	-	99	-	-	-	-
7	共 111 号	-	-	99	-	-	-	-

(5) 旧教職員住宅

表 3-11-4-5 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間 開館 日数	利用 時間 (h/日)	延床 面積 (m ²)	2019(R1) ～ 2021(R3) 年間平均 利用者数	1日平 均利用 者数	参考 (2019(R1))	
							利用者数	1日平 均利用 者数
1	K 共 1,2 号	-	-	113	-	-	-	-
2	K 共 3,4 号	-	-	112	-	-	-	-
3	K 共 5,6 号	-	-	112	-	-	-	-
4	K 共 7,8 号	-	-	113	-	-	-	-
5	K 共 9,10 号	-	-	113	-	-	-	-
6	ハキ住 11,12 号	-	-	113	-	-	-	-
7	ハキ住 13,14 号	-	-	113	-	-	-	-
8	ハキ住 15,16 号	-	-	113	-	-	-	-
9	ハキ住 17,18 号	-	-	113	-	-	-	-
10	K 共 19,20 号	-	-	113	-	-	-	-
11	K 共 21,22 号	-	-	113	-	-	-	-
12	K 共 23,24 号	-	-	136	-	-	-	-
13	25,26 号	-	-	113	-	-	-	-
14	K 共 27,28 号	-	-	136	-	-	-	-
15	K 共 35,36 号	-	-	136	-	-	-	-
16	47 号	-	-	78	-	-	-	-
17	64,65 号	-	-	136	-	-	-	-
18	74,75 号	-	-	136	-	-	-	-
19	84～87 号	-	-	276	-	-	-	-
20	126 号	-	-	51	-	-	-	-
21	211・212 号	-	-	99	-	-	-	-

注：旧職員住宅の利用状況について付記します。

1・2号：2005(H17).12.1～社会福祉法人愛和福祉会に貸付

7・8号：2013(H25).4.1～社会福祉法人愛和福祉会に貸付

9・10号：2005(H17).12.1～社会福祉法人愛和福祉会に貸付

11・12号：2012(H24).7.1～社会福祉法人愛和福祉会に貸付

13・14号、15・16号、17・18号、19・20号：2009(H21).12.1～社会福祉法人愛和福祉会に
貸付

21・22号：2015(H27).10.1～社会福祉法人愛和福祉会に貸付

25・26号：1998(H10).6.1～上芦別多目的研修センター運営委員会に無償貸付（上芦別パークゴルフ場備品収納庫及び手洗場として）

27・28号：27号を2011(H23).6.23に、28号を2013(H25).3.31に、個人へ物置用として貸付

35・36号：2009(H21).4.1～社会福祉法人愛和福祉会に貸付

47号：1998(H10).4.14～個人に居宅用として貸付

64・65号：除却予定

74・75号：74号を2000(H12).9.1～2014(H26).1.31、75号を2014(H26).9.1～個人に貸付

84～87号：2009(H21).4.1～社会福祉法人愛和福祉会に貸付

126号：1998(H10).4.14～個人に物置用として貸付

211・212号：除却検討施設

3-12 病院施設【病院事業会計】（1施設1棟）



図 3-12 市立芦別病院

3-12-1 病院施設の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

表 3-12-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積 (m ²)	建築年度	耐用年数 (年)	老朽化率 (%)
本町	市立芦別病院	RC	12,574	S62	50	70

※RC=鉄筋コンクリート造

表 3-12-1-2 耐震化状況・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

地域区分	施設・建物名称	耐震基準 (新・旧)	耐震診断 (IS 値)・ 改修・計画	大規模改修 実施年度	大規模改修内容 ・その他
本町	市立芦別病院	新	—	H6 H7 H8 H9 H12 H16 H17 H19 H22 H23 H24 H26 H27 H29	身障者用便所改修 人工透析室・MRI室・循環器科・ 麻酔科増築 正面玄関ドア改修・厨房用ダムウ ーター改修 臨床検査室間仕切改修 中庭遊具整備 中央監視装置更新 人工透析室増床 院舎冷房装置 屋上防水保全 4階東棟改修・屋上防水保全 給食用エレベーター改修 蓄電池設備盤電池取替・ボイラー 1号缶煙管及びびすター管取替 電子カルテ電源整備工事 エレベーター改修工事

3-12-2 病院施設の施設・建物評価

表 3-12-2-1 施設・建物評価（各 5 段階、25 点満点）

2022 年(令和 4 年)3 月末現在

施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
市立芦別病院	5	3	1	5	3	17

市立芦別病院

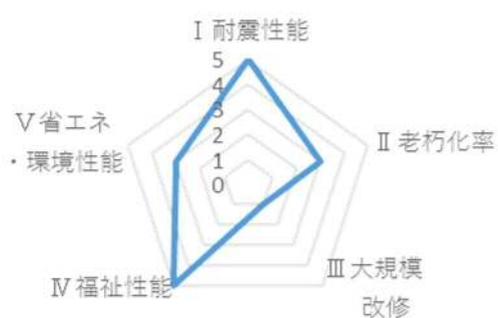


図 3-12-2-2 5 軸評価

3-12-3 病院施設のコスト状況

表 3-12-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	市立芦別病院	1,664,085	238,366	183,593	2,086,044	2,004,248	81,796	6,486

※ 行政コスト（2019年度(令和元年度)から2021年度(令和3年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-12-4 病院施設の利用状況

表 3-12-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間開館日数	利用時間(h/日)	延床面積(m ²)	2019(R1)～2021(R3)年間平均利用者数	1日平均利用者数	参考(2019(R1))	
							利用者数	1日平均利用者数
1	市立芦別病院	365	24	12,574	74,391	204	82,062	224

※平均利用者数は外来患者数を表す。

※コロナ禍における施設の休館等により利用者平均が適正でないため、コロナ禍前の2019年度(令和元年度)の状況を参考値として表示しています。

3-13 高齢福祉施設【介護サービス事業特別会計】（1施設1棟）

高齢福祉施設は、保健、医療及び福祉の総合的なサービスを一体的に提供する複合施設である保健福祉施設すばるがあります。



図 3-13 保健福祉施設すばる

3-13-1 高齢福祉施設（介護サービス事業特別会計）の耐震化状況・老朽化状況・大規模改修状況

表 3-13-1-1 建物基本情報・老朽化率

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	主体構造	延床面積 (m ²)	建築年度	耐用年数 (年)	老朽化率 (%)
1	本町	保健福祉施設すばる	RC	4,185	H9	50	50

注：RC=鉄筋コンクリート造

表 3-13-1-2 耐震・大規模改修情報

2023年(令和5年)3月末現在

	地域区分	施設・建物名称	耐震基準	耐震診断 (IS値)・ 改修・計画	大規模改修 実施年度	大規模改修内容・その他
1	本町	保健福祉施設すばる	新	実施済み	H16 H25 H26 H27	焼却炉整備工事・ボイラー- PHS等 屋上防水工事 厨房外調機等改修工事

3-13-2 高齢福祉施設（介護サービス事業特別会計）の施設・建物評価

表 3-13-2-1 施設・建物評価（各 5 段階 25 点満点）

2022 年(令和 4 年)3 月末現在

施設・建物名称	I 耐震性能	II 老朽化率	III 大規模改修	IV 福祉性能	V 省エネ・環境性能	計
保健福祉施設すばる	5	3	3	5	2	18

保健福祉施設すばる

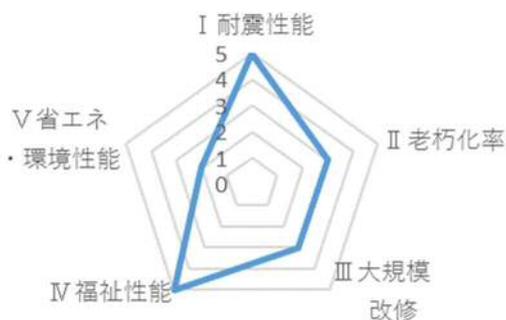


図 3-13-2-2 5 軸評価

3-13-3 高齢福祉施設（介護サービス事業特別会計）のコスト状況

表 3-13-3 コスト負担状況

単位：千円

	施設名称	行政コスト				使用料等の収入計	市の負担額	市民1人当たり負担額（円）
		事業運営コスト	施設保有コスト	その他	支出計			
1	保健福祉施設すばる	430	35,501	49,106	85,037	0	85,037	6,743

※ 行政コスト（2019 年度(令和元年度)から 2021 年度(令和 3 年度)までの平均)

事業運営コスト：人件費、施設運営委託料、指定管理委託料等

施設保有コスト：光熱水費、修繕費、施設管理委託料、保険料等

その他：公債費等

3-13-4 高齢福祉施設（介護サービス事業特別会計）の利用状況

表 3-13-4 利用状況基本情報

	施設・建物名称	年間 開館 日数	利用 時間 (h/日)	延床 面積 (m ²)	2019(R1) ～ 2021(R3) 年間平均 利用者数	1日平 均利用 者数	参考（2019(R1)）	
							利用者数	1日平 均利用 者数
1	保健福祉施設すばる	365	24	4,105	27,792	76	36,573	100

※コロナ禍における施設の休館等により利用者平均が適正でないため、コロナ禍前の2019年度（令和元年度）の状況を参考値として表示しています。

第4章 インフラ施設の現状と課題

本市が保有している主なインフラ施設は下表のとおりです。

表4 芦別市の主要なインフラ施設 2023年(令和5年)3月末現在

種別	主な施設	施設数	種別	主な施設	施設数
道路	道路	331km	上水道	管路	195km
	橋梁	70橋 1,719m		浄水場	2箇所
	舗装	207km		取水塔	1箇所
	街路樹 道路照明 道路標識等		下水道	管路	122km
公園	都市公園	42か所 639,433㎡		中継ポンプ施設	14箇所
	普通公園	14か所 355,092㎡	その他	農業施設、河川施設	

4-1 道路の現状と課題

(1) 現状

本市が管理している道路の種別は下表のとおりです。

表4-1-1 芦別市の道路種別 2023年(令和5年)3月末現在

道路種別	延長 (m)	面積(㎡)
1級市道	70,185	610,287
2級市道	81,590	595,819
その他の市道	179,392	1,100,798
一般道合計	331,167	2,306,904
自転車歩行者道	1,621	6,200

現在の市道延長は 333 km (独立自歩道を含む) あり、施設の老朽化や凍上によって舗装路面に凹凸が発生しているため、歩行者や車両の通行に支障をきたしている路線が数多くあります。快適、安全な道路環境の創出により、歩行者や車両等の円滑な運行と安全を確保するため、定期的な道路パトロールを実施し、経年劣化による損傷や凍結による凹凸の補修を計画的に進めるほか、高齢者や障がい者に配慮した車歩道の整備を進めています。

(2) 課題

- 改良済路線にもかかわらず舗装が整備されないなどの市道も存在しているため、早期の道路環境整備が必要です。また、歩行者や車両が安全に通行できる道路環境整備のため、路盤改良や道路施設の整備、舗装補修を計画的に進める必要があります。

- ・ 道路舗装の劣化状況の把握を行い、客観的な評価を行うことが必要です。（旧建設省において、道路管理者が路面状態を客観的な指標で捉えるように策定された基準値で MCI 値を参考に評価する¹方法もある。）道路利用者の安全確保と快適な利用のためには、車道舗装以外にも、歩道舗装、植樹帯（街路樹等の植栽）、排水施設、案内標識、防護柵、防雪柵、街路灯などの道路付属物や法面の安全施設（落石用ネットや吹付）の現状のデータ化やマップ化（各施設の分布状況や数量、設置・改良年度等）のうえ、状況を正確に把握する必要があります。
- ・ 災害及び緊急に対応できる体制づくりと計画的な維持補修を実施するためには、日常の巡回・点検に基づく保守を行い、破損や老朽化などへの対処を適切に行う必要があります。また、路面清掃や側溝清掃など道路環境美化のための適切な維持管理も計画的に進める必要があります。

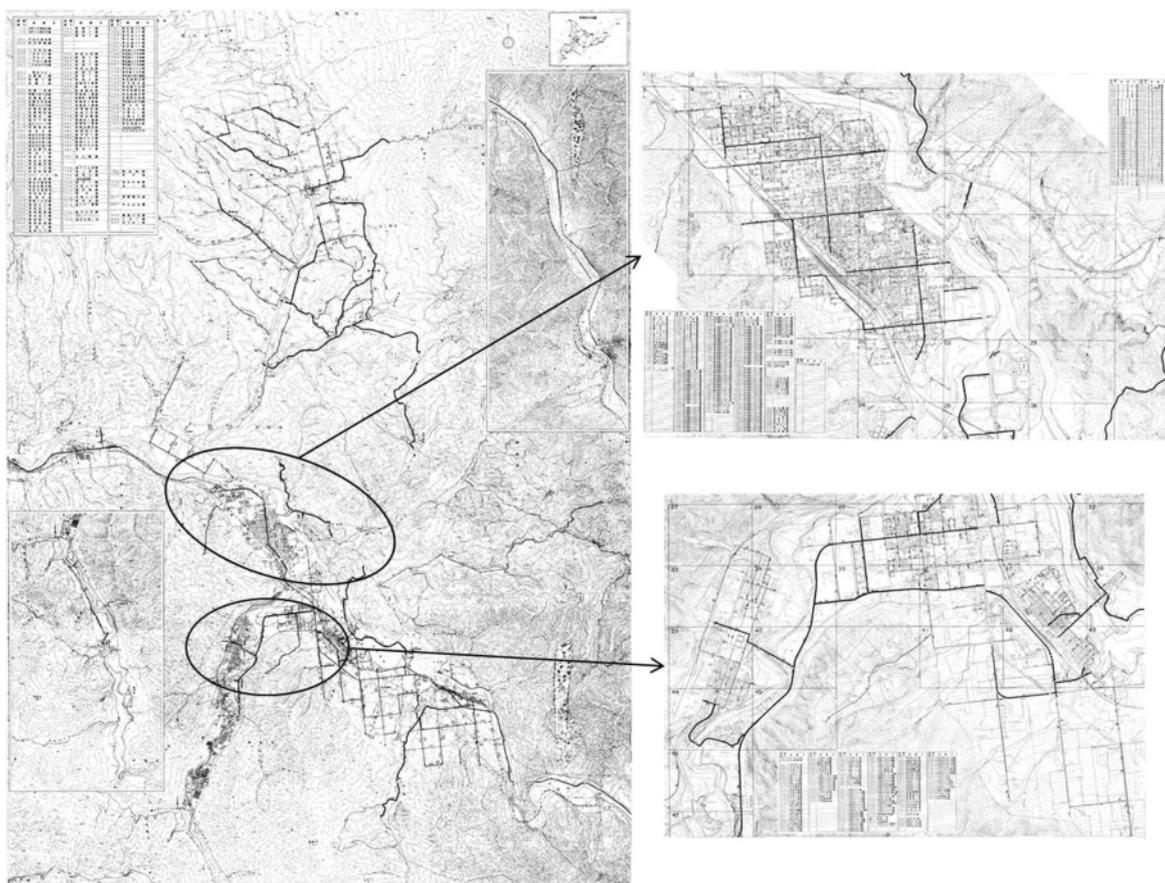


図 4-1-2 市道の道路網図

¹ MCI 値の評価の目安は、「MCI 3.0 以下：すぐに補修が必要、MCI 4.0 以下：補修が必要、MCI 5.0 以下：すぐに補修は必要ないが経過観察が必要、MCI 5.1 以上：問題なし」とされています。

4-2 橋梁の現状と課題

(1) 現状

現在、本市が管理する道路橋は 70 橋ですが、1970 年～1980 年代(昭和 40 年代半ば～平成元年頃)に多く建設され、既に建設後 50 年を経過している高齢化橋梁が 11 橋（15.7%）存在しています。さらに 20 年を経過すると 49 橋となり、その割合が全体の 70%を占めるようになり、老朽橋梁が急速に増加していくため、車両及び歩行者の通行の安全確保が求められています。

(2) 課題

歩行者や車両が安全に通行できる橋梁整備のため、2021 年(令和 3 年)3 月に策定した橋梁長寿命化計画において、各橋梁の部位毎の健全度の評価を行っています。この健全度評価結果と橋梁の重要度や管理手法により、耐用年数を橋梁の個別に定め、補修、架替えの年次計画を早急に作成しなければなりません。財政負担の平準化を図りながら予算化を進め、維持補修により橋梁の延命と安全を確保する必要があります。

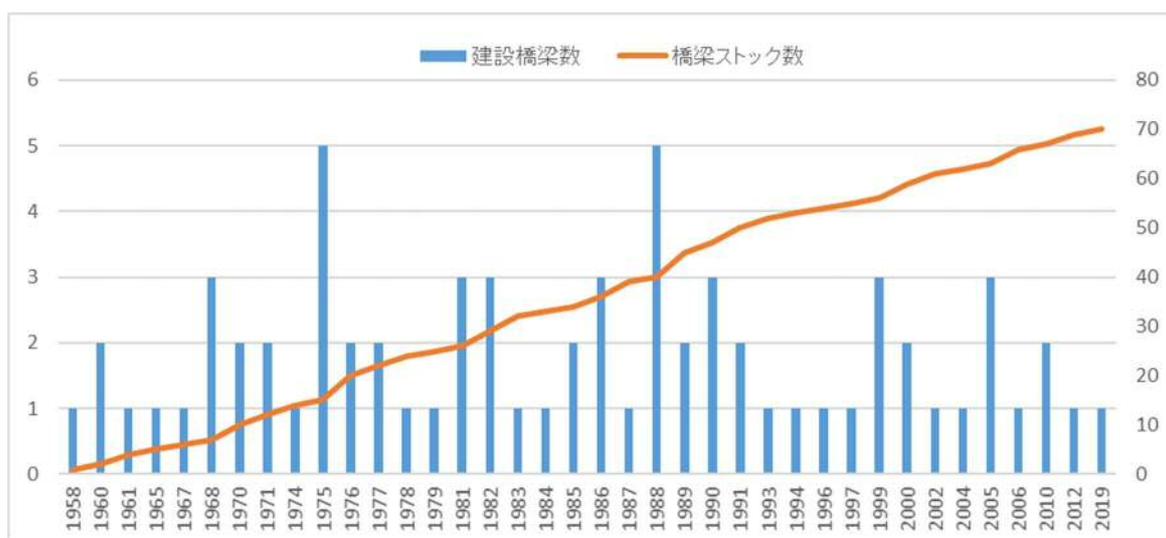


図 4-2-1 橋梁の建設年度分布（2021 年(令和 3 年)3 月に作成した芦別市橋梁長寿命化計画より）

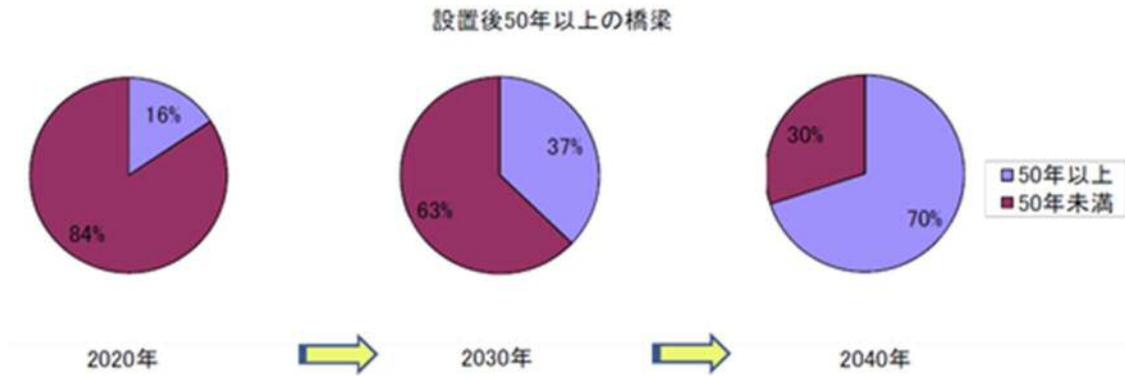


図 4-2-2 建設後 50 年以上の橋梁比率 (2021 年(令和 3 年)3 月に作成した芦別市橋梁長寿命化計画より)

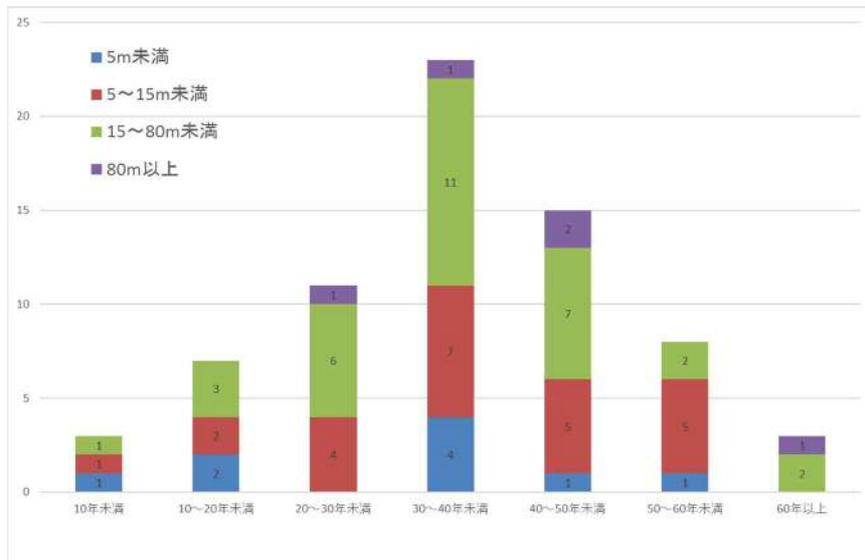


図 4-2-3 経過年数別、橋長別の橋梁数 (2021 年(令和 3 年)3 月に作成した芦別市橋梁長寿命化計画より)

現在の橋梁ストックを経過年次及び現在の橋梁管理手法から予測した耐用年数によって、将来架替えを行う年度を予測すると下表のようにその数が分布します。耐用年数が異なることから架替えを行わない年度がある中、多い年度には 6 橋の架替えが必要となります。

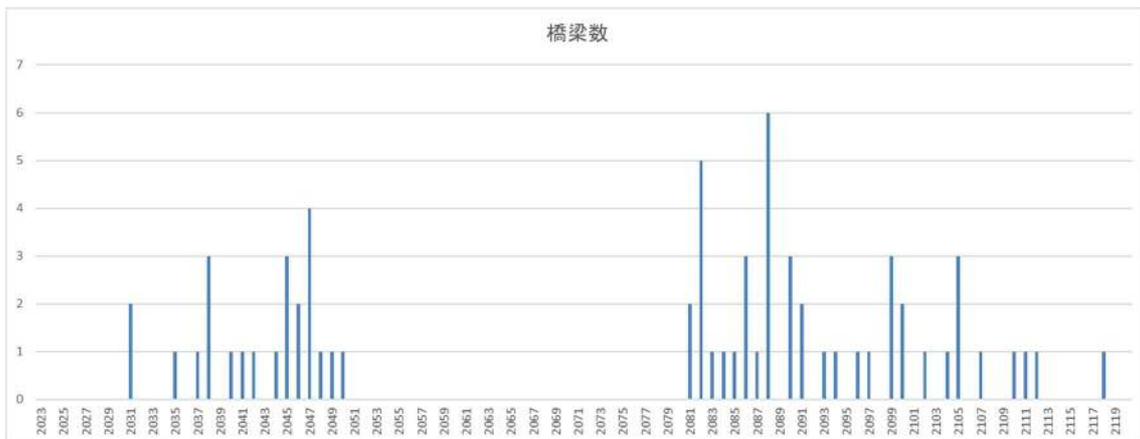


図 4-2-4 年度別将来架替え予測橋梁数 (2021 年(令和 3 年)3 月に作成した芦別市橋梁長寿命化計画より)

4-3 上水道の現状と課題

(1) 現状

1973年度(昭和48年度)に創設された本市の水道事業は、2013年度(平成25年度)に水道事業と統合になった2つの簡易水道事業(新城町簡易水道・西芦別地区簡易水道)を含めて、水源の状況や水道法における水質基準の強化に対して、水道施設の改良・更新などハード面の整備や監視体制などソフト面の強化を行いながら、安全な水道水の安定供給をしてきました。

2022年度(令和4年度)末においては、管路延長が約195km、仕切弁設置数約2,600個、メータ設置数約7,000個など膨大な水道施設の情報があり、これらは水道管理システムにより一元的な管理をしています。

また、水道水については、検査機器(水質監視モニター)を給水末端に設置し、24時間常時監視しています。

空知川の水質保全については、滝里ダム上下流域の関係機関による「北海道一級河川環境保全連絡協議会石狩川下流部会空知川水質分科会」を設置し、水質の調査や汚濁防止対策の検討を行っています。さらに、滝里ダム湖では、浄水処理に影響を及ぼす植物性プランクトンの増殖を抑制する目的で曝気循環装置を設置し、水質保全を図っています。

イルムケップ山の伏流水については、「北海道水資源の保全に関する条例」により、水源周辺地域を水資源保全地域に指定して、伏流水の汚濁防止と周辺環境の保全に努めています。

現在の芦別浄水場(急速ろ過方式)は、1974年度(昭和49年度)から1981年度(昭和56年度)の間に実施された芦別市第1次拡張事業で建て替えられた施設で、計画日最大給水量10,000立方メートル、計画給水人口25,200人規模の浄水場です。また、西芦別浄水場(急速ろ過方式)は、1994年度(平成6年度)から1999年度(平成11年度)にかけて建設を行い、1999年(平成11年)4月からの運営開始により、西芦別地区、頼城地区へ良質な水を供給し、計画日最大給水量2,094立方メートル、計画給水人口4,890人規模の浄水場です。

管渠の管理では、上水道給配水管に潜在している漏水を発見・抑制するために調査を実施し、漏水した部分の管を切断・撤去して、新しい管でつなぎ直しています。これにより有収率(浄水場で作られた水量に対する料金をいただいた水の割合)の向上を目指しています。

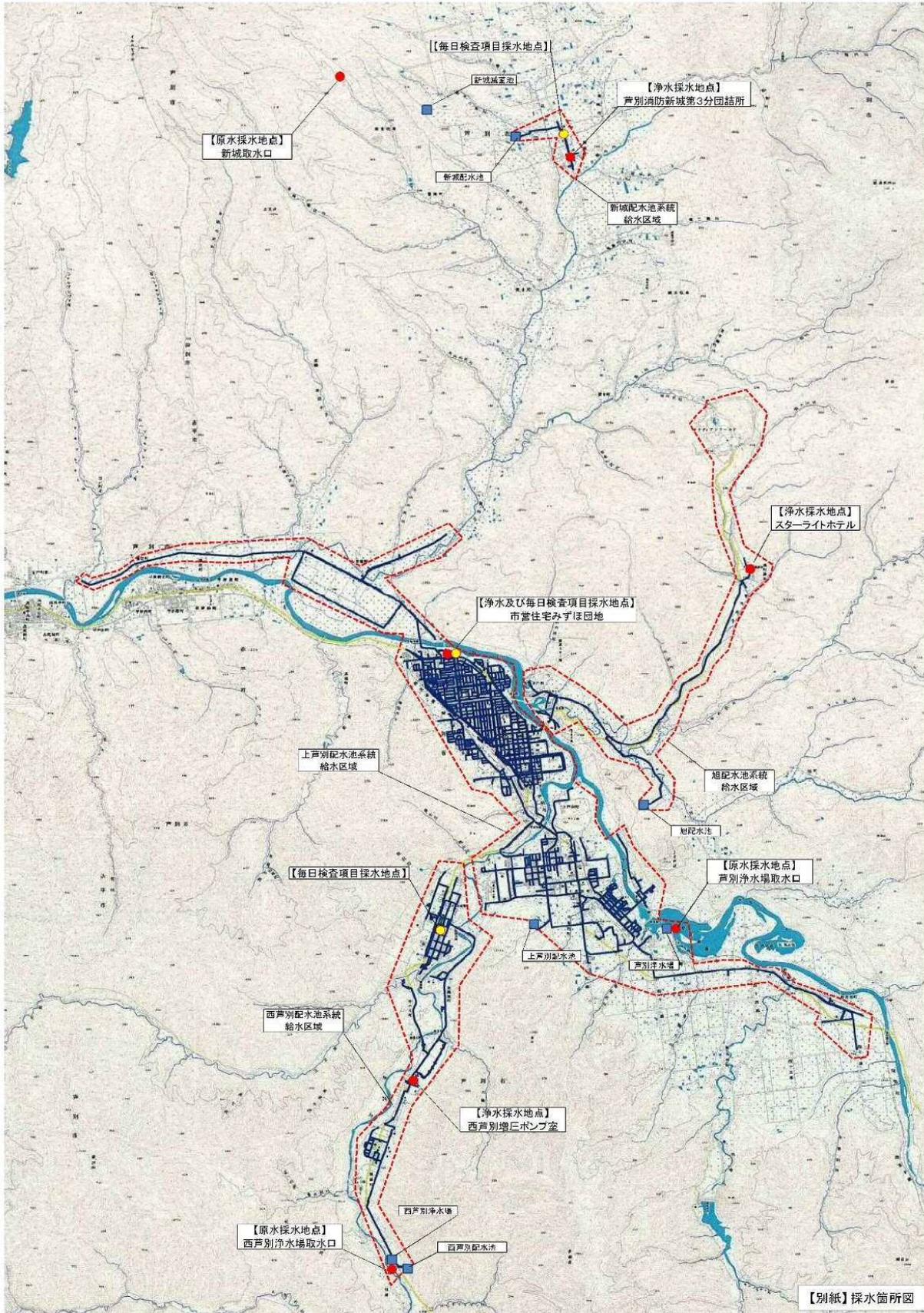


図 4-3-1 水質検査採水箇所図 (芦別市水道ビジョンより)

(2) 課題

本市は「芦別市水道ビジョン（2020年(令和2年)3月）」を策定し、安全で良質な水道水を安定的に供給できる「持続可能な水道事業」を目指しています。今後、引き続き長期的かつ安定的な上水道サービスを提供していくためには、老朽化した上水道管渠、水処理施設、配水池などの施設について、状態を適切に把握し、費用対効果等を検証したうえで、計画的に長寿命化又は更新による耐震化を進めることにより、財政負担の縮減・平準化と耐震化を図り、今後も長期的かつ安定的な上水道サービスを提供することが求められます。

表 4-3-2 管種別延長と耐震化率（2023年(令和5年)3月末現在）

	管路延長 (m)	耐震化済み 管路延長 (m)	耐震化率 (%)
導水管	2,363.2	0	0.0
送水管	8,989.8	4,413.8	49.1
配水本管	0	0	0.0
基幹管路のみ 計	11,353	4,413.8	38.9
配水支管	184,052.5	34,680.7	18.8
全管路 計	195,405.5	39,094.5	20.0

表 4-3-3 浄水場等の概要

名称	水源等	処理方式	処理能力
芦別浄水場	空知川（野花南ダム）表流水	急速ろ過方式	10,000m ³ /日
西芦別浄水場	芦別川表流水	急速ろ過方式	2,094m ³ /日
新城取水塔	イルムケツ山伏流水	滅菌処理	69m ³ /日

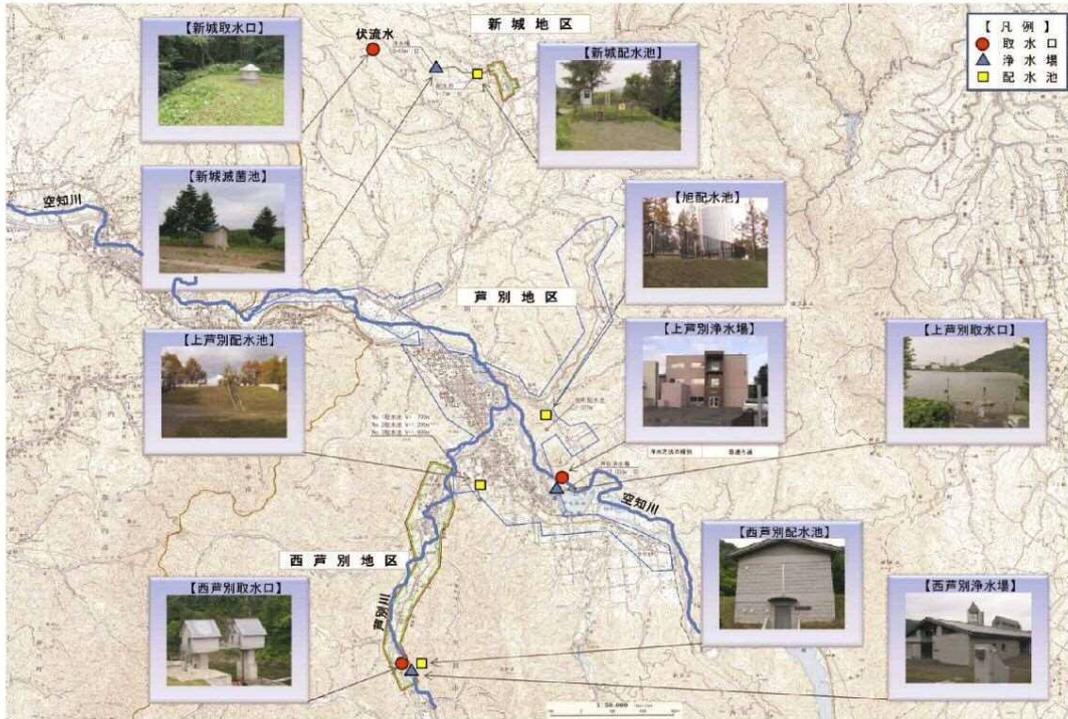


図 4-3-4 水道施設配置図（芦別市水道ビジョンより）

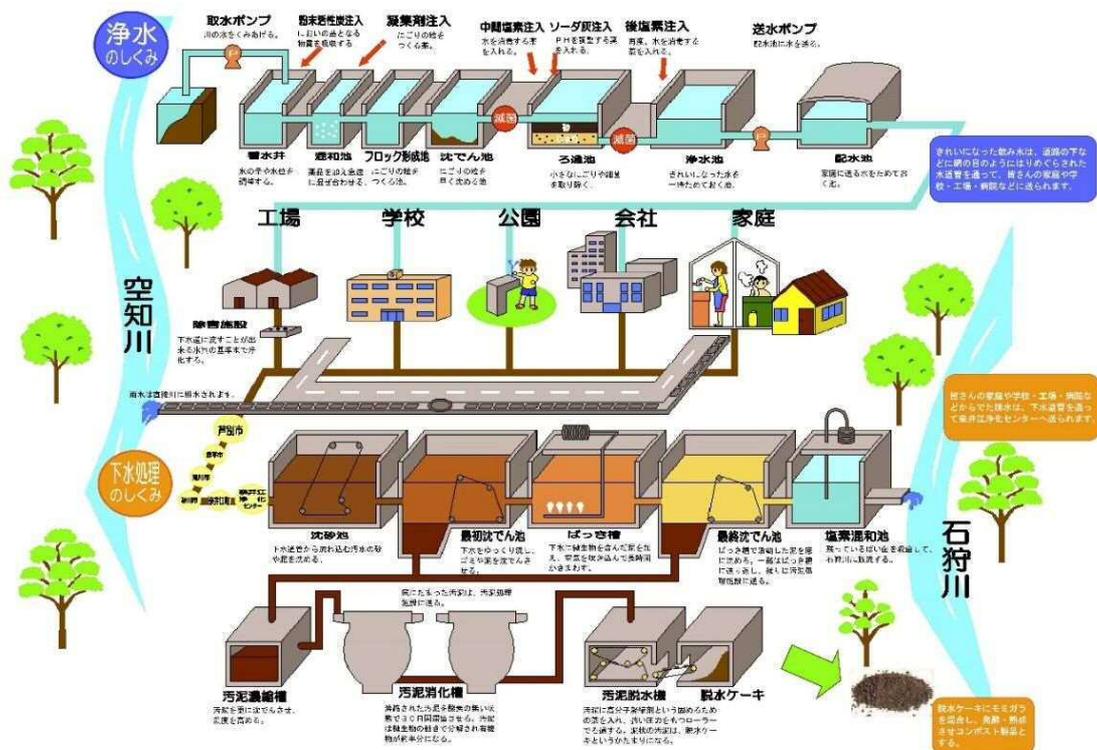


図 4-3-5 芦別市の浄水と下水処理の仕組み（パンフレット「芦別の銘水」より）

4-4 下水道の現状と課題

(1) 現状

本市の下水道は、石狩川流域下水道関連公共下水道として、1980年度(昭和55年度)より建設事業に着手、1992年度(平成4年度)に一部を供用開始しており、汚水の収集、処理、雨水の排除等、生活環境の向上改善、公共水域の保全を担う重要な役割を果たしてきました。しかし、整備率が向上する一方、人口の減少により使用料が減少するなど、財政面は一段と厳しさを増している状況です。2010年度(平成22年度)における整備率は97.9%、普及率は83.8%に達し、2010年度(平成22年度)に施工した「上芦別町駅西地区」の工事をもって、認可計画区域内の整備はほぼ完了しました。(整備後面積744.6ha)

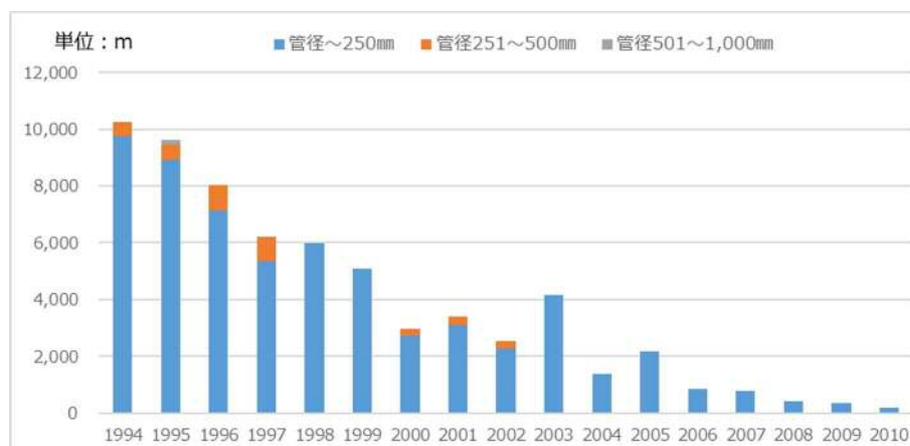


図4-4-1 下水道管径別整備状況(2010年度(平成22年度)末)

また、2022年度(令和4年度)末においては、管路延長約122km、マンホール設置数約2,700個、公共汚水柵設置数約7,700個など膨大な下水道施設の情報があり、これらは下水道管理システムにより一元的な管理をしています。

下水道施設の機能保持と使用期間の延命を目的に実施しており、異常箇所の早期発見をしています。時には、下水道管渠の中に自走式のテレビカメラを入れ、管内の破損や浸入水の調査のほか、マンホール周辺の舗装が破損した部分にパッチングをして、破損の広がりや段差の解消を行っています。



図4-4-2 下水道管の洗浄イメージ図

(2) 課題

2011年度(平成23年度)から整備事業が休止となり、今後は老朽化した管路施設に対する更新、改築が必要であることから、維持管理事業を計画的に行うとともに、更新投資をいかに効率的かつ計画的に行い安定した経営状態を維持していくかが課題となってきます。

2017年(平成29年)1月に、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画である芦別市流域関連公共下水道事業経営戦略(2016年度(平成28年度)～2025年度(令和7年度))を策定し、今後の施設・設備更新を踏まえた財源見通しを試算して、収支を均衡させた経営基盤の強化と、財政マネジメントの向上に取り組むこととしてきましたが、人口の減少による使用料減収は避けられず、財政面での厳しさが増している状況です。

このようなことから、公営企業法の適用化に伴う資産管理を適切に行い、マンホールポンプ所保守点検や管路施設調査清掃等、下水道施設の計画的な点検、調査を実施し、修繕等について補修個所の早期発見、早期対処により、施設の老朽化等に対応する長寿命化を図り、将来の事業環境を予測した各施設の効率的な更新時期を判断していく必要があります。

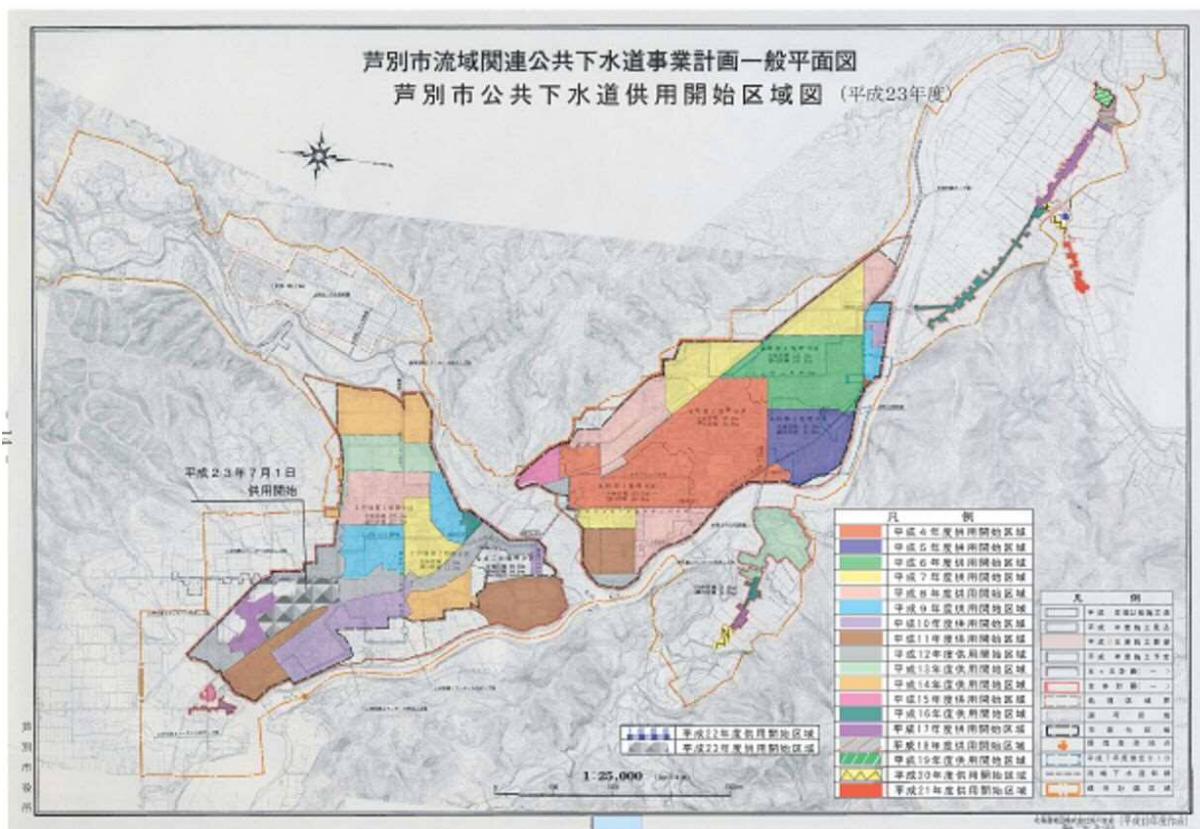


図4-4-3 芦別市公共下水道供用開始区域図 (2011年度(平成23年度)供用開始区域図面より)

4-5 公園の現状と課題

(1) 現状

2021年度(令和3年度)末における公園管理総数は56公園あり、都市公園が42か所と普通公園が14か所(うち上芦別公園は重複)となっています。そのうち7割以上は整備後30年以上が経過しており、その施設や遊具が老朽化している状況です。

都市公園内訳：街区公園35か所114,336㎡、近隣公園4か所56,586㎡、運動公園1か所212,499㎡、風致公園1か所49,622㎡、総合公園1か所206,390㎡
普通公園内訳：健民センター公園254,029㎡、上芦別公園12,781㎡、黄金水松公園6,593㎡
他11か所81,689㎡

公園施設の種類の現況

- ア 遊戯施設と休養施設(遊具、砂場、あずま屋、ベンチ等) …有資格者による点検・修繕の実施
- イ 便益施設(トイレ、水飲み場等) …下水道区域以外のトイレ施設の老朽化が著しい。
- ウ 管理施設(駐車場、柵、園名板、照明等) …老朽化により今後大規模な補修が必要
- エ 修景施設(公園樹、芝生、花壇、つき山等) …公園樹の高木化で見通しが悪く剪定が必要

(2) 課題

多くの方が憩いの場として安心して利用し集える公園として維持するため、上記のとおり、安全な遊具の維持管理、日常の安全点検及び樹木の剪定などを実施することが課題となっています。

なお、「芦別市公園施設長寿命化計画」(2014年(平成26年)3月策定)及び「芦別市都市公園再整備計画」(2014年(平成26年)3月策定、2019年(平成31年)3月改訂)に基づき、施設・遊具の補修や花木の植栽等の整備を行うとともに、地域の実情に合わせ廃止を含めた公園のあり方を検討する必要があります。

第5章 地域別の状況

5-1 地域別の概要

本市は非常に広大な面積を所有しており、地域による条件によって20の地域に区分することができます。本章では、それぞれの生活圏における公共施設に関する現状及び課題の把握を行います。

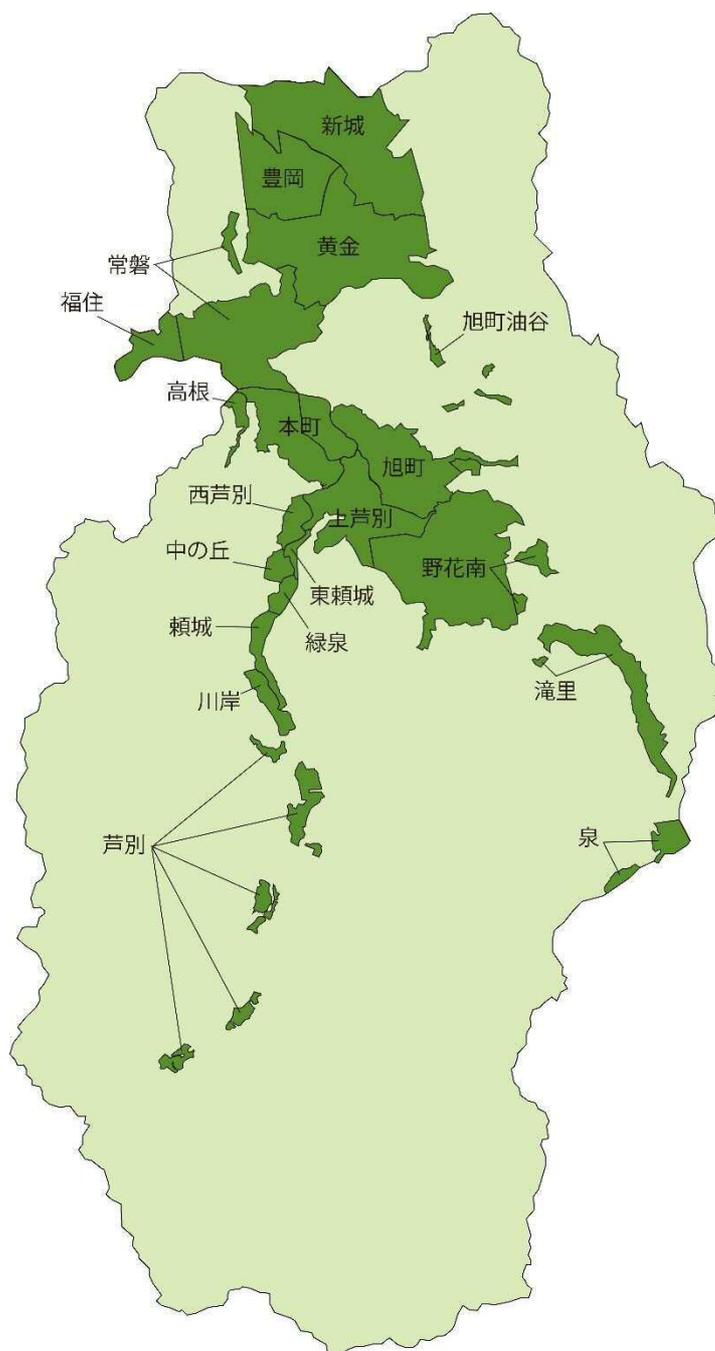


図5-1 本市の地域区分

5-2 地域別人口

下図は本市の人口の分布を表しています。2020年度(令和2年度)に行った国勢調査による人口は、本町地区が7,853人、上芦別地区が2,830人と二つの地区に集中しており、両地区で市の人口の約85%を占めています。

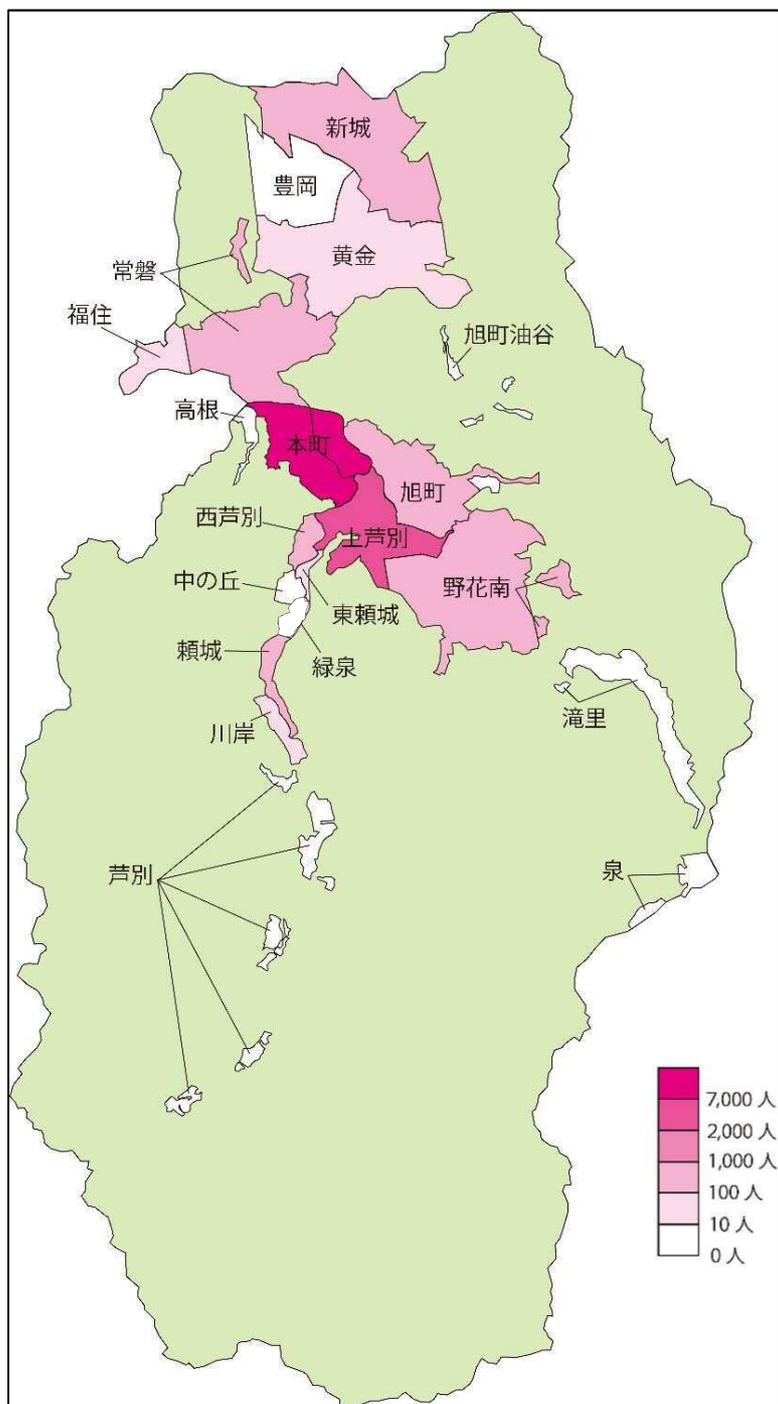


図5-2 本市の地域別人口数の分布

5-3 地域別施設設置状況

5-3-1 地域別施設設置状況

下表は地域別の施設数、延べ床面積、人口、人口一人当たりの公共施設の延べ床面積を示したものです。

施設数は本町地区、西芦別地区が多く、次いで上芦別地区、黄金地区となっています。延べ床面積は本町地区が最も多く、次いで上芦別地区、西芦別地区となっています。

人口一人当たりの公共施設の延べ床面積の市全体の平均は19.7㎡ですが、西芦別地区では、公営住宅の戸数が多く一人当たり129.4㎡と大きいほか、旭町油谷地区の数値は人口が少ないにもかかわらず、レクリエーション系施設を保有するため、一人当たり1,227.8㎡と大きくなっています。

なお、緑泉地区、泉地区、福住地区、高根地区、中の丘地区、川岸地区、東頼城町地区及び芦別地区には公共施設を設置していません。

表5-3-1 地域別公共施設の延べ床面積と人口

地区名	施設数（棟）	延べ床面積（㎡）	人口（人）	人口一人当たりの延べ床面積（㎡）
旭町	10	2,072	499	4.2
旭町油谷	14	11,050	9	1,227.8
黄金	28	6,892	70	98.5
上芦別	41	30,948	2,830	10.9
常磐	4	3,027	308	9.8
新城	3	2,588	194	13.3
西芦別	82	30,801	238	129.4
滝里	7	661	-	-
本町	164	143,628	7,853	18.3
野花南	3	840	329	2.6
頼城	27	9,523	115	82.8
緑泉	-	-	9	-
泉	-	-	X	-
豊岡	10	4,788	X	-
福住	-	-	43	-
高根	-	-	-	-
中の丘	-	-	X	-
川岸	-	-	30	-
東頼城	-	-	28	-
芦別	-	-	X	-
合計	393(12地区)	246,818	12,555	19.7

※施設棟数及び床面積は2023年(令和5年)3月末現在値、人口は2020年(令和2年)国勢調査結果を使用

※Xは、人口が著しく低いため秘匿地域として公開されていない。(人口は他の地域に合算されている。)

5-3-2 地域別用途分類別施設設置状況

下表は地域別に、各用途分類別の施設数を示したものです。市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、行政系施設は多くの地域に設置されています。

表5-3-2 地域別用途別施設数

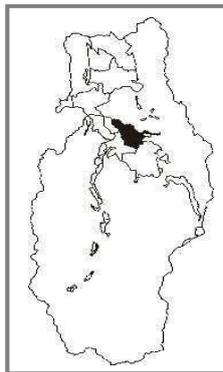
2023年(令和5年)3月末現在

地区名	市民文化系施設	社会教育系施設	スポーツ・レクリエーション系施設	学校教育系施設	子育て支援施設	保健・福祉系施設	行政系施設	公園	供給処理施設	その他	病院施設	高齢福祉施設	公営住宅	遊休・貸付等施設	合計
旭町	-	-	1	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	5	10
旭町油谷	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14
黄金	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	28
上芦別	3	-	10	5	-	-	1	1	-	3	-	-	13	5	41
常磐	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4
新城	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
西芦別	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	80	-	82
滝里	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
本町	2	2	4	11	2	3	6	-	1	16	1	1	98	17	164
野花南	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
頼城	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	24	-	27
緑泉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
泉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
豊岡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10
福住	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
高根	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
中の丘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
川岸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
東頼城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
芦別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
合計	11	4	33	16	2	3	11	4	2	21	1	1	215	69	393

5-3-3 地域別市有施設の状況

(1) 旭町

旭町地区の公共施設の延べ床面積は 2,072 m²です。用途分類別では閉鎖したスキー場等の遊休貸付等施設が全体の 69%、次にごみ処理センターが 18%、旭ヶ丘公園が 10%となっています。



マーク	用途分類	施設数	延床面積 (m ²)
○	市民文化系施設	0	0
◎	社会教育系施設	0	0
△	スポーツ・レクリエーション系施設	1	74
▽	学校教育系施設	0	0
□	子育て支援施設	0	0
◎	保健・福祉系施設	0	0
◇	行政系施設	0	0
◆	公園	3	202
☆	供給処理施設	1	374
■	その他	0	0
☒	病院施設	0	0
+	高齢福祉施設	0	0
✿	公営住宅	0	0
●	遊休・貸付等施設	5	1,422
■	インフラ系施設	-	-
合 計		10	2,072

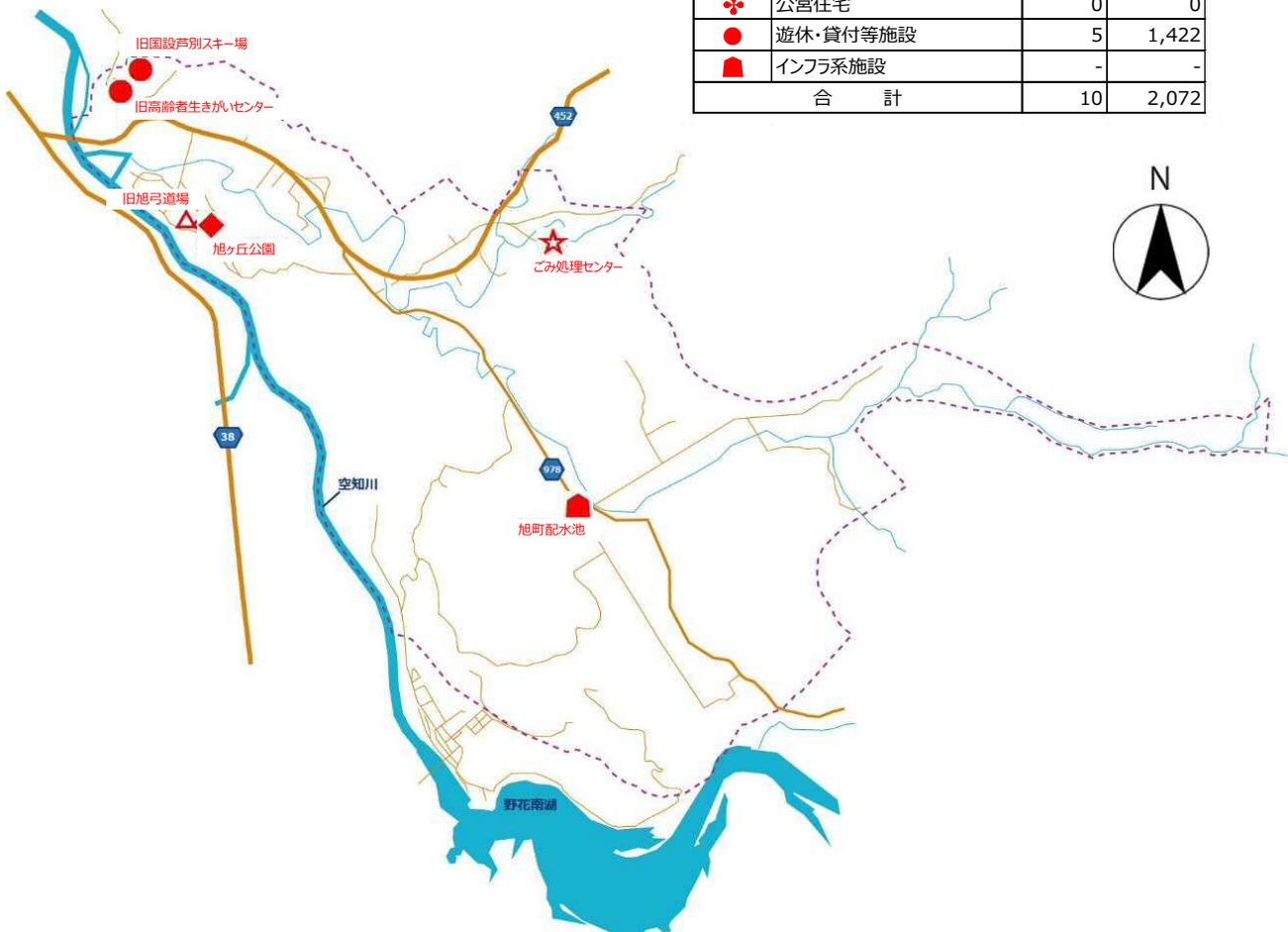


図 5-3-3-1 主要な公共施設等の配置図 (旭町地区)

(2) 旭町油谷

旭町油谷地区の公共施設の延べ床面積は 11,050 m²であり、用途分類別ではスポーツ・レクリエーション系施設が 95%を占めています。

当地域には芦別温泉やスターライトホテルといった温泉宿泊施設や旧健民センターオートキャンプ場を活用した民間によるグランピング施設が設置され、観光客や家族連れが楽しめるレジャー地域となっているほか、体育館やトレーニングハウスなどの施設も設置され、合宿所などの用途にも適応しています。

また、スターライトホテルを中心にした施設の暖房・給湯の熱源として、木質チップボイラーを導入した地域でもあります。

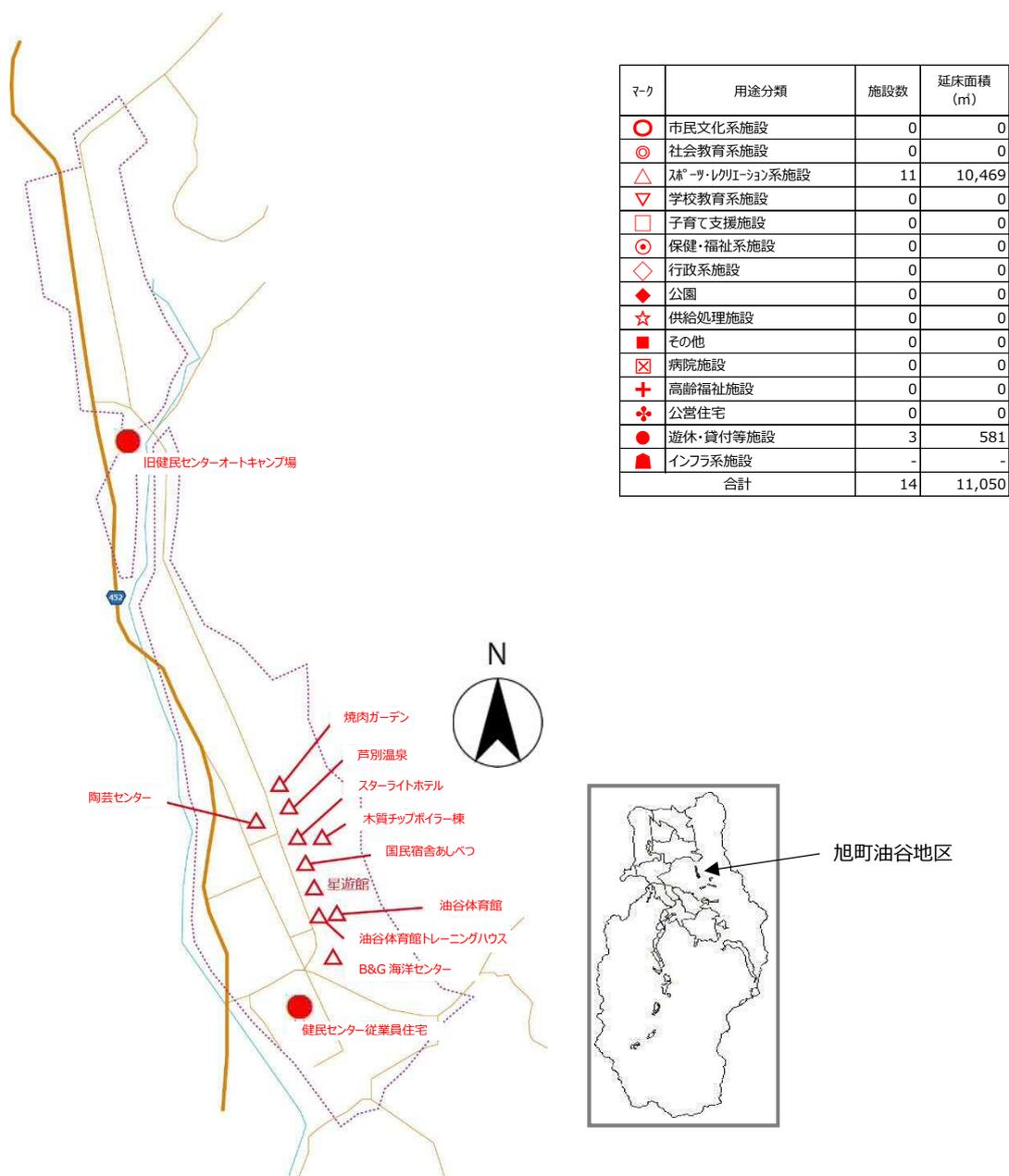


図 5-3-3-2 主要な公共施設等の配置図 (旭町油谷地区)

(3) 黄金

黄金地区の公共施設の延べ床面積は 6,892 m²であり、用途分類別では閉鎖した旧カナディアンワールド公園が 75%を占めています。

旧カナディアンワールド公園は、閉鎖後に民間団体へ土地と建物を無償貸付し、2020 年度(令和 2 年度)から運営が再開されています。



マーク	用途分類	施設数	延床面積 (m ²)
○	市民文化系施設	1	330
◎	社会教育系施設	1	1,402
△	スポーツ・レクリエーション系施設	0	0
▽	学校教育系施設	0	0
□	子育て支援施設	0	0
◎	保健・福祉系施設	0	0
◇	行政系施設	0	0
◆	公園	0	0
☆	供給処理施設	0	0
■	その他	0	0
☒	病院施設	0	0
+	高齢福祉施設	0	0
+	公営住宅	0	0
●	遊休・貸付等施設	26	5,160
■	インフラ系施設	-	-
合計		28	6,892

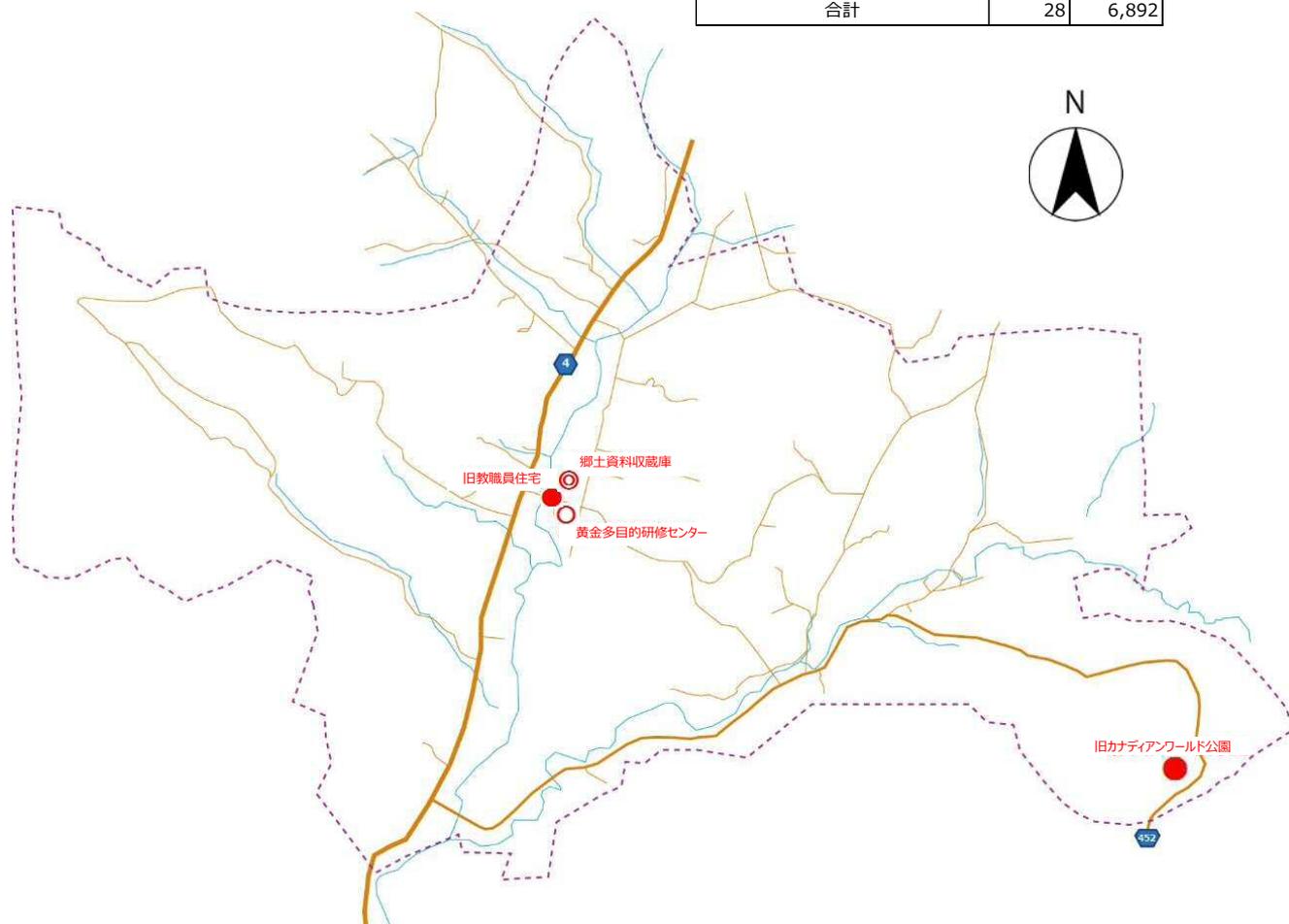
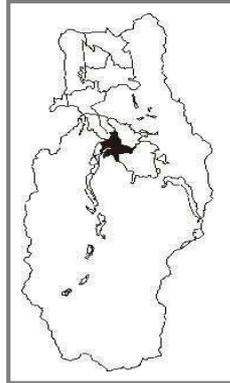


図 5-3-3-3 主要な公共施設等の配置図 (黄金地区)

(4) 上芦別

上芦別地区の公共施設の延べ床面積は 30,948 m²であり、各用途の施設が一通り設置されています。分類別の割合では小中学校教育系施設が 33%を占めており、次になまこ山総合運動公園をメインとするスポーツ・レクリエーション系施設が 32%となっています。



マーク	用途分類	施設数	延床面積 (m ²)
○	市民文化系施設	3	1,208
◎	社会教育系施設	0	0
△	スポーツ・レクリエーション系施設	10	10,110
▽	学校教育系施設	5	10,328
□	子育て支援施設	0	0
⊙	保健・福祉系施設	0	0
◇	行政系施設	1	198
◆	公園	1	50
☆	供給処理施設	0	0
■	その他	3	325
☒	病院施設	0	0
+	高齢福祉施設	0	0
✿	公営住宅	13	6,200
●	遊休・貸付等施設	5	2,529
■	インフラ施設	-	-
合計		41	30,948

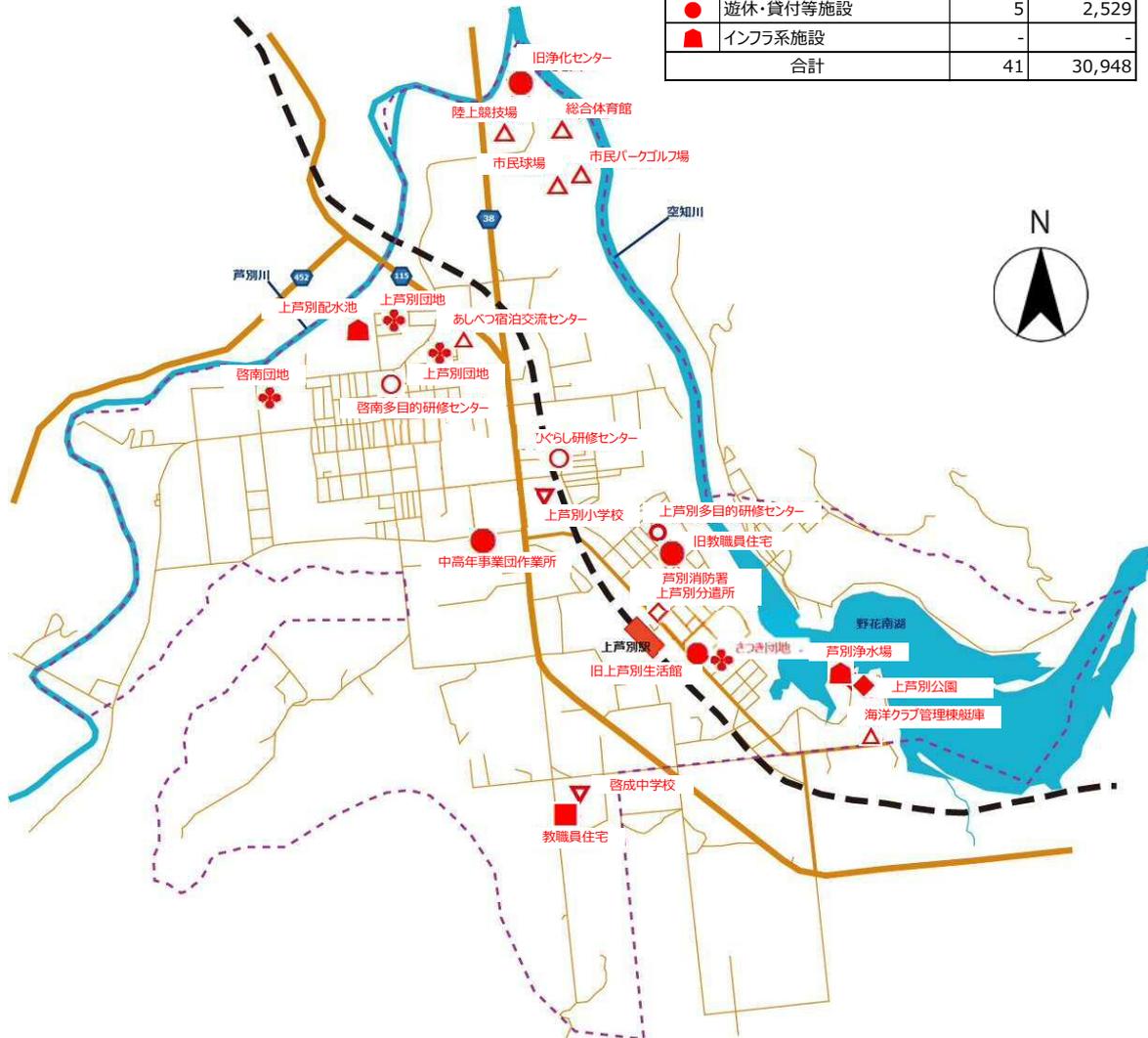
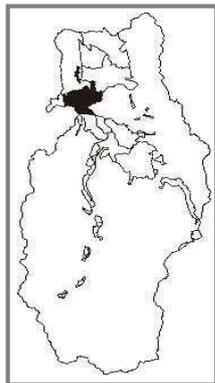


図 5-3-3-4 主要な公共施設等の配置図（上芦別地区）

(5) 常磐

常磐地区の公共施設の延べ床面積は 3,027 m²であり、旧常磐小学校がその内の 84%を占めています。



マーク	用途分類	施設数	延床面積 (m ²)
○	市民文化系施設	1	358
◎	社会教育系施設	1	57
△	スポーツ・レクリエーション系施設	0	0
▽	学校教育系施設	0	0
□	子育て支援施設	0	0
⊙	保健・福祉系施設	0	0
◇	行政系施設	1	74
◆	公園施設	0	0
☆	供給処理施設	0	0
■	その他	0	0
⊠	病院施設	0	0
+	高齢福祉施設	0	0
⊕	公営住宅	0	0
●	遊休・貸付等施設	1	2,538
■	インフラ系施設	-	-
合計		4	3,027

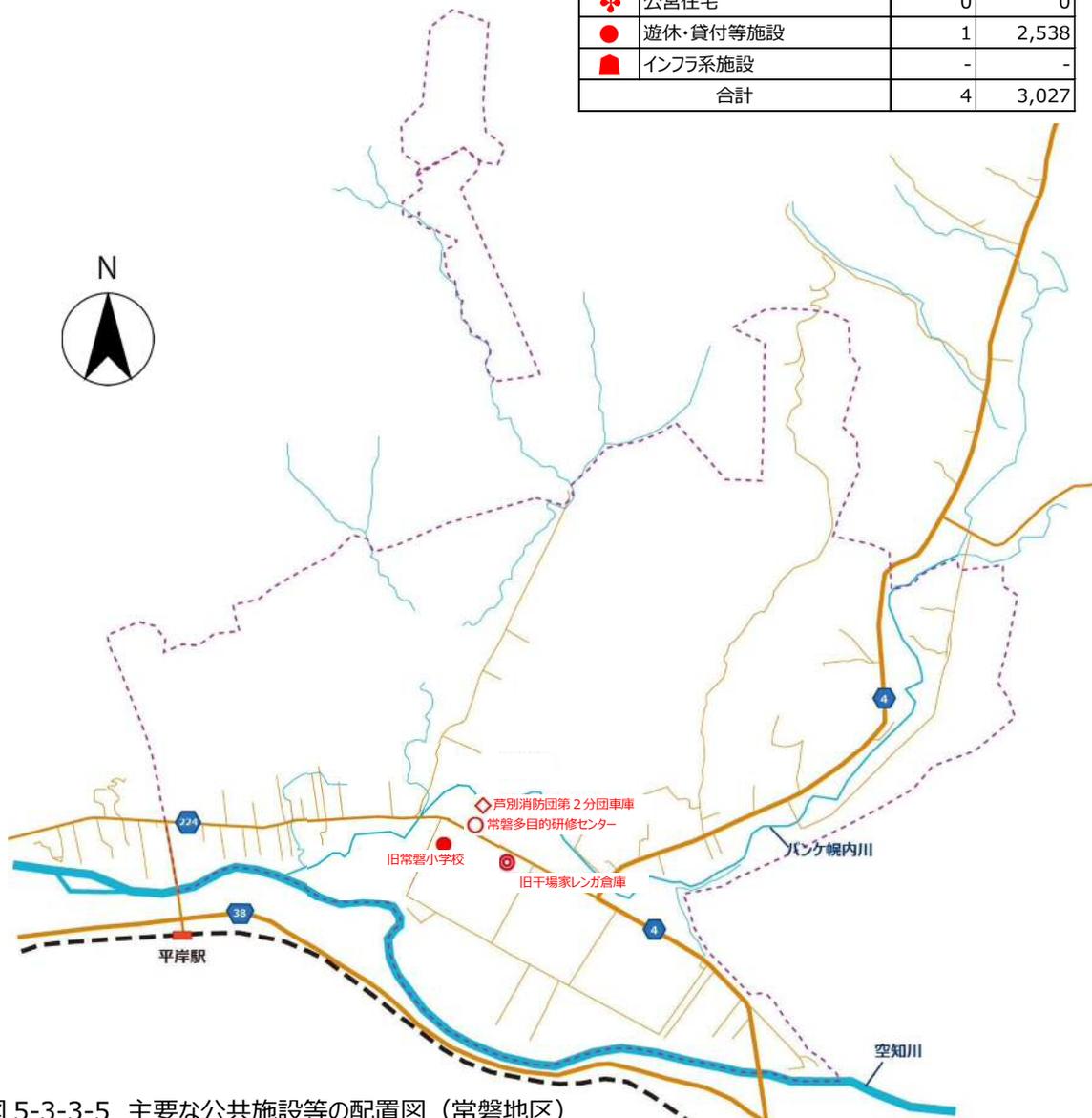
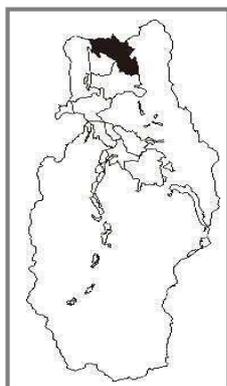


図 5-3-3-5 主要な公共施設等の配置図 (常磐地区)

(6) 新城

新城地区の公共施設の延べ床面積は 2,588 m²です。用途分類別では市民文化系施設が 95% を占めており、多目的研修センターと芸術文化交流館の 2 つの施設が隣接して設置されています。



マーク	用途分類	施設数	延床面積 (m ²)
○	市民文化系施設	2	2,448
◎	社会教育系施設	0	0
△	林・ツ・レクリエーション系施設	0	0
▽	学校教育系施設	0	0
□	子育て支援施設	0	0
◎	保健・福祉系施設	0	0
◇	行政系施設	1	140
◆	公園	0	0
☆	供給処理施設	0	0
■	その他	0	0
☒	病院施設	0	0
+	高齢福祉施設	0	0
✿	公営住宅	0	0
●	遊休・貸付等施設	0	0
■	インフラ系施設	-	-
合計		3	2,588

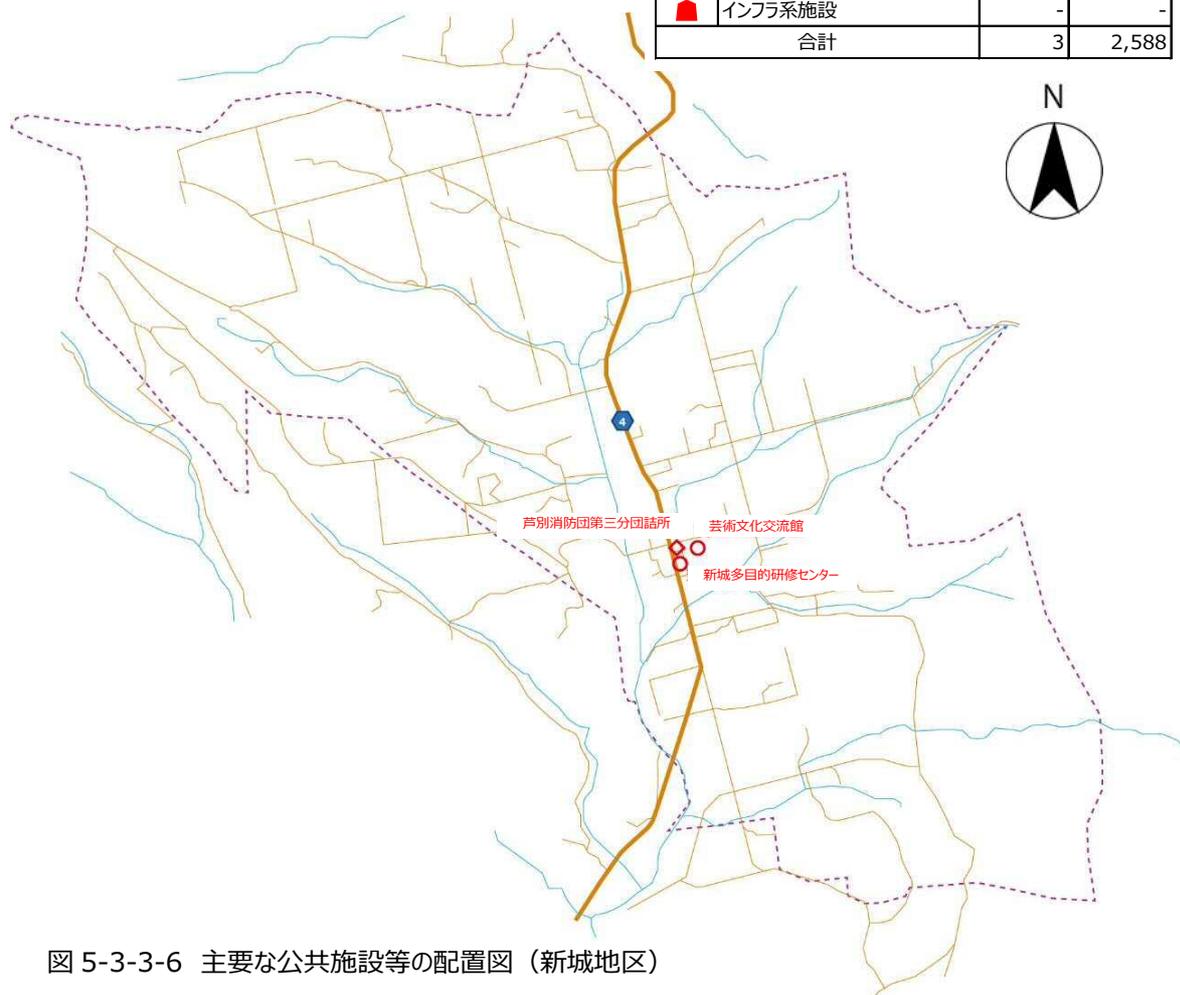


図 5-3-3-6 主要な公共施設等の配置図 (新城地区)

(7) 西芦別

西芦別地区の公共施設の延べ床面積は 30,801 m²です。用途分類別では公営住宅がその内の98%を占め、その他施設として共同浴場、行政系施設として消防分団詰所があります。

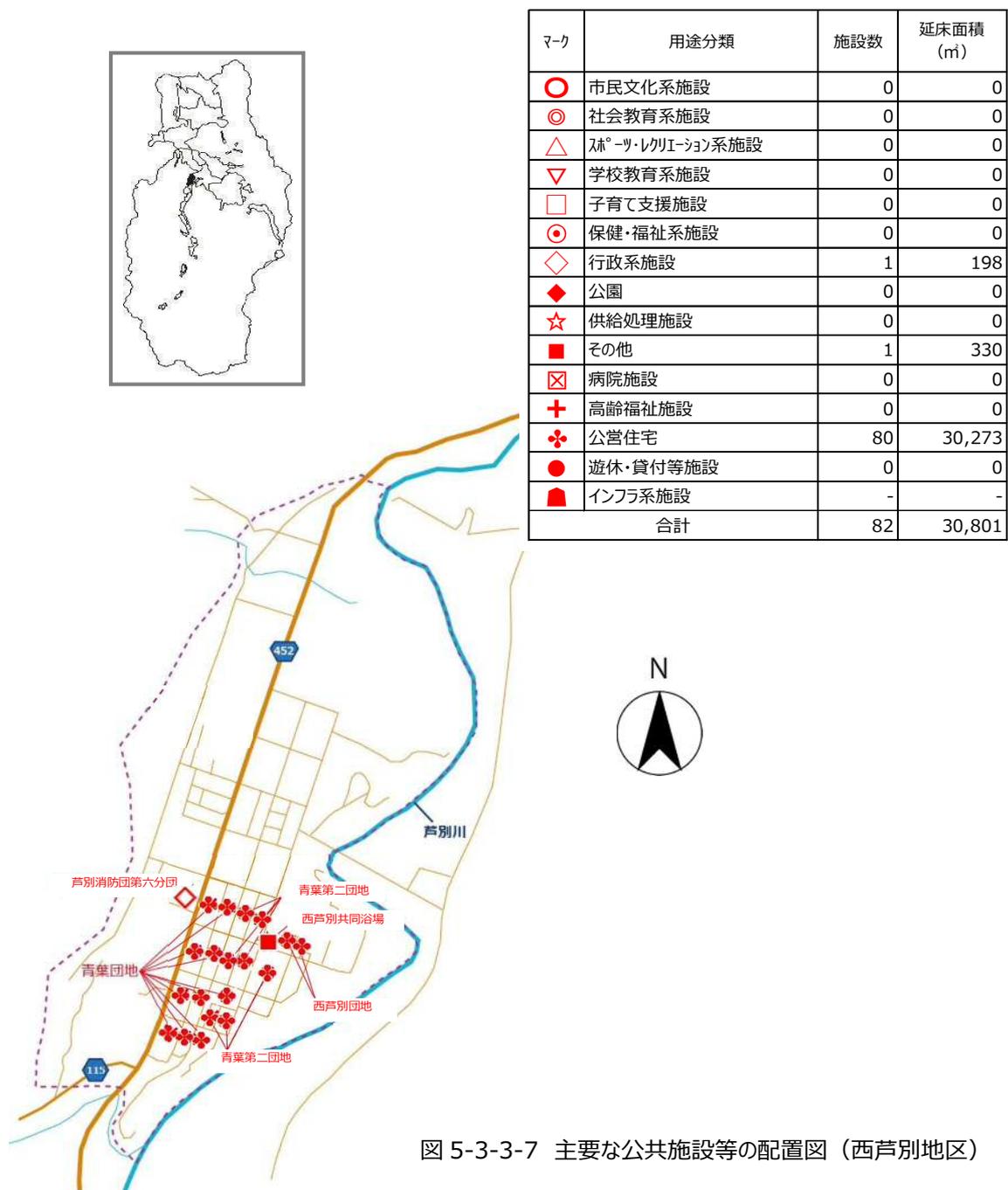


図 5-3-3-7 主要な公共施設等の配置図（西芦別地区）

(8) 滝里

滝里地区の公共施設の延べ床面積は 661 m²で、滝里湖の湖畔にオートキャンプ場が設置されており、全てがスポーツ・レクリエーション系施設です。

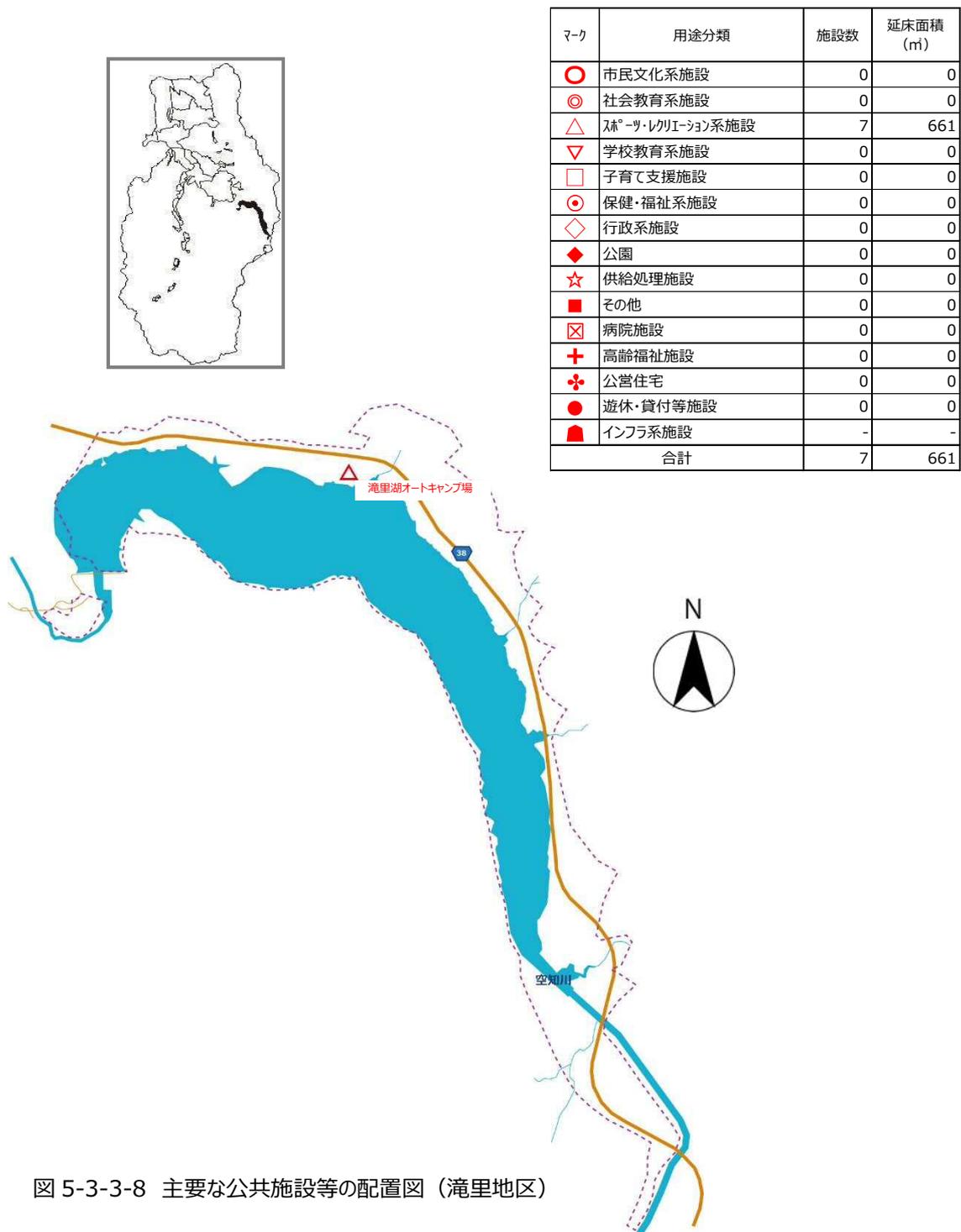
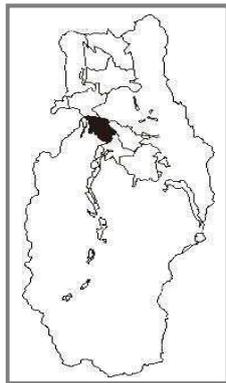


図 5-3-3-8 主要な公共施設等の配置図 (滝里地区)

(9) 本町

本町地区の公共施設の延べ床面積は 143,628 m²で、本市において最も多くの延べ床面積を所有する地区となります。用途分類別では公営住宅がその内の 52%を占めており、次いで学校教育系施設が 11%、病院施設が 9%となります。当地区は、総合庁舎を始めとした行政系施設など、本市の中心地的な地区であり、同じ用途の施設の中でも比較的規模の大きい施設が設置されています。



マーク	用途分類	施設数	延床面積 (m ²)
○	市民文化系施設	2	3,401
◎	社会教育系施設	2	2,854
△	スポーツ・レクリエーション系施設	4	5,412
▽	学校教育系施設	11	15,963
□	子育て支援施設	2	2,622
⊙	保健・福祉系施設	3	4,768
◇	行政系施設	6	10,396
◆	公園	0	0
☆	供給処理施設	1	591
■	その他	16	2,839
☒	病院施設	1	12,574
+	高齢福祉施設	1	4,185
❁	公営住宅	98	74,640
●	遊休・貸付等施設	17	3,383
■	インフラ施設	-	-
合計		164	143,628

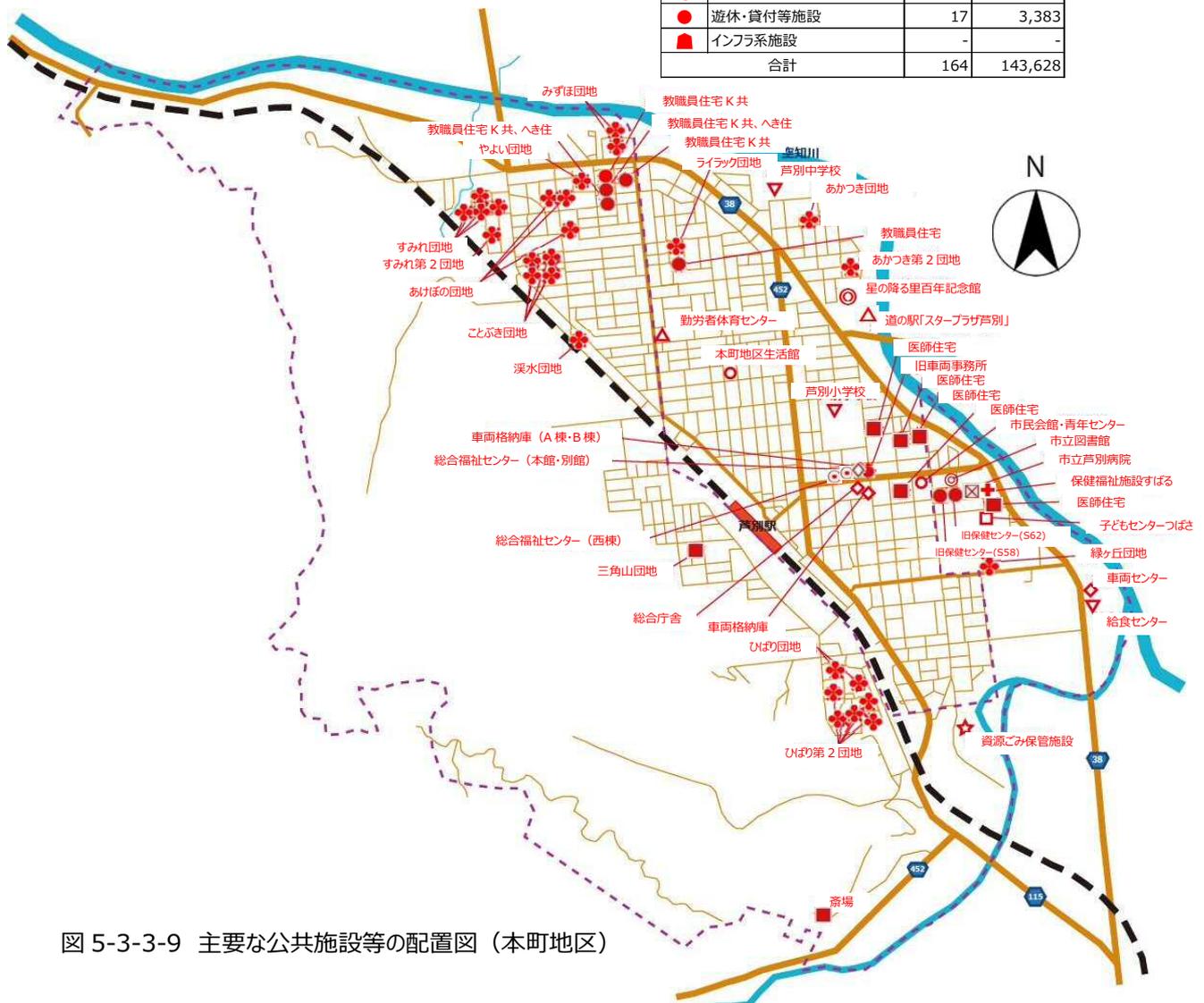
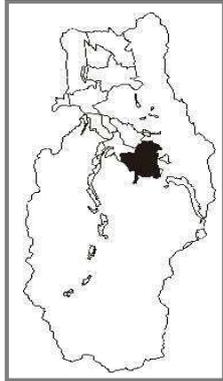


図 5-3-3-9 主要な公共施設等の配置図 (本町地区)

(10) 野花南

野花南地区の公共施設の延べ床面積は840㎡で、市民文化系施設の野花南生活改善センター、行政系施設の消防団第四分団詰所等が設置されています。



マーク	用途分類	施設数	延床面積 (㎡)
○	市民文化系施設	1	560
◎	社会教育系施設	0	0
△	スポーツ・レクリエーション系施設	0	0
▽	学校教育系施設	0	0
□	子育て支援施設	0	0
◎	保健・福祉系施設	0	0
◇	行政系施設	1	144
◆	公園施設	0	0
☆	供給処理施設	0	0
■	その他	0	0
☒	病院施設	0	0
+	高齢福祉施設	0	0
✦	公営住宅	0	0
●	遊休・貸付等施設	1	136
■	インフラ系施設	-	-
合計		3	840



図 5-3-3-10 主要な公共施設等の配置図 (野花南地区)

(11) 頼城

頼城地区の公共施設の延べ床面積は 9,523 m²です。用途分類別では、公営住宅がその内の 89%を占めております。

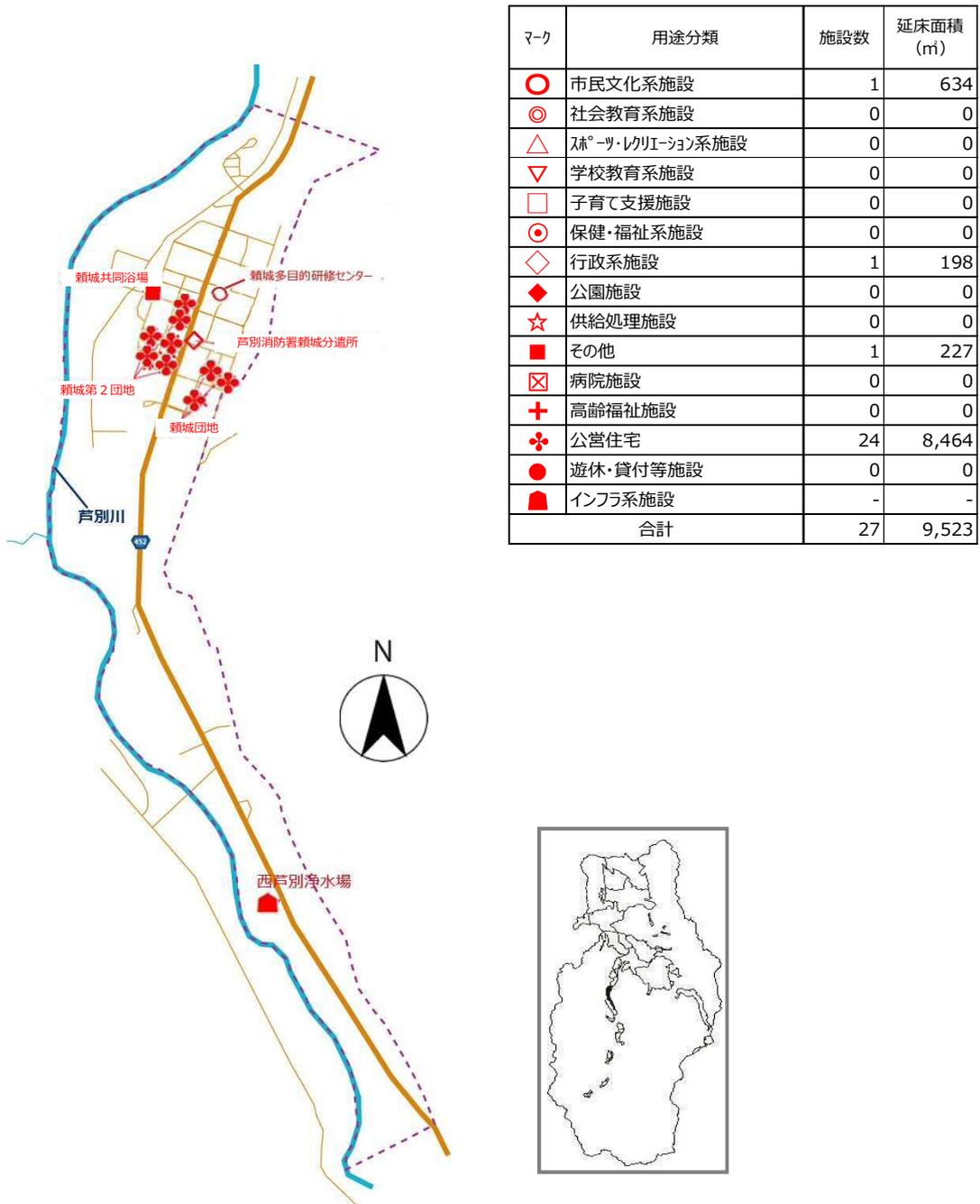


図 5-3-3-11 主要な公共施設等の配置図 (頼城地区)

(12) 豊岡

豊岡地区の公共施設は、旧市営牧場のみであり、延べ床面積は 4,788 m²です。

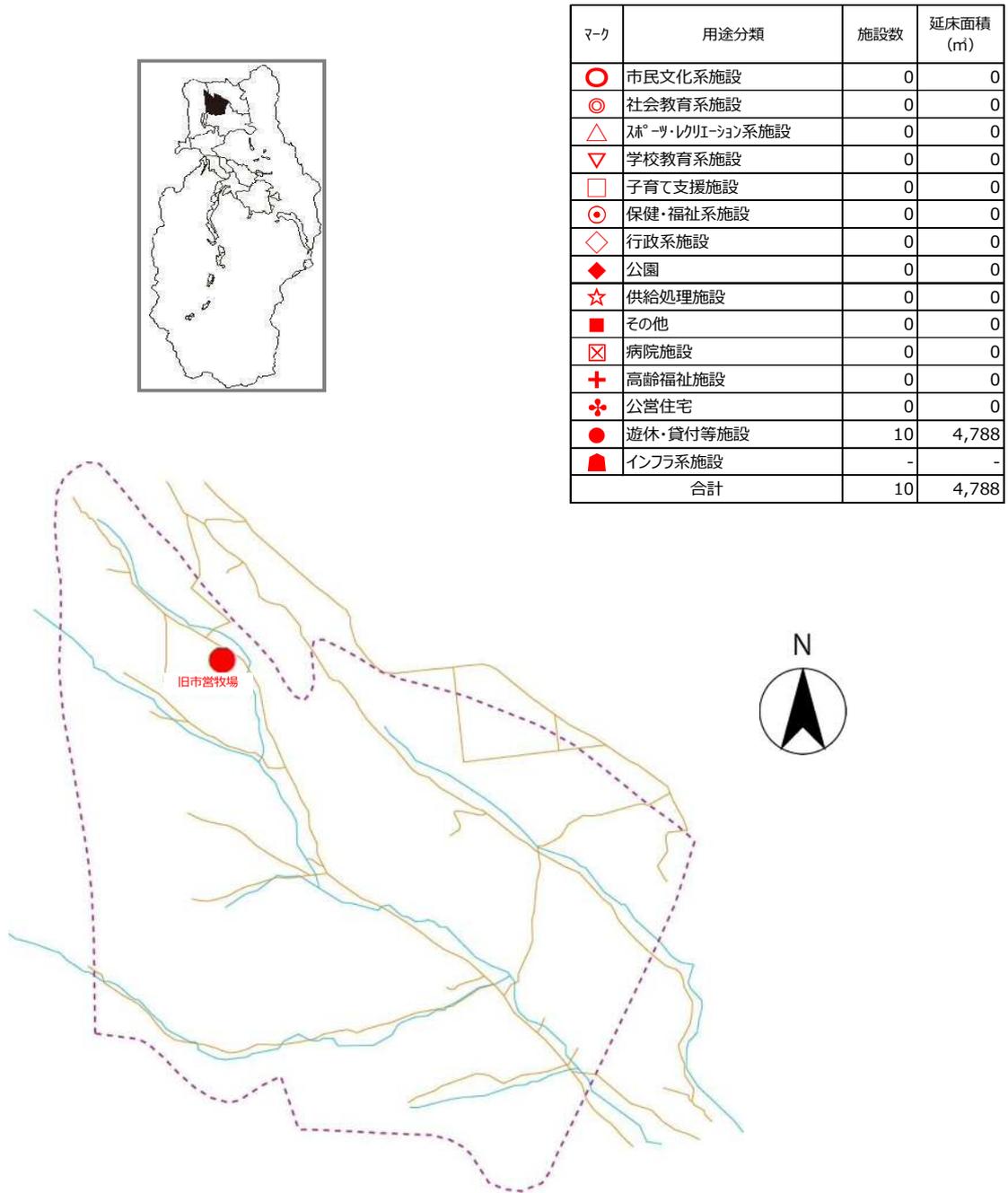


図 5-3-3-12 主要な公共施設等の配置図（豊岡地区）

第6章 むすびに（課題）

本市は全道 35 市の中で 5 番目に大きな行政面積を有しており、居住地や公共施設も広域に分散している状況にあります。

現在は、人口減少が続き財政状況も悪化する中、これまで公営住宅等の建替えなどを行ってきましたが、人口規模に応じて建設してきた老朽化が著しい公共施設を、長寿命化対策を施しながら利用している実態にあります。

財政の中期的な見通しでは、歳入は人口減少に伴い、市税及び地方交付税等が減少し、歳出も人口減少を見据えた行財政改革の取組みとする退職不補充等の実施により、減少傾向にあります。扶助費は今後も高齢化率が上昇傾向にある一方で、総人口は減少していくため、当面は横ばいで推移していく見込みであり、今後も厳しい財政状況となることが予想されます。

2023 年(令和 5 年)3 月末の本市が保有する公共施設は 393 棟、総延べ床面積は 246,818 m²で、1976 年度(昭和 51 年度)から 1990 年度(平成 2 年度)に建てられた施設が多く、建築後 30 年以上が経過することから、今後は大規模改修や建て替えなど多大なコストを必要とすることが予想されます。

全ての公共施設を保有し続けると、今後の財政に大きな負担が生じることから、中長期的に保有する公共施設量の削減（統廃合、再配置、複合化など）やコストの抑制（管理運営方法の見直し、長寿命化等）の検討が必要です。

この白書で示した公共施設の現状と課題を整理しながら、今後、持続的・効果的に利用可能な公共施設の再配置や効率的な管理運営方法について、市民の皆様と一緒に検討し、公共施設の利活用を図っていきます。